

結界師の 一輪華

けっかいしのいちりんか

Kekkaiishi
no
Ichirinka

2

クレハ
Kureha

角川文庫

結界師の一輪華 2

クレハ



角川文庫
23334

本電子書籍を示すサムネイルなどのイメージ画は甚再ダウンロード時に予告なく変更される場合があります

本電子書籍は縦書きでレイアウトされています

また甚ご覧になるリディングシステムにより甚表示の差が認められることがあります

この物語はフィクションであり甚実在の人物団体とは関係がございません

目次

◆	◆	◆	◆	◆	◆
五	四	三	二	一	プロローグ
章	章	章	章	章	
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
192	144	99	49	9	5

目次

プロローグ

一章

二章

三章

四章

五章

プロロダグ

術者協会曷

柱石を護^{まも}る五つの家により作られた協会は国内にいくつかの支部がある曷

協会の本部は一ノ宮^{いちみや}の管轄内に存在しているが甚そこは一ノ宮本家以上に厳重な警備がされており甚一般人はもちろんのこと甚術者として登録をしていない者にとってはなかなか足を踏み入れることのできない場所だ曷

そこには公には外に出せない呪具^{じゆぐ}などが保管されていた曷
五家にはそれぞれ得意とする分野がある曷

呪具などの道具製造を得意とする二条院にしよういん曷

守りを得意とする三光楼曷さんこうろう

攻撃を得意とする四ツ門曷よかど

呪いを得意とする五葉木曷ごようぎ

ちなみに一ノ宮はオタルラウンドオタルラウンドだ曷

同じ五家とくくられていても甚強い術者を多く抱え込んでいる一ノ

宮の家は他家よりも発言力が強かった曷

それ故甚一ノ宮の管轄内に術者協会本部が置かれ甚本部には二条院
が作った危険な呪具などが保管されているのだ曷

ただ一ノ宮の管轄内とはいえ甚協会は五家によって作られたもの
だ曷

その管理は五家によってなされており甚すべての支部をまとめる本

部にはどこよりも強固なセキュリティが施されていた

それは二条院が作った呪具を護るという意味でも特別厳しくされていたのだ

ある日甚協会本部に侵入者があった

どうやって嚴重な守りを突破したかは分からない

けれど甚侵入者を知らせる警報が本部内に響き渡り甚本部にいた術者達は右往左往しながら侵入者を探す

どこだ！ どこに行った！

監視カメラはどうした？

出入口口を閉じるんだ！

先に機密保管庫を確認しろ！

怒声が響き渡る中甚術者達は本部の中で最も重要とされている保管

庫に向けて走った曷

しかし甚複数の術者がそこにたどり着いた時には甚本来なら嚴重に閉じられているはずの保管庫の扉が開いていたのだ曷

顔を青ざめさせる面々曷

まだ中に侵入者がいるかもしれないと甚応援を呼び甚警戒しながら保管庫の中を確認する曷

しかし甚そこには不審者の影はなかった曷

一見するとなにも盗まれていないように見えたが甚一つ一つ確認していくと甚いくつかの呪具が消えていた曷

最悪なことに甚呪具の中でも特に危険とされていた呪具ばかりが曷盗^とられたものは特に慎重に管理されていた呪具だったのだが甚荒らされた形跡はなく甚まるで置いてある場所を知っていたかのように他の呪具には目もくれず甚それらだけを奪い去っていったようだった曷

匍なんてことだ…… 盍

匍よりよって呪具が盗まれるなど大失態だ盍

匍いったいどうやって盗んだんだ？ 盍

駆け付けた術者達は困惑したまま立ち尽くす曷

匍こうしてる場合ではない盍

匍ああ甚すぐに五家の当主にお知らせするんだ！ 盍

匍まだそう遠くには行っていないはずだ！ 人員を投入して侵入者を
探せ！ 盍

我に返った術者達は甚各々がやるべきことをすべく行動に移す曷

しかし甚呪具を盗んだ侵入者を見つけることはできなかつた曷

その時甚保管庫を調べていた術者の一人がなにかを見つけ甚手に取る曷

一章

一瀬家の屋敷は最近ピリピリとした空氣に包まれていた曷^{いちせ}

それというのも甚一瀬家の次女の華^{はな}が本家である一ノ宮家の当主の妻に選ばれてしまったからである曷

これまで優秀な双子の姉葉月^{はづき}と散々比べ甚重姉の出^で洵^がらし紂重残りカス紂と目も向けなかった落ちこぼれだったのに甚期待を一身に背負う葉月を差し置いて当主の妻になった曷

一瀬家の両親は信じられない思いと同時に甚いつの間に当主と知り合っていたのかと華に対し憎らしさが湧いた曷

なにより氣に食わないのは甚華が一瀬家を一切無視し続けているこ

とだ曷

当主の妻となつたのなら甚その恩恵を実家に与えてもいいだろうに甚当主の妻を輩出した家でありながら甚一瀬家は相変わらず分家中での地位は低いまま曷

それが両親は我慢ならなかつた曷

華との接触を図ろうと一ノ宮本家に行くも甚門前払いを食らう始末曷

当主である朔さくにより甚華との面会には制限がかけられているとかなんとか曷

自分達は華の両親だというのに甚結婚が決まつた時ですら口を挟む隙はなく甚会うこともままならないことに憤慨したが甚取り合つてはもらえない曷

甫あなた甚華に送った手紙はどうでした？ 盍

匍封も開けられずそのまま戻ってきた盃

匍まあ！　なんてこと盃

匍くそっ！　華の奴め甚どうしてあんな風に育ったんだ曷双子でも葉月は親の言うことを聞くいい子だというのに曷やはり葉月の方が当主の妻に相応ふさわしかつたんだ曷それなのにあの落ちこぼれがつ！　盃

これまで華を蔑ないがしろにしておきながら甚あんまりな話だ曷

もしも両親が華を大切に扱っていたなら華も両親に話していただろうし甚言われるまでもなく一瀬家を大事にしただろつ曷

恩恵を与えられ甚分家の中でも発言力を増したはずだ曷

しかし現実には真逆曷

華を顧みなかったことで甚むしろ姉ばかりに目を向けていたと嘲ちやう笑しやうされる日々曷

匍もつと次女を可愛がっていたらよかつたですな盃と馬鹿にするような笑いを押し殺しながらそんなことを言つたのは甚一瀬家と変わらぬ発言力の弱い分家の者だ曷

ついでに甚匍長女には相当教育に力を入れていたというのに無駄になりましたな盃などと付け加えて甚葉月を通して長女ばかりに期待を寄せていた両親を嘲笑つたのだ曷

あざわら

プライドだけは無駄に高い両親は言い返すこともできずに齒がみした曷

そして甚恨みの矛先を何故か華に向けたのだ曷

落ちこぼれであつた華が悪いと曷

とはいえ甚華と会えない以上甚華に期待はできない曷

別の策を講じる必要があつた曷

その策というのが甚卓上に置かれた茶色ハレザの写真台紙であ

る曷

匍家の権威を取り戻すために残された道はこれしかない盃

強い意志を持った父親の視線は写真台紙に向けられ甚険しい顔をする両親のいる部屋に甚呼び出された葉月がやって来た曷

匍失礼します曷お父さん甚お母さん甚なにかご用ですか？盃

双子の妹である華と容姿は似ているが甚華よりも華やかな顔立ちをしている葉月は甚部屋の中の異様な空氣に気付くも甚口には出さなかった曷

しかし甚なにかしらの違和感は抱いているようで甚顔色は優れない曷

匍よく来た甚葉月曷そこに座りなさい盃

不必要なほどの笑みを浮かべる父親の様子を不思議に思いながら甚

葉月は言われるままに両親の正面に座った曷

座るやいなや父親が発したのは甚葉月を褒める言葉だった曷

匍葉月甚お前は本当に優秀だな曷先日試験も学年トップだったそうじゃないか盍

匍ありがとうございます盍

特別表情を変えることなく頭を下げる葉月に甚さらに賛辞が向けられる曷

匍幼い頃からお前は優秀で甚私達はいつも鼻高々だった曷人型の式神まで生み出して甚お前は自慢の娘だ盍

匍どうしたんですか甚お父さん？ 突然そんなこと盍

普段言わないことを口にする父親に甚葉月は困惑気味だ曷

匍いや甚お前が私達の期待通りに育ってくれて甚嬉しいと改めて思ったのだよ盃

父親はそう言うのと甚葉月の前に茶色の写真台紙を置く曷

匍中を見てみなさい盃

匍えっ甚はい……盃

葉月が言われるままに閉じられたそれを開くと甚男性の写真が貼られていた曷

話をしたことはないが甚葉月も顔だけは知る人物だった曷

匍お父さん甚この写真は？盃

問いながら葉月は嫌な予感がしてならなかった曷

何故なら甚それはまるでお見合い写真のようだったから曷

そんなはずはないと葉月は自分に言い聞かせていたが甚父親から

返ってきたのは残酷な言葉だった曷

匍葉月甚お前の結婚相手を決めてきてやったぞ盃

匍先方からも色よい返事をもらっているのよ曷良かったわね甚葉月盃
娘が喜ぶことを疑わない両親の態度に甚葉月は反射的に言い返した曷

匍待ってください！ この方は確か四十代だったはずです曷私とは歳が離れすぎてます曷それに……！ 盃

まだ続けようとする葉月の言葉を遮るように父親が厳しく□る曷
匍それがなんだというんだ曷年齢など些末さまつなことではないか曷必要なのは家のためになるかというその一点のみだ盃

匍……っ盃

葉月は反論することができずに唇を引き結ぶ曷

家のためと言ひ出した時の両親が葉月の話を聞かぬのは今こ恰

まいったことではないから甚すぐに葉月から言葉を奪ってしまつて
匍まさか好いているとかいないとか甚お前はそんなつまらないことを
言つ子ではないだろう？　なあ甚葉月？　盍

匍……はい曷お父さん　盍

葉月が肯定すれば甚途端に父親は笑顔になる曷

匍この結婚は我が一瀬家のためになる大事なものだ曷葉月もよく理解
しておきなさい　盍

匍はい……　盍

匍まったく甚華がもつとうまく立ち回っていたら甚この私が頭を下げ
て懇願する必要はなかったというのに甚どうしようもない娘だ曷同じ
双子でどうしてこうも違ふのか曷しかし甚葉月は親の期待に^{こた}応えてく
れる優秀な子で私達は助かったよ　盍

匍…………… 盍

葉月は無理やり笑みを浮かべたが甚^{ひき}膝に置かれた手は耐えるようにぐつと強く拳^{こぶし}を握っていた曷

機嫌のいい両親はそれに気付きもしない曷

匍顔合わせは少し先になるだろう曷それまで一瀬の者として恥ずかしくない行動を心掛けなさい曷まあ甚葉月には今さら忠告するようなことではないだろうが盍

匍そうですねよ甚あなた曷葉月は華のように親に逆らうような馬鹿な行動はしません曷慎^{つつ}ましかで大人しい甚まさに大和撫子^{やまとなでしこ}のような子なんですから盍

にこやかに笑いながら華^{はな}を蔑^{あは}み甚葉月を持ちあげる両親は甚自分達

の発言に問題があるとは思っていないようだ曷

華と比べることで葉月を褒めているように見せかけて甚葉月の行動を牽制けんせいしていることに気付いているのだろうか曷

親の言うことを聞く子は善で甚逆らう子は悪とする両親の考え方に反感を覚えていないわけではない曷

華の名を出されるたびに甚比べられるたびに甚葉月は両親の理想の娘を背負わされているのを感じる曷

自分の半身曷大事な片割れ曷

いつから道を違たがえてしまったのだろうか曷

両親が華を無能と蔑むたびに葉月が悲しんでいることを誰も知らない曷それはきつと華も曷

華の分も自分が頑張れば両親は機嫌をよくして華を悪く言うことは

なくなる昼

自分が優秀でありさえすれば……… 曷

そうして両親に従順にしてきたのに甚いつからかそれが当たり前となり逆らうことができなくなってしまった 曷

周囲の評価を気にするあまり優等生を演じ続けた 曷

それを息苦しいと感じていたのに甚口に出せなくなっていた 曷

昔甚まだ仲が良かった頃はよく華に愚痴を言っては困らせていたのに甚その華といつの間にか距離ができてしまったことがなにより悲しく辛い 曷

最初は華のためだったはずなのに甚葉月の行いは華との距離を作ってしまう原因となるだけだった 曷

どうしてこうなってしまったのだろうか 曷

葉月にはもう分からなくなってきた 曷

葉月のしてきたことはすべてが裏目に出てしまい甚守りたかつたはずの華すら側からいなくなり甚葉月にはもう誰もいない曷重誰か助けて紂

それは決して葉月が口にできない心の叫びだった曷

犬神の事件から少しして甚事件の最中^{さなか}にできた華の傷が癒^いえた頃甚夫である一ノ宮当主の朔からお誘いがあつた曷

事件解決の報酬となっていた甚海の見える別荘を見せてくれるというのだ曷

斤ノ、い申ニム、ニニ申ノ、^{あらし}ニニ^かミ、ニニ^{きずあと}更ニニニ^バ、^{ノ、}

新しく式神となつた大社の崖に噛まれた傷痕に残念なから痛々しく残つてしまい甚今後も綺麗きれいに痕が消えることはないだろうという診断だつた曷

華自身はたたり神を相手にしてそれぐらいで済んで良かったなと樂觀的だったが甚傷痕を見るたびに嵐が落ち込んでしまうので甚傷痕が見えるノタスリタブのような服を着られなくなつてしまった曷

しかし嵐を落ち込ませてしまうことを考えれば甚ノタスリタブが着られないぐらいなんてことない曷

時折傷痕が引きつるように痛むので式神達は心配して止めたが甚せつかくの朔のお誘いを断つてしまうほどではないと甚華は大喜びで別荘行きを了承した曷

そうして朔と一緒にやって来たのは甚一ノ宮の屋敷から車で二時間ほどの場所にある海に見える町だ曷

匍わあ甚すご埒い曷海だ海だ！ 盃

走る車の窓から顔を覗^{のぞ}かせると甚海風に乗って潮の香りがする曷

普段では感じることもない匂いにテンションも上がるといふもの曷

匍こら甚危ないから顔を出すなよ 盃

匍は埒い 盃

海を間近にしても冷静な朔に□られ甚華は大人しく座り直す曷

重あるじ様甚あれが海？ 紂

華の髪に止まっていた蝶^{ちよう}の式神のあずはが華から離れて甚興味深そうに車内をひらひらと舞うように飛ぶと甚舌つ足らずな声が聞こえて

きた曷

匍あずはは海見たことなかったっけ？ 盃

重ないよ 紂

華とて見慣れたものではないか海に行ったことは何度かある
確か小学生の時の遠足や中学生の時の修学旅行だったろうか曷

小学校甚中学校は普通の学校だったために甚式神のあずはは連れて
いけなかったのだ曷

一瀬家は甚皆で旅行なんてするような仲のいい家族ではなかった曷
なので甚華も海のある場所に来るほど遠出するのは久しぶりだ曷
必要以上にテンションがおかしくなるのは目を瞑^{つぶ}ってもらいたい曷
報酬となっている別荘は海沿いではなく甚海を見渡せる高台の絶景
の場所にあった曷

海に遊びに行くには少し遠いが甚景色は文句なしであった曷

しかも甚元は一ノ宮が所有していた別荘とあって甚門から中の全容

バナハらよりまぎに改也バニ一尋

たぐたぐといたしはとに剪刈た広い畠

門前で止まった車の中から落ち着きなくきよろきよろしているのを甚朔が呆れる^{あき}ように見ている畠

匍落ち着け畠別荘は逃げないぞ畠

匍分かってるけど甚楽しみなんだもん畠ねえ甚本当にこの別荘をもらってもいいの？畠

まだ中に入って建物を確認していないが甚きつと豪邸が存在しているに違いないと確信させる門構えに甚華は浮足立つ畠

匍ああ甚約束だからな畠すでに名義も華に変更してあるから甚名実と
もに華の別荘だ畠

匍やったと畠ありがとう甚朔！畠

両手を上げて満面の笑みを浮かべる華に甚朔は口角を上げて意地悪く笑う畠

匍礼なら言葉じゃなく態度で示せ盃

匍たとえば？盃

なんとなくよろしくない空気を感じながらも問いかけた華を甚朔は
困い込むように腕に閉じ込めた曷

匍ちよ甚ちよっと！ 近い！盃

匍近付いてるんだ甚この鈍感が盃

慌てふためく華を前に不敵な笑みを浮かべる朔は甚華の顎あごを掴つかむ曷

匍少しは俺に惚ほれたか？盃

今にも唇がくつつきそうな距離に甚カツと華は顔を赤くする曷

柱石の結界を張るために契約で結ばれた夫婦だったが甚朔の心変わ
りにより柱石の結界の強化が完了した後も夫婦関係を続行することに
なった曷

騙^{だま}し討ちのようなやり方だったが甚^おなんだかで仲良くやっ
てい
る曷

一ノ宮という大きな後ろ盾を得た今の状況は甚一瀬家を出て頼る者
をなくしてしまった華には願ってもないことだった曷

最初こそ落ちこぼれと歓迎されていなかった華だったが甚葵^{あおい}や雅^{みやび}と
いう人型の式神を有していると知られるようになってからは甚一ノ宮
家の使用人だけでなく甚朔の実母である美桜^{みお}からも認められるよう
になり甚居心地は正直悪くない曷

一瀬家では一人で取っていた食事も甚一ノ宮家では家族がそろって
する曷

最初は一人の方が気楽でいいのにと思っていた華だが甚他愛^{あい}ないこ
とを話しながらの食事は心を落ち着かなくさせると同時に美味^{おい}しく感

しられた昼

自分はこういう家族の団欒だんらんを望んでいたのではないかと思わされて
しまふ曷

一瀬家ではどう転んでも得られなかったものが甚一ノ宮家には当たり前のように存在しているのだ曷

なので甚一ノ宮の家で暮らしていくことに否やはないのだが甚問題となるのが朔である曷

契約上の妻でしかないのに甚以前からキスをしてきたりと押しが強かった朔は甚結婚継続を主張して以降甚さらにスキンシップが激しくなつた曷

隙あらば唇を奪い甚肩に手を回し甚抱き締めたりと甚色恋事に疎い華は翻弄ほんろうされっぱなしだ曷

今もここぞとばかりこ顔を斥寸寸てくる朔こパニック犬態ごが甚華

には頼れる式神達がいた曷

匍くおるあ！^{あるじ} 主になにしてんだあ！ このエロじじい！ 盃

ヤンキタのごとく舌先を巻きながら叫び甚車の扉を開けると朔を蹴^けり飛ばして華から強制的に離れたのは甚背に大剣を携え男性の姿をした葵曷

そして甚すかさず天女のような容姿の雅が華の手を取って車の外に連れ出す曷

二人は華に対してかなり過保護だった曷

匍さ甚主様曷お早くお降りください盃

匍ありがと甚葵甚雅盃

ほつと安堵^{あんど}する華が車内に目を向けると甚葵に蹴られた朔が変な格

子でございませう

好て怪れていた曷

その顔は不満を隠そうともしていない曷

匍またお前らか盃

匍またはこつちの台詞だ！^{せりふ} 主が嫌がつてんだろ！盃

匍今甚口説いてる最中なんだから外野は黙ってる曷夫婦の問題だ盃

匍なにが夫婦だ曷主を騙しておいてほざくな！盃

ぎゃんぎゃんと甚華の番犬のごとく朔に噛^かみ付く葵曷

本当の犬神である嵐も姿を見せ甚戸惑ったようにしている曷

重私も華の式神として甚葵の応援に入るべきか？紂

匍嵐はいいからね曷神様が入ってきたらお遊びじゃなくなってくる
し盃

見た目こそ可愛らしい黒い犬だが甚犬神である嵐が本気で排除に動
いたら朔の身が危険なことになる曷

重ふむ甚なるほど曷あれは遊んでいるのか曷あれだな甚喧嘩けんかするほど
仲がいいというやつか紂

少々人の世のことに疎い嵐は本気で感心していて甚華は苦笑するし
かなかつた曷

匍ねえ甚遊んでないで中に入ろつよ曷早くどんな別荘か探検したい
し盍

車の中と外で言い合いをしていた朔と葵の注意が華に向けられ甚よ
うやく騒ぐのをやめる曷

匍それもそうだな曷暗くなる前に掃除しておく必要があるから盍

朔は車から降りてくると甚服に付いた葵の足跡を払った曷

一ノ宮の屋敷では和服を着ていることが多い朔だが甚今日は珍しく
ジヤンズにシャツといったラフな格好をしていた曷

よしよし力きりすー段々さーるふ要があるようにさ甚座こし力きりす

なんでも重さや少し月装している必要はあるようにも思いますが、
い服にするように求めたため甚白いクロップドパンツに花柄のブラウ
スを着ていた曷

匍えつ甚掃除してないの？ 盍

匍建物の中は綺麗きれいにしている曷問題は外だ 盍

匍草刈りでもするの？ 盍

匍行けば分かる 盍

朔は多くを語らず甚華達が乗っていた車の後から別の車でついてき
ていた一ノ宮の使用人に門を開けさせていた曷

匍ほら甚行くぞ 盍

さつさと先に行ってしまう朔を慌てて追う華と式神達曷

世話係として来ただろう数人の使用人は何故かついてこない曷

匍ふむ甚月尋かりん華よ？ 盍

有様な甚並屋のノ連は

匍掃除が終わったら入ってくる盃

匍えつ甚普通掃除ならあの人達がするもんじゃないの？盃

彼らは一ノ宮に仕える人達で朔は当主なのに甚主人に掃除をさせるなんて逆ではないのか曷

そんな華の疑問はすぐに解消する曷

門から五分ほど歩くととても綺麗な洋館が見えてきた曷

華と式神達で使うには大きすぎるほどに立派な建物曷

庭も広く甚ゴルフの打ちっぱなしでもできそうなほどだ曷

あまりにも華の想像を超える立派な別荘に甚さすが一ノ宮が所有していただけると感嘆したところで甚そんなことよりも気になるものがあちらこちらをうろつろしていた曷

庭の美しい景観を台よこしてしまっている甚天竈ようま甚天竈甚天竈の

集団曷

匍なんじゃこりやああああ！ 盃

思わず絶叫してしまった華を誰が責められようか曷

匍朔ううう！ なによこれ！ 盃

華は怒りを含んで詰め寄るが甚朔はしれっと答える曷

匍見ての通り妖魔だ盃

匍妖魔だ曷じゃないでしょうが！ なんでこんなにいるのよ盃

匍ああ曷ここの別荘はな甚様々な問題で普段から妖魔の溜まり場にな
た
っているんだよ曷定期的に掃除してやらんといかん盃

匍掃除…… 盃

朔の言っていた掃除の意味を理解する曷

連れてきた使用人達と一緒にいてこなかった理由も曷

そりゃあ当然だ曷使用人は術者の家系に生まれた者がほとんどだが甚うじゃうじゃいる妖魔を倒せる実力があるなら使用人なんてせずに術者として生きている曷

匍無駄に多い上に強めの妖魔が集まっているから甚下手な術者には任せられなくてな曷これまで俺が時々来て掃除していたんだが甚お前が報酬を欲しがったからちようどよかったよ盃

匍チエンジ！ チエンジを要求します！ 他の別荘がいい！ 盃

匍諦めろ曷もう手続きが済んでお前のものだ曷だから自分のものはちゃんと管理しろよ盃

匍だ甚騙された…… 盃

華はその場に膝ひざをついて肩を落とす曷

自分の別荘だと喜んでいただけに甚ショックが激しい曷

これはすぐには立ち直れないほどの衝撃だ曷白いクロップドパンツが砂で汚れているのも気にならない曷

なのに甚傷心の華を朔も妖魔も放っておいてくれなかった曷

匍ほら甚来るぞ甚華盍

朔はこれからひと仕事を始めようと気合いを入れるように袖^{そで}をまくり甚自分の式神を呼び出す曷

匍椿甚来い盍

匍は^とい盍

白い髪のツインテ^とルにケモミミでフリフリのメイド服を着た人型の式神は甚朔の式神の椿曷

椿は現れるや葵に目をつける曷

匍^とは^とい^とき^とズ^とと^とノ^とバ^とー^とる^とゝ^と盍

匍やん甚々……リンがいる。……

匍ひっ！ 盍

まるで狩人^{かりゆつど}の目つきで見るものだから甚葵が怯^{おび}えている曷

以前は朔の愛人を自称していた椿だが甚葵に一目惚^{ひとめぼ}れして甚今は葵以外目に入らない様子だ曷

今にも葵に飛びかかっていきそうな椿の頭を朔がわし掴^{づか}みにする曷
匍ダダリンは後にしろ曷掃除が終わったらいくらでもデダトしてきて
いい盍

匍やったダ！ 椿甚頑張る～曷待っててね甚ダダリン盍

語尾にハダトマダクがつきそうな声色で葵に投げキッスをすると甚
椿は妖魔の集団の中に突撃していった曷

投げキッスをされた葵の方は顔色を悪くしている曷

匍やだよ甚主曷俺甚あいつ苦手だ…… 盍

葵は華に助けを求めるような眼差しまなざしを向けるが甚助けてほしいのは

華の方だと甚葵を慮おもんばかれる状況ではない曷

匍ひどい甚あんまりだ曷楽しみにしてたのに曷そのために事件解決も
頑張ったのに甚その見返りがこれなんて…… 盍

半泣きの華は甚今まさに襲いかかってこようとした妖魔をギツと睨にら
みつけると甚八つ当たりするように叫んだ曷

匍私の別荘を返せ 盍!! 盍

展開展開展開! と連呼して妖魔を次々に結界の中に閉じ込める
と甚匍滅ううう! 盍と雄叫びおたけを上げるように絶叫して近くにいた妖魔
を一気に退治する曷

匍葵甚雅甚あずは! 人ん家ちに勝手に入り込んでる不法侵入者を一掃

しちゃって盗

重私も手伝おうか？ 紂

甫お願いね曷嵐がいるなら百人力よ盗

重うむ紂

嵐はたくさん妖魔に気負うこともなく甚群れの中に走っていった曷その後を葵がついていく曷

甫嵐甚どっちがたくさん狩れるか勝負しようぜ盗

重よかろう曷負けぬぞ紂

甫俺だつて盗

仲良く行ってしまった嵐と葵の背を見送り甚華はやさぐれたように鼻を鳴らす曷

甫ふん甚やってやろうじゃないのよ盗

匍主様甚やけくそになつていらつしやいますね盃

雅が困ったような顔をするが甚これでやけくそにならずにいられよ
うか曷

匍朔のボケエエ！ 覚えてなさいよ！ 盍

この甚内に湧き起る怒りをどうしてくれようか曷

とりあえずはいらだ苛立ちをぶつけるべく妖魔に突進していくことにした

華により甚妖魔は次々と滅せられていった曷

その様子をはた目に見ていた朔はひどく感心している曷

匍やはりあいつにここを任せたのは正解だったな盃

怒り爆発の華により甚面亡いほど簡単に妖魔力任せられていく畧

この別荘は一ノ宮の所有であるために代々一ノ宮が管理をしていた畧

しかし甚ここの妖魔はそこらにふらりと現れる妖魔と違って力が強く甚退治するためには複数人の力の強い術者を動かす必要があつた畧
けれど甚定期的に複数人の術者を拘束するわけにもいかず甚これまでは朔が一人で掃除をしていたのだ畧

けれど華の実力なら十分に倒せるだろうと甚別荘の話を出した時にすぐここを思いついた畧

いつもは一日がかりの大仕事だったが甚華には犬神である嵐もいるので甚ものすごい速さで妖魔が消えていつている畧

その様子を見ていて甚朔は肩の荷が下りたように感じていた畧
朔も当主となり以前より時間を思うように取れなくなったので甚こ

の別荘を華に任せられるのは大いに助かるのだ曷

庭の掃除はなんとか午前中で終わった曷

知らせを聞いた使用人達が続々と入ってくる中甚華は庭にあったベ
ンチに倒れ込んでいる曷

匍疲れた…… 盍

イライラをぶつけるために甚無駄に動いたせいでグロツキ殳状態
だ曷

もう一步も歩きたくない曷

一方で甚術者の霊力でできているために疲れというものを知らな

い甚葵達式神は元気いっばいだ曷

匍あゝあ甚嵐に負けたあ盃

重葵もなかなかだったぞ紂

妖魔ようまを倒した数で競っていた葵と嵐曷

そこにやって来た椿が葵に抱きつく曷

匍ダダリン～曷お疲れ様あ曷お礼にデタトしてあげるう盃

匍ぎやああ！ いらねえよ！ 盃

匍照れなくてもいいんだよ～盃

匍照れてねえ！ 離れろゝ盃

匍や～だ～盃

ずいぶんと騒がしい葵と椿を甚華はベンチに横になりながら呆あきれた

ように見ている曷

華を膝枕ひざまくらしている雅はニコニコと見ているだけ曷

あずはは庭に咲いているたくさんの花の周りを楽しそうに飛び回っていた曷

なんとも自由な式神達である曷

匍匐にぎやかだなあ盃

一瀬の家にいた頃とはずいぶんと違っている曷

葵と雅も人の目を気にせず普通に姿を見せているし甚華には生き生きしているように見えた曷

失敗したかと思った朔との契約結婚だが甚隠れるように過ごしていた葵と雅にとっただけいい決断だったのかもしれない曷

ベンチでのんびりしていると甚朔が華を呼びにやって来た曷

匍華甚中の準備も終わったようだ曷妖魔の姿もないからもう中に入っているぞ盃

華を巻き込んでおきながら米粒ほども申し訳なさを感じていない朔に甚華はじとつとした目を向ける曷

匍この詐欺師め盃

言いたいことはたくさんあったが甚怒りを突き抜けて逆に罵倒はとつの言葉もうまく出てこない曷

代わりに精一杯の怒りを視線で訴える曷

匍人聞きの悪いことを言うな曷ちゃんと海の見える別荘だろうが曷嘘は言っていない盃

匍妖魔の溜たまり場って知ってたらもらわなかったわよ！盃

くわつと目を剥むいて怒鳴る華だが甚朔には微塵みじんも効いていない曷

匍言ったら嫌がるだろうが盃

匍当たり前だ甚馬鹿やろ！盃

どこの世界に妖魔付きの事故物件を欲しがる人間がいるのか曷

匍逆に朔なら欲しがるの!？ 盍

匍俺もいらんな 盍

朔があっけらかんと言つてのけるので甚華は怒鳴るのも疲れてきた曷

華は深い溜息ためいきを吐いて自分を落ち着かせると甚ベンチから身を起こす曷

匍中に入つていいって？ 盍

匍ああ曷昼食の用意ができたようだから食べに行くぞ 盍

匍はいはい 盍

やれやれという様子で立ちあがった華は甚朔について建物の中に入る曷

洋館はただの別荘とは思えないほど豪華な内装で甚落ち着いた雰囲気
の純和風な一ノ宮の屋敷と違い甚置いてある家具や調度品もとても
華やかで明るい印象がある曷

華に与えるほどなので甚ほとんど使っていない別荘なのかと思いき
や甚古びた様子もなく手入れも行き届いているように見えた曷

匍今日は天気がいいからテラスに用意させた盃

昼食が用意された広々としたテラスからは甚海がパノラマで見え
る曷

匍うわあ甚綺麗きれいな景色盃

匍そうだろ？ 立地だけは最高なんだがな盃

朔の言わんとしていることは華にもすぐに伝わった曷
妖魔という問題さえなければ好物件なのは間違いない曷

まあ甚その妖魔がすべてを台なしにしていると言っていていいだろう
つ曷
匍妖魔さえいなきゃね 盃

匍そうだが甚華ならなんとかできるだろ 盃

匍できるっちゃできるけど甚年老いてまで管理できないわよ？ 盃

匍その時はまた一ノ宮が引き取る曷だから今のうちは華が管理してく
れ曷他に任せられそうなのがいらないんだ曷俺は当主の仕事もしなきゃ
いけないから甚こちらまで手が回らないこともある 盃

朔の真剣な表情を見るに甚切実な問題のようだ 曷

そりゃあ甚華と朔に加え式神総出で動き回って午前中が潰^{つぶ}れてしま
ったのだ曷これまでは朔が忙しい仕事の合間に一日かけて行ってい
たというので甚結構な手間となっていたのだろう 曷
匍しや 埜ない曷時々私が掃除しといてあげるわよ 盃

術者の仕事に一ノ宮の当主としての仕事を兼任する朔のために甚今

回は華が折れることにした曷

甫助かる盍

柔らかく笑った朔に甚華も自然と笑みが浮かぶ曷

甫言つとくけど甚今度騙し討ちみたいなたまなことしたら即離婚するから盍

甫安心しろ曷離婚を言い出しても俺の権力で握り潰してやる盍

甫そこは素直に離婚してよ！盍

甫嫌だ盍

なんと我儘わがままな俺様なのだろうか曷

しかし甚そんな朔を受け入れつつあるのを華は感じているから厄介

だ曷

妖魔の掃除も終わり甚華はせっかく手に入れた別荘を堪能すべく洋館の中をうろつろとする曷

といっても甚ひと通り見てしまえば後はやることなく甚手持ち無沙汰さたになってしまふ曷

洋館は物珍しくはあるが甚豪邸で言えば一ノ宮の屋敷の方がレベルが高いので甚一ノ宮の屋敷を見慣れてしまった華が新鮮味を感じられたのは最初の一時間だけだった曷

退屈になってきた華は朔のいる部屋に向かった曷

匍ねえねえ甚朔盍

匍なんだ？盍

朔はこんな時でも仕事らしく甚ノ埒トパソコンのキ埒ボ埒ドを叩たたい

ている曷

匍暇だ～曷どつかに面白いものないの？ 盍

匍お前なあ 盍

パソコンの画面から顔を上げた朔は呆れたような視線を向けてくる曷

匍別荘だと大喜びしてたんじゃないのか？ 盍

匍そうだけど甚よくよく考えるとやることなくてつまんない曷ここテレビもないし甚スマホは圏外だし 盍

匍仕方ないだろ曷妖魔を外に出さないようにこの別荘周辺に強力な結界を張ってるせいで電波が通らないんだ曷テレビもラジオも妖魔の影響が甚雑音が入るからそもそも置いてない 盍

匍朔が今持つてるパソコンは？ 盍

匍仕事に必要な書類を作ってるだけだ曷ネットには繋がってない盍

とんだ不良物件である曷楽しみがほとんどないとはこれいかに曷

華がスマホ依存症だったら叫んでいるところだ曷

あいにくと悟りを開いた老人でもないので甚娯楽がないのはかなりの苦痛である曷

匍この辺りに遊ぶところないの？盍

匍あるぞ曷ここいらは温泉も湧くから甚近くに観光客が集まる温泉街があつて甚店もたくさんあるはずだ盍

匍それを早く言つてよ曷出かけてきていい？盍

匍ちよつと待て曷もうすぐ一段落するから一緒に行く盍

匍忙しいんじゃないの？盍

忙せわしなく動く手を見ていると甚遊んでいる暇があるようには思えな

い曷

匍問題ない曷本当は掃除に今日一日かかるつもりで予定を空けていたからな盍

よくそんな物件を渡してきたなと甚華は半眼になる曷

朔は術者の中で最も上のランク甚五色の漆黒を持つ術者だ曷

そんな朔が一日かかるとは甚普通で考えたらとんでもない案件である曷

それをコンビニでアイス^{おい}を奢るような軽さで与えるのだから甚これを華の力を認めてくれている信頼ゆえと取るべきか正直迷う曷
匍すぐ終わるから待ってる盍

傲岸不遜^{ごうがんふそん}にそう言う^ふと甚朔は再びパソコンの画面に視線を落とした曷

仕方なく華は近くのソファ^ふに座り甚あずはと戯れながら大人しく

待つ曷

ここに葵がないのは椿と洋館の中で盛大な追いかけてっこをしているからだ曷

あの二人は力の強さが拮抗きうこうしているために甚葵も椿から簡単に逃げられずに苦勞している様子曷

もういっそ受け入れた方が楽ではないのかと思うが甚葵は椿をかなり苦手としていて甚椿の想いが葵に通じることがは当分なさそうだ曷

葵が折れるのが先か甚椿に新しいダタリンができるのが先か甚二人の動向を密ひそかに楽しんでいるのは葵には内緒である曷

葵の他に姿の見えない雅と嵐は一緒に散歩に出かけていった曷庭でのんびり日向ひなたぼっこしてくるらしい曷

新入りの嵐は他の式神とも仲良くやっているようで甚華もひと安心

する曷

同じ式神でも基本物の神である嵐はプライドが強く出てしまわないか心配していたものの甚先輩である他の式神をそれとなく立ててくれるので甚うまくいつているのだろう曷

どこぞの偉そうな当主様に嵐の爪の垢あかを煎せんじて飲ませたいものだ曷
そうすればもう少し謙虚さを得られるかもしれないのに曷

そうこうしていると甚ノ彡トパソコンをパタンと閉じた音が聞こえてきたので朔に視線を向ける曷

匍終わった？ 盍

匍ああ盍

匍じゃあ甚早く行こう！ 盍

待ってましたとばかりにソファ彡から飛びあがるように立った華は甚機嫌よく部屋を出ていく曷

匍よほど退屈だつたんだな盍

やれやれと困つた子を見るような優しさを含んだ眼差まなざしで甚朔も後からついていく曷

匍葵達はどうしようか？ 声かける？ 盍

匍ほっとけ曷今頃楽しく鬼ごっこをして遊んでるんだろっからな盍

椿にとって楽しいのは間違いないが甚葵にとっては真逆な感想だろ
う曷

しかし甚観光客という人目のある中に騒がしい二人を連れていっても面倒を起こしかねないので甚ここは葵を放置するという選択肢を取ることにした曷

使用人に車を出してもらい甚華と朔甚そしてあずはは共に町に出る曷

高台の上の方にある別荘から車で五分から十分ぐらいだろうか曷

硫黄いおうの匂いがどこからもなく流れる温泉街にやって来た曷

この日は休日とあって大勢の人が歩いている曷お店も大盛況なよう
で甚行列ができている店もたくさんあるようだ曷

匍にぎこんな賑やかな温泉街が近くにあるなんて甚ほんとに立地だけはめ
ちやくちやいいのね甚あの別荘盃

匍そうだろ曷少しは気に入ったか？盃

匍妖魔ようまが出なきや最高なんだけどね盃

匍それさえなんとかできる実力があれば最高な別荘だろ曷華には嵐が
いるし甚戦力は十分なはずだ曷ただ甚こんな人が多く集まる場所が近
いだけに甚溢あふれるなんてことだけはないように気をつけてくれ曷一応
結界は張ってあるが万が一ってこともある盃

匍めんど埒い盃

華に与えられた以上甚今後は華が注意しなければならない曷

観光客が多く集まる温泉街なんてものがあるので甚妖魔が溢れて何かあつたら華の責任になってくる曷

まったく面倒なものを押し付けられてしまった曷

匍掃除は半年に一度ぐらいでいい曷今回は当主の交代や犬神の一件で忙しくて様子を見にこられなかったせいで相当数の妖魔が集まっていたが甚普段はあんなに多くない曷来る頻度を上げれば甚華の実力ならさほど重労働でもないだろう盃

匍そうなんだ曷それならなんとかなるかも盃

なにせ妖魔の問題がなければ素晴らしい物件であるのは否定できな

い曷

普段から力が強い故に妖魔から狙われている華にとつたら甚妖魔退治はそれほど難しい作業でもないのだ曷

ただ甚今回は量が半端でなく多かったので文句を垂れ流しているだけ曷

多少であるなら嵐を式神に持った華ならばなんてことはない曷
そう考えると甚海が見えて近くに温泉街もあるあの別荘はいいもらい物だったのかもしれない曷

というか甚もうそう思うように自分に言い聞かせることにした曷
重あるじ様甚早く見て回ろう紂

華の髪に飾りのように止まっているあずはが催促をする曷

あずはは遠出をしたことがないので密かにテンションが上がっているのかもしれない曷

匍そうね曷行こうか盍

歩き出すと朔がすかさず華の手を握ったために動揺する曷

匍朔っ！盍

匍迷子になりたくないだろう？ それに甚この方がデ々トっぽいし
な盍

自信に満ち溢れた強気な笑みを浮かべる朔の手を振り払うことがで
きず甚わずかに頬を赤らめた華は甚離されないように軽く手を握り返
した曷

温泉街では定番的な温泉卵を買い甚熱々の温泉まんじゅうにかぶり
つき甚綺麗きれいな渦を巻くソフトクリームに目を輝かせた曷
匍おい甚食ってばっかりだな盍

さすがに朔も呆あきれたようにツッコミを入れる曷

匍だつて美味^{おい}しいんだもん盃

匍夜ご飯食べられなくなるぞ盃

まるで母親が子供にするような注意をする朔の言葉も右から左に聞き流し甚次は視界に入ってきた足湯に興味を惹^ひかれる曷

匍ほら甚朔曷足湯があるよ盃

朔の手を引いてずんずん向かう華に甚朔はやれやれといった表情をしつつも甚その目はとても温かいものだった曷

目の前で売っていた瓶に入ったサイダ^ダを購入してから甚靴と靴下を脱いで足湯につかる曷

匍朔もおいでよ盃

なにやら躊躇^{ためら}っている朔をうながすように隣の席をトントンと叩^{たた}け

ば甚仕方なさそうに靴を脱いでジアンズの裾をまくりあげて足を湯につけた曷

匍あゝ甚気持ちいい～盃

そう言いながらサイドをラッパ飲みする様は甚うら若き女子高生とは思えない曷

匍ぷはあ曷最高ですな甚これは盃

匍どこぞの親父みたいだぞ盃

匍いいじゃないのよ甚せつかくなんだから曷温泉なんて初めてだし曷別荘にも温泉湧いてないの？盃

匍ちゃんと引いてきている曷源泉かけ流しだ盃

源泉かけ流しとはなんと心惹かれる響きだろうか曷

匍やった曷帰ったら入ろつと盃

匍なんなら俺が背中を流してやるぞ盃

ニヤリと口角を上げる朔を甚華は半眼で睨む^{にら}曷

匍このエロ親父盍

匍夫婦だ曷遠慮するな盍

匍するに決まってんでしようが！盍

匍まあ甚キスも俺が初めての華に甚一緒の風呂^{ふろ}はハタドルが高すぎる
か曷もう少し経験値をつけてからだな盍

カツと顔を赤くする華は甚朔に向けて手に集めた力を投げつけた曷
それは朔に当たると霧散したが甚朔は非常に慌てた表情になる曷

匍危なっ！ お前甚こんなところでなにするんだ盍

力の塊は術者ではない一般人に見られることはないが甚過去にはそ
れで朔の弟である望^{のぞむ}を吹っ飛ばしたこともある攻撃力を持ったもの

だ曷

力の強い朔だからこそ相殺されたが甚一般人には危険である曷し甚そんなことは華もよく分かつての行動だ曷

匍朔が悪いんでしょうが！　ちゃんと手加減したもの盍

実際に朔にはデコピンされたより弱い衝撃しか与えられなかっただろう曷

匍その程度で照れてどうする曷世の夫婦はもっとすごいことするんだぞ盍

真剣な顔でなんてことを言うのか甚この男は曷

匍その前に離婚してやるぞ！盍

吠^ほえる華を朔は楽しげに見つめ甚くくつと肩を震わせて笑う曷

その時になって甚朔は華の反応をただ楽しんでるだけなのだと分かった曷

甫く～曷朔はその性格直した方がいいわよ曷モテなくなるんだから
甫安心しろ曷俺には華以外は目に入っていないから問題ない盃

甫だから甚そいうのをやめてってば！盃

恥ずかしげもなく口説くような台詞せりふを言われても甚華は反応に困っ
てしまう曷

甫俺の本心だ曷華には回りくどい言い方をしても伝わらなそうだから
な曷ストレ^トに愛情表現することになっている盃

甫だからって甚人前でやめてよ盃

向かい側で同じく足湯を楽しんでいたおば様連中が甚ニヤニヤしな
がら見ているではないか曷

甫若いっていいわねえ盃

甫私もそんな時代があったわ^ト盃

そんなおば様達から聞こえてくる言葉が華の羞恥心しゆうちしんを刺激してくる曷

これ以上ここにいては心臓に悪いと湯から足を上げてタオルで拭ふこうとすると甚タオルを奪った朔が華の足を丁寧めぐに拭ぬぐい始めた曷

これには華は大いに慌てた曷

匍ちよつと甚朔！ 盍

向かいのおば様達が匍あらあら盍と微笑ましい表情で盛り上がっているのが甚余計に居たたまれない曷

華の動揺もなんのその曷タオルを奪い返そうとする華を軽くないなしで綺麗に水滴を拭いてから甚朔は自分の足も同じように拭った曷

恥ずかしさでいっぱいの華は無言で靴下と靴を履き甚足早に足湯から離れた曷

解とかい表う表う表う待まちてゐる

匍待ちません！ 盍

朔には羞恥心というものが無いのかと甚華はお冠だ曷

しかし甚朔の顔には申し訳なさはまったく浮かんでおらず甚逆にと
ても機嫌が良さそうにしている曷

その顔がなおさラム力ついて仕方ない曷

匍なんで笑ってるのよ盍

匍くくくつ曷華といると本当に飽きないな盍

匍意味分かんないし盍

匍俺が分かっているから問題ない盍

以前に朔が笑わないと言っていたのは椿だったろうか曷

蠟ろう人形のように表情筋が死んでいるようなことを言っていたが甚今

の表情豊かな朔を見ていたらとてもじゃないが信じられない曷

だが甚笑わない朔よりは甚笑っている朔の方がずっと魅力的だと思う
う曷決して口には出さないけれど曷

再び朔の方から手を繋いできたが甚華は嫌がったりはしなかった曷
そのままぶらぶらと温泉街を歩いていると甚ふと勾玉まがたまを売っている
店が目に入って足を止める曷

パワダストダンとも書かれており甚そこにはいろいろな石で作られた
勾玉が置いてあった曷

匍欲しいのか？ 盍

匍うダん甚そうだなあ…… 盍

石の名前と共に意味と効果も書かれている説明を読みながら気に
なったのは甚白い瑪瑙めのうの勾玉曷

石の意味と効果の内容を確認して華はニヤリと笑う曷

匍すごくあくどい顔になつてゐるぞ盃

すかさず朔がツツコむが甚華の表情は変わらない曷

いや甚むしろ笑みが深くなつたように見える曷

匍朔甚この白瑪瑙の勾玉買つてあげる曷私からのプレゼントってことで甚漆黒のペンダントと一緒につけてよ曷愛妻からのプレゼントなんだから嬉しいでしょう？ 盃

ニコニコと笑みを浮かべる華の言葉を鵜呑みにする朔ではなく甚疑いの眼差しが向けられる曷

匍それはいいが甚なにを企んでる盃

匍失礼な曷別荘をくれた朔へのお礼よ盃

すると甚華は白い瑪瑙の勾玉を一つではなく二つレジへ持つて行つ

た曷

匍んふふふ～盃

なんとも機嫌のよい様子で甚買ったうちの一つを朔に渡す曷

匍ほらほら甚つけてみて盃

匍ああ盃

何故二つなのか疑問に思いながらも甚朔は術者の証明代わりである
漆黒のペンダントトップが通ったチエ^エンに勾玉を通した曷

小ぶりな勾玉は邪魔になることなく漆黒の証と共^{あかし}に朔の首元を飾

る曷

匍もう一つはどうするんだ？盃

匍いざという時の保険に取つとくの～盃

疑問は解消されないままだったが甚華の機嫌がよさそうなので朔は
それ以上追及することをやめた曷

その後も温泉封を歩きながらくさくさのり土壺を買って意気易々ト

ニ（後）ヨシ見ゆるをさまたけたりとて、
別荘に戻ると甚張り付いた椿を引きずりながら葵が半泣きで帰りを
待っていた曷

匍俺を置いてどこに行つてたんだよお 盃

匍今日一日ダダリンといられて甚椿幸せゝ 盃

匍早くこいつを引き離してくれええ 盃

なんとも情けない声で助けを求める葵 曷

まさかあの後も追いかけてつことを続けているとは思わなかった華と朔
は甚顔を見合わせて深い溜息^{ためいき}を吐いたのだった 曷

=

二章

別荘から帰宅後甚華は自分の部屋に直行した曷

匍あ～甚疲れた～盍

そう言いながら華はソファ 𠂇に横になる曷

畳に布団を敷くタイプの一ノ宮の屋敷とは違い甚別荘にはベッドが置いてあつた曷

華がベッドに飛び込むようにして寝転がれば甚マットレスのほどよい反発が華を受け止めてくれた曷

よほど質のいいマットレスのようで甚すぐに睡魔がやって来るほどに寝心地がよかつたのを思い出す曷

いっそ一ノ宮の屋敷もベッドにしてもうっつようこ頃もつか曷

そうすればいつでも寝たい時に寝られるしなどと思っていると甚朔がノックもなく部屋に入ってくる曷

溶けるようにくつろいでいる華を見て甚朔は苦笑いする曷
匍だらけすぎだろ盍

匍だつて甚別荘に着いて早々妖魔退治ようまをさせられたんだから仕方ないじゃない曷朔が悪い曷しかも甚退治したはずの妖魔が今日も湧いて出てきたから一人で退治したのよ曷朔も手伝ってくれと思ったのに甚椿を置いてさつさと一人で帰っちゃったっていうんだもん盍

今朝起きたら甚朔は帰ったと椿に聞かされて華は愕然がくぜんとした曷

なにせ外を見れば一掃したはずの妖魔がまたもやそこら中を徘徊はいかいしていたのだから甚気持ちのいい朝が台なしである曷

菫は春から逃ず回って没こ立たなハしさ曷そもそも妖魔はたまこ帰

除するだけでよかったんじゃないの？　めちゃくちやいたんですけどお盃

華はソファに横になりながら甚責めるようにじとつとした眼差しを向ける曷

甫それは悪かったな曷こつちも急に呼び戻されたから華に直接伝える時間がなかったんだ曷今日湧いた妖魔は甚華の気配に反応して周辺の奴らが寄ってきたただけだろ曷別荘の土地は関係してないと思う盃

別荘に張ってある対妖魔用の結界は甚入ることはできるが出られないという甚妖魔を捕獲するための結界となっている曷

ただでさえ集まりやすい土地に甚普段から妖魔に狙われる華がいたことで甚思いがけず妖魔ホイホイのようになっちゃったようだ曷
こればかりは朔にも想定外だった曷

匍華が帰って以降は甚妖魔も現れていないと報告があったから問題ないだろう曷また時間を見つけて掃除しておいてくれ盍

匍はいはい盍

やっぱり面倒なものを引き受けてしまったと後悔が襲ってくるが甚今さら返すと言っても朔は受け入れないだろう曷

匍今度から朔の言葉は信じないことにする盍

匍そう言うな曷任せたぞ盍

本音は嫌だが仕方ないと甚華は大きな溜息を吐いた曷

匍あゝ甚もう曷嵐で心を癒^いすしかない盍

そう言うや甚華はソファ^ゝから起き上がって甚近くで横になりくつろいでいた嵐に抱きついて甚そのもふもふの毛に顔をうずめた曷

魅惑のもふもふが華のささくれだった心を癒してくれるような気がする曷

嵐は呆れ^{あき}つつも暴れることはなく甚華の好きなようにさせてくれている曷

なんと心の広い神様だろうか曷まあ甚そのせいでたたり神になってしまったぐらい優しい神様なのだ曷

匍ところで甚急用ってなんだったの？　なんか帰ってきたら屋敷の空気がピリピリしてるんだけど甚そのせい？　盍

匍氣付いたか盍

匍そりゃあ甚あんだけ張り詰めた空気を発してたら嫌でも氣付くって盍

一ノ宮に属する術者が頻繁に出入りしており甚その全員が怖い顔をしているのだ曷

本家とあって甚普段から証となるペンダントを首から下げた術者が
出入りしてはいたが甚その頻度が異様に高い曷

これはなにかあったなと甚鈍感な者でも気がついただろう曷

朔は嵐に抱きつく華の前に胡坐あぐらをかいて座ると甚真剣な顔で口を開
いた曷

術術者協会本部に侵入者があった盍

甫マジで言ってるの盍

甫ああ曷犯人は捕まっていない曷目下搜索中だ盍

甫うええ盍

華がひどく驚いた顔をするのは当然だった曷

術者にはならず一般の会社に就職するつもりでいたために術者協会
のことに詳しくない華でも甚協会本部の警備の嚴重さは耳にしてい

た曷

関係者以外は甚ありんこ一匹中に入れぬ強固なセキュリティを自負している協会本部曷

そんな場所に侵入しようとして試みた人間がいたことにも驚くが基本当に侵入してしまったことにさらに驚愕きょうがくする曷

しかも犯人が捕まっていないとは曷

匍協会の警備はどうなってるの？ 盍

匍警備は完璧かんぺきだった曷しかし甚どうやら内部に協力者がいたようだ曷

事件以降行方の分からない術者が数名いるらしい盍

匍それはなんとというか甚ご愁傷様としか言えない盍

匍まったくだな盍

深く息を吐く朔からは焦燥感のようなものを感じる曷

匍その侵入者って甚ただ侵入しただけじゃないんでしょう？ 盃

そうでなければこれほど多くの術者が動いているはずがないという
華の推測だったが甚それは当たっていた曷

匍ああ甚侵入者は協会本部に保管されていた呪具じゆぐを持ち去っている盃
匍呪具っていうと二条院の作った？ 盃

匍ああ曷しかも危険ランクSSの呪具ばかりだ盃

匍それめっちゃヤバイやつじゃない！ 盃

匍だから甚皆ピリついてるんだろうが盃

今さら何を言っているんだと言いたげな朔の眼差まなざしが痛い曷

華でも知っているその危険性曷

呪具と聞くと悪いものを想像しがちだが甚すべての呪具が人間に害
を与えるわけではない曷

こころまにしるしにば天龍こころにこころに三まにしるしにきす天龍月つ式器こ

そのほとんどが妖嬈と単なるために生み出された素文妖嬈月の正器と言つてもいい曷

そんな中で甚危険ランクSSと評価された呪具は甚悪用された場合には人間にも大きな災厄を与えかねないと封じられたものなのだ曷

それがどんな効果を持っているのか甚分家の中でも発言力の弱い一瀬家の華は知らないが甚そういう危険な呪具を協会が管理していることは授業で習う曷

それと共に甚危険ランクSSと評価されたもののすべてが甚二条院により作られたものだということも曷

匍なんでもそんな危険なもの簡単に盗^とられてんの！ 本部つてことは一ノ宮の管轄内でしょうに曷つまり一番の責任者は朔じゃない！ 盃

華は失礼なほど朔に向けて指を差す曷

罰だから俺も焦ってるんだろっが！ 盃

くわつと目を剥き朔が吠える曷

少々八つ当たりをされているような気がしてならないが甚朔もそれほどに焦っているので仕方ない曷

匍協会ができて以来甚これほど重大な不祥事は数えるほどだったのに甚よりによって俺の代で起こるなんて……曷これを知った馬鹿親父の高笑いが聞こえてきそうだ盍

頭を抱える朔は本気で困っている様子曷

馬鹿親父とは朔の父親のことだろう曷朔がたまに父親のことをそう言っているのを耳にしていた華はそう判断した曷

朔と父親の関係も今のところ謎だった曷

あまり仲がよろしくないような話を以前していたし甚まだ会ってい

ない朔の父親のことを食事の場で話そうものなら一瞬で空気が凍るの
で甚華も聞けずじまいでいる曷

この屋敷で唯一朔を匍坊ちやま盎と言ってからかえるベテラン使用
人の十和とわから甚それとなく元気であると教えてもらえたので甚いつか
会う機会はやってくるかもしれない曷

朔の父親のことはその時考えればいいとして甚今問題となっている
のは協会に侵入した者達だ曷

匍見つかりそうなの？ 盎

匍今甚動ける術者を総動員して搜索に当たらせている曷どうやら厄介
なのが絡んでそうで甚一ノ宮以外の家の力も借りることになるだろ
う盎

匍厄介なの？ 盎

匍どくろ重蜀婁どくろニ皮岸花寸バ助一てーるうーン 盎

肩這骨骨と袖肩衣糸が重してしるししる

匍なにそれ盃

なんのこつちやと甚よく分かっていない表情で首をかしげる華に甚
朔は手で目を覆う曷

匍お前は甚一応五家の分家出身だろうが……曷なんで知らないんだ盃
呆れ果てた様子の朔曷まるで知らない華が悪いと言いたげな彼に甚
華も力チンとくる曷

匍知らないもんは知らないんだから仕方ないでしょう曷で甚髑髏と彼
岸花だつけ？それがなに？盃

匍現場から髑髏と彼岸花の模様が描かれたボタンが見つかったんだ曷
その模様は以前から存在していたテロリスト集団のシンボルだ曷通
称甚彼岸の髑髏盃

匍通称がそのまんますぎ盃

ぷぷつと笑う華の頭をチョップして黙らせると甚朔は続ける曷

匍彼岸の髑髏は甚柱石を護る役目を負うことまもで甚国内において強い発言力を持った五家を引きずり下ろしたい奴らの集まりでな曷五家に支配されたこの国を五家から解放するというのが奴らの言い分だ盍

匍分かりやすいテロリストの思想ね曷というか甚柱石のことを知ってるってことは術者の家の出身なの？盍

匍そうだ曷なんらかの理由でないがしろにされてきた術者崩れの集まりだ曷術者として実力があるわけではないからこれまで放置されてきたんだが甚ここのところ急激に力をつけてきて甚方々で問題を起こしていてな曷さすがに目に余ると甚五家から各術者に警戒と排除に動くよう通達がされようとしていた矢先だった盍

匍へえ 盃

どこか他人事ひとごとの華に朔が忠告する 曷

匍奴らは影響力を持つ五家の存在を疎ましく感じている 曷隙あらば力をそぎ落とそうと甚虎視眈眈こしたんたんと狙っているんだ 曷奴らの敵は五家 曷一ノ宮当主の妻である華も狙われる可能性がある 盃

匍えっ！ 盃

自分には無関係だと樂觀視していた華はぎよっとする 曷

匍冗談でしょう!? 盃

匍残念ながら冗談じゃない 曷奴らは危険な呪具を持ち去ったんだ 曷それを使って過激な行動を起こさないととも限らない 盃

匍すっごいやバいじゃないの！ 盃

匍だからそう言ってるだろうが甚たわけ者！ 盃

朔は目を吊り上げて華の額に強烈なデコピンをする曷

甫痛い！ なにすんの！ 盍

甫華が人の話をちゃんと理解してないからだろ盍

甫仕方ないじゃない曷こくよう黒曜に通ってるだけで私は万年Cクラスだし甚一般人になるつもりで術者のことに興味なんてなかったからちゃんと勉強してないし盍

甫今は当主の妻だ曷もっと興味を持て盍

そう言われても今さら勉強したいとは思えない曷

いずれは朔とも離婚して報酬をもらい甚悠々自適にのんびり暮らす予定なのだから曷

わざわざ覚える必要性を感じない曷

そんな華の考えはお見通しだったのか甚朔はなんとも凶悪な笑みを

浮かべる昼

匍改善が見込まれなかったら甚母上に頼んで特別授業してもらうことになるぞ益

なんという最悪の脅し文句曷

華は顔を引きつらせる曷

匍それは勘弁！ 盗

美桜はツンデレさんで甚嫁の教育に関しては見るからに厳しそうな
のが分かる曷

完璧主義者といふのだらうか曷そんな美桜から直々に教えを賜るな
 かんぺき

他人にも自分にも厳しい美桜と甚他人には厳しく自分には甘い華が
相容あひいれることはないのだ曷

冷静な嵐のツツニミに刃が噬みつく唇

匍黙ってる曷神には分からない人間の複雑な心情があるんだ！盃

重む甚む？ そうなのか？ だが甚華はびっくりして動かなくなったぞ？ これはいいのか？ 紂

匍好都合だ曷回りくどいことをしてると華はすぐに逃げようとするから甚強引なぐらいがちょうどいい盃

重おなごは大事にしないといかんぞ紂

匍これは夫婦の問題だから大人しくしてろ盃

華を下にして嵐と言い合いをしている朔は甚華が静かに怒りに震えているのに気がつかない曷

匍なにが強引なぐらいがちょうどいいだ！ このエロ親父がつ！盃

華は押し倒された状態で甚自分の上で四つん這いはになる朔のみぞおちに拳こぶしを勢いよくめり込ませた曷

見事な右フックに朔は苦しげな呻き声うめを上げる曷

匍ぐうつ！ 盍

お腹を押さえる朔をさらに蹴けり飛ばして上からどかすと甚嵐に抱き
ついた曷

匍嵐甚こういう時は葵みたいに問答無用で蹴り飛ばしていいから甚見
てないで止めてちょうだい！ 盍

重そうなのか？ だが甚夫婦の問題に私が首を突っ込んでいいもの
か…… 紂

匍全然いいから今度からすぐに助けて！ 盍

重了解した紂

華が氣迫に満ちた顔で詰め寄れば甚嵐はあまり理解していないよう
だが頷うなずいてくれた曷

……

そんな会話をしていると甚よこやく動けるよこになった刃力痛そこにしながらもぞもぞと起き上がる曷

匍華甚お前甚俺を再起不能にする気か！ 盍

匍自業自得でしょうが！ なに考えてるの!? 盍

匍離婚とか言い出すからだろうが曷子供でもできたら離婚したいとか言い出さなくなるだろ？ 盍

匍そんなことしたらそれこそ離婚だ！ 慰謝料用意しとけ曷破産するぐらい搾り取ってやる！ 盍

ぎゃあぎゃあと騒いでいると甚華の部屋の外から十和の声が聞こえてきた曷

匍ほほ甚仲がおよろしいようで私も嬉しゅうございます曷坊ちやま

にお客様かお起してすよ盃

どうやら朔も仕事へ向かう時間のようだ曷

やれやれと痛むお腹を押さえながら立ち上がった曷

甫十和甚いいかげん坊ちやまはやめる盃

甫ほほ曷そうでございますね甚坊ちやま盃

十和は笑いながらも坊ちやま呼びは継続するよううで甚朔はがつくり
としている曷

朔もいちいち指摘するのだが甚十和に対しては強く出られないよう
うで諦めて^{あきら}いるようにも思える曷

朔が生まれる前から一ノ宮で働いていたらしく甚なんだかんだこの
屋敷で一番強いのは十和なのかもしれない曷

あの気難しく敵しい美安も甚十和こどすは丁寧こ妾してゐるのを惑

じるので甚一目置いていゝるのは間違いない曷

部屋を出て行こうとした朔は足を止めて振り返る曷

匍さつきも言つた通り甚彼岸の髑髏には氣をつけるんだぞ曷学校の行き帰りはちゃんと車を使え盍

匍は歹い曷一応氣をつけとく曷言われても誰がテロリストかなんて分かんないけど盍

匍まあ甚それはしょうがない曷けれど甚不審だと思つ者にはついていくなよ盍

匍子供じゃないんだから大丈夫よ盍

お前は私のオカンかと言いたくなるような心配の仕方をする朔に甚華も呆れ交じりの顔をする曷

匍俺はしばらく忙しくしているから甚なにかあれば母上に言つてく

才姦

匍了解姦

匍いい子にしてろよ姦

華の頭をわしゃわしゃと撫なでると甚ふつと口角を上げて朔は部屋を
出ていった曷

朔が言っていた通り甚以降は屋敷を出たり戻ったり忙せわしく動いて
いるようだ曷

いつもは家族全員で集まる食事の席にも出られないほどのなか甚当
主の席に朔の姿はなかった曷

匍今日も朔は出かけてるんですか？ 盍

匍そのようぐざいます 畚

答えてくれた十和が申し訳なさそうにするが甚別に十和が悪いわけではないのだ曷

「匍まだ見つからないのか……」 盃

華はつぶやく曷

協会本部から盗まれたという呪具曷

恐らくそれを取り戻すまでゆっくりとはいかないのだらう。曷

匍華さん甚術者協会に登録もしていない学生のあなたが心配すること
ではありませんよ曷当主の妻としてどんと構えていなさい盍

つい□られているように感じてしまう声色と甚つり目がちな美桜の

顔立ち曷

最初こそ庫しそんな雰囲気になんて圧されていたか甚最近には美桜が存外優しいことを知る機会も増えた曷

今も華を□りつけているように見えて甚心配ないと慰めてくれているのだ曷

なんと分かりにくい気遣いだろうか曷

きっとその顔立ちと口調で美桜はかなり損をしているのだろうと思えてならない曷

まあ甚ここで働く使用人達は美桜のそんなツンデレな性格をよく理解しているようなのが幸いだ曷

甫は甚はい！ 盍

美桜を相手にすると自然と背筋が伸びる曷

甫では食事にいたしましたしよう盍

華の反身こ気をよくしこと美桜が皆を収るし甚華し浄かこ動可を言

望の返事にも答えず、しかしカミナリが箸を取る。と甚望と青木は重なりを見守っていた望も箸を手にして食事が始まる曷

食事を素早く済ませ甚華と望は学校の時間だ曷

匍のつぞむく～ん曷たまにはお義姉様ねえと登校する？ 盍

匍するか甚馬鹿！ 俺はまだお前を認めてねえかな！ 盍

顔を真っ赤にして怒鳴ると甚望はさっさと自分用の車に乗り込んで行ってしまった曷

それをニヤニヤとした表情で見送る華曷

もしここに朔がいたら甚からかうのはやめてやれと窘たしなめていただろ
う曷

ここに暮らし始めてしばらく経つが甚末いまだに望とは必要以上の会話をしない曷

しかし甚華は望が隠れブラコンであることを偶然にも知る機会が

あつた曷

朔のことが大好きなくせに反抗してしまう望を甚華はついっ
つかってしまうのだ曷

そのせいで余計に望から避けられてしまっているのだが甚
そんなのお構いなしに華から積極的に関わっていく曷

本人は未だにブラコンであることを気付かれていないと思
っているのだから甚本当に愉快でならない曷

いつバラしてやろうかと甚華は虎視眈眈こしたんたんとその瞬間を狙っていた曷

匍まがたまいつ勾玉を使おうかなあ 盃

華は至極楽しそうにしながら甚自らも車に乗り込んだ曷

学校へ行けば甚相変わらず華は落ちこぼれた曷

一ノ宮では華の力を見せたので甚その実力は誰もが知るものだが甚ひとたび外に出たらまったく逆の評価がなされる曷

望も甚以前に華との対決でコテンパンにのされたのに甚黒曜学校の誰かに話したりはしていないようだ曷

きつと一ノ宮の次男でありながら甚分家の華に手も足も出なかったことが恥ずかしいのだろう曷

しかも華は甚世間では姉の残りカスなんて言われている落ちこぼれなのだから余計だ曷

Aクラスの生徒は無駄にプライドが高い集まりというのは華も知っているから甚それを責めるつもりもないし甚ましてや自分から望に勝ったなどと言い回ったりするはずがない曷

今更にも甚は甚き者うこましの平面のミニミニーうしろよりこころノニーニ

今でも車は甚落ちこぼれの評價のままていらねるならそこしたいと願っているのだから曷

だがまあ甚限界も感じ始めている曷

結婚したことで甚これ幸いと朔が華の力を頼るようになってしまっているから曷

犬神の事件の解決や甚別荘の掃除といったものを今後させられそうである曷

朔の手伝いをすればするほど甚華の実力が周囲に知られる危険性が高くなってしまいう曷

その時はその時と諦めるしかないのだろう曷

後の面倒なことは朔に押し付けるしかない曷

そう結論に至った華は甚いつも通りの学校生活を送るのだった曷

教室で授業を聞いている華は甚あまりの退屈さに教科書に隠れながら大きなあくびをした曷

元々術者になるつもりは一切ない華にとって甚術者のための黒曜学校は無意味だった曷

しかし甚朔からも術者の世界のことをもっと勉強しろと言われたので甚今日は珍しく起きているのだが甚睡魔が襲ってきて仕方ない曷

もう諦めて寝てしまおうと悪魔が囁いてくる曷

また明日から頑張ればいいのかと意識を手放そうとした時甚校庭からドスンと激しい音がした曷

窓ガラスも振動するほどの衝撃に甚華も一気に目が覚めた曷
そして甚なんだなんだと教室内の生徒が授業そっちのけで窓に集ま

る曷

匍爆発？ 盍

匍なんかあったの？ 盍

匍確か今はAクラスの实技の時間じゃなかった？ 盍

Aクラスと聞いて華が反応する曷

野次馬をかき分けて外を覗く^{のぞ}と甚よりによって三年のAクラスの授

業中だった曷

思わず華は葉月の姿を探してしまう曷

式神同士の対戦でもしていたのか甚生徒以外に多くの式神がいた曷

そのため甚なかなか葉月を見つけられないでいると…… 曷

匍あつ甚華ちゃんのお姉さん見つけ盍

すず

いつの間にか隣に来ていた友人の鈴すずが指を差した方向には甚校庭に
できた爆発の発生源と思われるクレタタの側に葉月の姿があつた曷
なにやら顔を青ざめさせており甚望が慌てたように葉月に駆け寄つ
ていたが甚他の生徒は遠巻きにしている曷

いったいなにがあったのか甚こころでは分からない曷

匍あずは甚姿を消して様子見てきてくれる？ 盃

周囲に生徒もいるので甚あずはは返事をすることなくすつと消えていった曷

匍ほら甚お前達甚席に座れ！ 盍

教師がパンパンと手を叩たたいて着席をうながす曷

皆氣になつて仕方ないようだが、甚校庭の方でも生徒が式神を消して

授業を中止したよ。なので甚華のクリスも次第に落ち着きを取り戻していく曷

しかし甚依然気にはなるようでその後の授業は誰も集中していないようだった曷

休憩時間になると戻ってきたあずはが話せることを知られないように甚華は次の授業をサボることにした曷

空き教室で甚人が来ないように結界を張ってからあずはに問う曷
匍なにか分かった？ 盍

重あるじ様のね甚お姉さんが力を暴走させちゃったみたい紂
匍葉月が？ 盍

華は驚く曷

確かに葉月は人型の式神を作り出すほどの強い力を持っているが甚力を暴走させたことなどこれまで聞いたことがない曷

葉月は未熟な子供の頃ですらきちんと制御ができていたほど甚力の扱いがうまい曷

そんな葉月が今になって暴走させるなんて甚と華は信じられない思
いだった曷

匍力を暴走させてしまうほど甚葉月の感情が揺れているってこと？ 盍
力が術者の心に強く左右されるのは甚術者ならだれでも持っている
知識だ曷

だからこそ甚それ以外に理由が思いつかない曷

しかし甚すでに一瀬の家を出てしまった華に甚最近葉月の身になに
があつたかなんて分かるはずもなく曷

重気になるの？ あるじ様紬

ストレ^レトなあずはの問いかけに甚華は苦虫を嚙み潰したような顔になる曷

匍まあ甚そりゃあね…… 盎

一瀬を出た時にもうあの家とは無関係だと思ったが甚やはり葉月のことになるとどうしても気になってしまう曷

これが両親のことだったら甚匍あ甚そう盎で済ませられるというのに甚気にしないようにしていても気になってしまうのは双子だからなのだろうか曷

しかし甚今さら自分が首を突っ込んででも甚なにをしに来たと葉月に追り返されるだけだと思つ曷

もう葉月のことを気にすることは許されない曷

華の方からその権利を断ってしまったのだから曷

「……」

甬どうしたもののかな…… 盍

兄の柳やなぎならばなにか知っているだろうか曷

けれど柳とは会話をしなくなつて久しく甚もちろん電話番号なんて知らなかった曷

知っていたところで甚兄になんと切り出したらいいか分らない曷
それにやはりほとんど家に歸つてこない柳が甚葉月の状況を知つて
いるとも思えなかつた曷

兄妹きょうだいでありながら甚この繋つながりの薄さは問題かもしれない曷今さ
らなにを言つても仕方ないのだが曷

甬あゝ甚詰んだ盍

葉月が力を暴走させるまで動揺することなんか甚間違はなく一瀬家
の問題に決まっていると華は確信している曷

子供のことは道具としか思っていないあの両親が甚なにか葉月に無理難題を押しつけたのだろう曷

華はあの両親に耐えられなくなって逃げ出した曷

けれど葉月は今もあの両親が作った檻おりの中で生活しているのだ曷
そう思うとなんとも言えない感情が華を襲う曷

甬へう関係ない甚はずなのにな…… 盍

華は両手で目を覆った曷

とつくに捨てたはずの感情を表に出さなくするかのよう曷

どうしたらいいのだろうか曷

華には分からず甚身動きが取れなくなってしまった曷

結局なにをするでもなくその日の授業を終えた華は甚朔に気をつけ
ると言われていたのも忘れ甚気分転換に寄り道をしていた曷

この先にお気に入りのパフェを出しているカフェがあるのだ曷

あれだけ深刻そうな顔をしていたのに甚今やもうパフェのことしか
頭にない曷

匍はっやく食べたい甚パフェちゃんよ〜♪ 盍

即席の歌を歌いながら歩いていると甚不意に声をかけられた曷

匍あの甚一瀬華さんですよ？ 盍

かわいらしい声に足を止めた華が振り返ると甚なにかに怯えたよう
にビクビクとしながらも強い眼差^{まなざ}しで華を見据える甚同じ年頃の女の

子がいた曷

栗色の髪は緩く巻かれたボブカット曷たれ目がちな顔は庇護欲をそ
るような可憐かれんさがある曷

そしてその横には彼女と顔立ちが似た甚スポツでもしていそうな
黒髪短髪の少年がいた曷

身長は望よりも少し高いように見える曷

その二人に目を向けた華はぎょつとして後ずさった曷

二人になにかあるわけではない曷その後ろで仁王像のように睨にらみを
きかせるスツの男達がいたからだ曷

華は一瞬で悟った曷関わってはいけない種類の人達だと曷

華はくるりと方向を変え甚ダツシュで逃げた曷

それに慌てふためいたのは少女だ曷

匍ま甚待つてください!! 盃

少女は叫びながら追ってくるが甚待てと言われて待つ馬鹿はいないとばかりにむしろ速度を上げる曷仁王達も集団で追いかけてくるから甚なおさら怖い曷

しかし甚残念ながら少年の方にあっさりと捕まってしまう曷
掴つかまれた手を振り払えば甚あっさりと放される曷

匍どうして逃げるんですか 殳! 盃

ようやく追いついてきた少女は甚半泣きで怒りをぶつける曷

匍いや甚普通逃げるでしよ 盃

彼女には後ろの仁王達が見えていないのか 曷

華じゃなくても絶対に逃げるほど威嚇してくるのだが 曷

息を整えた少女は甚オドオドしながらも強い口調で華に告げる 曷

匍あ甚あなたにお話があるのでついてきてください 盃

匍すみません曷不審者にはついていくなときつく言われてるんで盍

食い気味で拒否した華に甚少女は声を荒らげる曷

匍不審者じゃありません！盍

匍不審者は皆そう言っんですよ盍

匍ほんとに違いますから！盍

なにやら前にも似たようなやり取りをしたなと甚既視感を覚えつつ
通りすぎようとしたが甚またもや少年に手首を掴まれる曷

無言で睨みつけると甚相手は表情一つ変えずに無言で見返してき
た曷

じと睨み合いが続いていると甚少女がお付きの仁王の一人を前
に出し甚その首から下げていたペンダントを奪い取った曷

それは華も見慣れたものだったので甚驚いた顔になる曷

匍それ甚術者協会のペンダント盃

他の仁王達も華に見せるように甚それぞれ首に下げたペンダントを掲げた曷

白と金色ばかりということは甚一色と二色曷ランクとしては高い曷

見た目は漆黒ぐらい持っていそうな迫力があるのに甚なんとも期待外れである曷

だが甚まあ甚身分を証明するものとしてはこれ以上ない効果があった曷

匍話を聞いてくれる気になりましたか？盃

匍一応ね曷でも安心はしてないわ曷この間の協会に侵入した人達のと甚知らないわけじゃないでしょう？ 犯人は術者らしいから盃

匍わ甚私達は違います！ 盎

匍だったら甚それを証明してよ 盎

不審な行動をしたら即座に逃げられるようにあずはを待機させる 曷
そんな警戒心いっぱいの華を前に甚少女は非常に困ったようにして
涙ぐむ 曷

匍証明甚証明…… 曷えつと甚えつと…… 桐矢^{きりや}甚どうしよう 盎

最終的に少女は甚^{いま}未だ華の手首を掴んでいる少年に助けを求めた 曷
すると桐矢と呼ばれた少年は甚ポケットからスマホを取り出し画面
を華に見せる 曷

そこには朔と甚朔の隣で微笑む目の前の少女の写真があった 曷
これには華も目を丸くする 曷

匍朔の知り合い？ 盎

問いかけると甚初めて少年が声を出した曷

匍俺達は二条院当主の孫曷俺は桐矢で甚そつちが桔梗ききようだ曷よろしく
お願いします盍

無表情で礼儀正しく頭を下げる桐矢に呆氣あつけにとられる華は甚つられ
るように頭を下げた曷

匍あつ甚こちらこそ曷ご丁寧にどうも盍

と甚礼をしたところで甚急速に頭の中が整理されていく曷
匍って甚孫？ 二条院の？ 盍

匍うん甚そう盍

匍そうなんだ……曷ははは……盍

まさに笑うしかない曷

五家の一つ甚二条院の直系を不審者呼ばわりしたことが朔にバレた
ら甚きついお灸きゆうをすえられそうだ曷

甫これで証明しましたよね？　ついてきてくれますよね？　盍

何故そんなにオドオドするのかと問いたくなるほど自信のなさそうな少女甚桔梗曷

二条院の人間ならば断る理由もないと華が頷うなずけば甚いつでも術を發動させられるようにしていたあずはも警戒を解いた曷

そして甚華はもともと行くつもりだったカフェで話をすることにした曷

とりあえずこの店の一番人気のパフェを注文し甚少しして飲み物が先に運ばれてくる曷

華と桔梗と桐矢が座る席の周囲は仁王達に完全に囲まれた曷
なんともシュタルな光景だ曷

人気の店だというのに客足が少ないのは甚きつと彼らのせいだろ
う曷

外から見える窓側を仁王達が固めているために甚外を通る人達が
ぎよつとしている曷

営業妨害だと怒られないか心配だ曷

飲み物を飲んでひと息吐いたところで甚華から本題に入る曷

匍それで甚私に話つてのはなに？ 盍

桔梗と桐矢にそれぞれ視線を向けるが甚桐矢は桔梗が話し出すのを
待っているあたりからすると甚話があるのは桔梗の方のようだ曷

匍……さい盍

匍えっ？ 盍

あまりにも小さな声に華は聞き返す曷

匍朔様と別れてくださいっ！ 盍

匍へ？ 盍

ぽかんとする華に構わず桔梗は続ける曷

匍朔様はとても素晴らしい方なんです！ 最年少で漆黒を手にし甚あの若さで当主となり甚柱石の結界の強化も問題なく完了させてしまわれた曷術者としても男性としても最高の方で甚それなのに彼が妻に迎えたのはあなたのような甚お甚落ちこぼれだった盍

桔梗は華に怒られないかと顔色を窺^{うかが}うように話す曷

匍あなたの双子のお姉さんだったら私も納得しました曷でも甚あなただったら私の方がずっと朔様の役に立てます！ 盍

匍つまり甚あなたは朔が好きで甚自分が奥さんになりたいと？ 盍

匍そ甚そ甚それは甚そのっ……… 盍

桔梗は顔を真っ赤にして俯^{うつむ}いてしまった曷

それだけ啖呵たんかを切っておいて今さらなにを恥ずかしがるのか曷

匍考えなくもないわよ？ 盍

匍えっ基本ですか！ 盍

ぱっと表情を明るくする桔梗曷しかし甚匍はい甚そうです盍と済ませる華ではない曷

匍あゝ甚でもなあ…… 盍

匍どうしたんですか？ 盍

匍私は一瀬の家とは絶縁状態なのよ曷その代わり朔にはいろいろと援助してもらってるし甚就職も幹旋あつせんしてくれるようにお願いしてあるの曷朔と別れちゃったならそういう諸々もろもろがご破算になって甚一人で生活していけなくなっちゃうから 盍

まあ甚そのうち離婚するだろうが甚今すぐとはいかないと華は思っ

ている曷

というか甚今は何故か朔に執着されているので甚朔の興味が薄れるまで離婚は無理だろう曷

華がなんと言おうと朔は一ノ宮当主曷華とは持っている権力の大きさが違う曷

匍ってことで離婚は無理かな盍

ごめんねと笑って終わらそうとした華の前に甚桔梗がさっと差し出したのは金額の書かれていない小切手と離婚届曷

ぎよつとする華に桔梗は言った曷

匍朔様と別れてくれたら十億差し上げます盍

匍……………盍

あまりの金額に呆気に取られていると甚無言を拒否と受け取ったの

か甚値段を吊り上げてきた曷

匍では十五億盞

それでも反応しない華に甚桔梗も一気に値を吊りあげた曷

匍三十億です！盞

チャリタンと甚華の頭の中でお金の音がした曷

匍どこに名前書けばいいですか～？盞

いそいそと鞆かばんからボタルペンを取り出し離婚届に手を伸ばす華に甚

桔梗も表情を明るくする曷

匍桐矢やったよ盞

匍頑張った頑張った盞

よしよしと桔梗の頭を無表情で撫なでている桐矢曷

桐矢は先ほどから表情も声の調子も全然変わらないが甚桔梗とは仲

がよさそうに見える曷

うちとは大違いだなと思いつつも甚頭の中を占領するのは甚三十億円という途方もないお金だ曷

匍ねえねえ甚名前ここでいいの？ 盍

匍はいそうです！ 盍

匍本当に三十億くれるの？ 詐欺じゃないよね？ 盍

匍もちろんです！ 二条院の名にかけて必ずお支払いします曷なのであなたも離婚届にちゃんとサインしてください 盍

匍書く書く～曷喜んで書きますとも～ 盍

匍喜ぶな甚このアホが！ 盍

突然激しいツツコミと共に甚ご機嫌で名前を書こうとしていた華の後頭部がべしんという音を鳴らして叩^{たた}かれる曷

あやうくテタブルに額を打ちつけそうになったが甚ギリギリ回避し

た曷

人の頭を遠慮なく叩いたのはどのどいつだと振り返れば甚そこにはこめかみに青筋をうかべる朔がいた曷

匍げっ甚朔盍

匍げっとはなんだ！ 華につけていた護衛から二条院の本家のやつに絡まれていると聞いて甚忙しい中来てみれば……盍

ぎろりと睨^{にら}む朔は甚華の手元にあつた離婚届を奪うと甚その場でビリビりに破いてしまった曷

匍ああ～曷私の三十億がああああ！盍

匍金に釣られるな曷この金の亡者め盍

朔は再び華の頭を軽くはたいた曷

匍お前はなにやってるんだ!? 学校の行き帰りはちゃんと車を使えと

言っただろう！ 言いつけを守らなかったばかりか甚見知らぬ相手に
のこのこついて行きやがって曷お菓子をくれても知らない人について
いくなと教えられなかったのか？ 盍

匍耳元で怒鳴らなくても聞こえてるわよ！ だって仕方ないじゃない
い曷三十億よ甚三十億！ これは騙だまされたと思って賭かけに出るしかな
いでしょう！ 盍

匍賭けるな甚大馬鹿者！ 普通は怪しくて断るぞ盍

朔はテタブルの上にあつた小切手も破いてしまい甚華は悲嘆にくれ
る曷

匍私の三十億～盍

匍まだお前のものになつてない曷諦あきらめる曷……それよりも甚どういう

つもりだ甚桔梗に桐矢盃

嘆く華は放っておいて甚朔は向かいに座る桔梗と桐矢に厳しい眼差まなざしを向けた曷

匍あ甚あの甚朔様……盃

桔梗はオドオドしながら顔色を悪くし甚桐矢は表情一つ変えずに朔を見る曷

匍こいつになにを吹き込んだのか分からないが甚俺は華と離婚するつもりはさらさらない盃

断言する朔の言葉に甚桔梗は傷付いたような表情を浮かべたが甚朔は気にせずつけ加えた曷

匍この婚姻は一ノ宮の問題で甚二条院の家の者に口を出される筋合いは微塵みじんもない曷これ以上華に絡むようなら甚一ノ宮当主として二条院の当主こそ青を入る二レこによるぞ？盃

の三三に甚憎るゝねることをなるぞ。五

匍ひう甚おおおじい様に盃

匍……………盃

朔にそう言われて桔梗は激しく動揺を示し甚初めて桐矢の表情が嫌
そうに歪ゆがんだ曷

ちゃんと表情に出せるではないかと感心していると甚朔に手を取ら
れて華は店の外に向けて歩き出す曷

その途中甚ちようと華が注文したパフェが来たように甚華は留とどまる
うとするも朔にずるずると引きずられていく曷

匍朔甚待って曷私のパフェが盃

匍諦める盃

匍嫌だゝ盃

問答無用に外に出され甚店の前に停まっていた車に放り込まれた曷

その際にいろんなところをぶつけて地味に痛い曷

匍扱いが雑すぎる曷もつと優しくしてよ盃

不満をぶつける華だが甚朔に怖い顔で睨まれて口元を引きつらせる曷

匍このくそ忙しい時に面倒を起こすからだ曷ちよつとは大人しくできないのかっ盃

匍それは理不尽だってば曷絡んできたのはあっちで甚私は大人しくパフェを食べようとしてただけだもん盃

匍ほう曷その割には嬉うれしそうに離婚届に名前を書こうとしていたように思うが？盃

匍それはその……甚あれよ甚あれ……盃

うまい言いわけが思いつかず甚華は視線をさまよわせた曷

すると甚横から朔の手が伸びてきて華の顎あごを捕らえると甚そのまま唇を奪った曷

後ろに逃げようにも甚空いた手が察知したように華の後頭部に回され甚逃げ道を塞ふさがれる曷

もうこうなってしまうては華には抵抗すべの術はなく甚朔に貪むさぼられるだけ貪られてしまう曷

深く濃厚なキスを存分に楽しんで甚ゆっくりと離れた朔の顔は意地が悪そうに口角を上げていた曷

先ほどの不機嫌さが嘘のように甚なんとも楽しそうである曷

匍馬鹿朔…… 盍

息も絶え絶えで顔を赤くした華は甚そう文句を言うので精一杯だっ

た
曷

匍だが甚嫌ではないだろう？ 盍

なんとごうがん傲岸不遜ふそんに笑う朔が憎らしい曷

朔の言うように甚嫌悪感を覚えていないのを見透かされたようでした。

せめてもの反抗に、甚手の甲で唇を拭ぬぐつてやる。曷

罰それはさすがの俺でも傷付くぞ益

匍朔が悪いんでしょ！
 あんな……盗

先ほどのキスを思い出して甚引きかけていた熱が顔に集まってくる

匍匐気持ちよかったか？ 盎

匍馬鹿つ！ 盗

ニニニ式器バろっこころ罰量ハふへ月つ凶クニ長り下るノてーるじころ

ここに武器があつたら間違ひなく弟の服下には折入つてしまつてゐるからな
う曷

甫まあ甚だが甚これは冗談でなく甚できるだけ外出は控えてくれ盍

急に変わった真剣な声色に甚華の顔つきも真面目になる曷

甫そんなにヤバそうなの？ 盍

甫すでに術者が数人やられた盍

華は息を呑む曷

甫相手は手段を選んでない曷一番危険なのは五家の人間だ曷母上達にも先ほど注意を促したところだ盍

甫それじゃあ朔も危険じゃない盍

甫俺を誰だと思つてゐる曷最年少で漆黒を得た天才だぞ曷華が心配することはない盍

月よ谷さうこふるまうてゐるが甚重なりトマバム式ふつしよくさゝるつナゲ

朔は急転する。はなな。さうして。いる。た。甚。甚。の不安が。抱。抱。て。れる。わ。に。て。
はなかつた曷

匍いい子にしてろよ盍

そう微笑むと甚今度は触れるだけの優しいキスを落とし甚朔は車の
外に出た曷

匍朔も気をつけて盍

華は気の利いた言葉が思いつかずにありきたりな言葉をかけたが甚
朔は嬉しそうに笑った曷

匍ああ盍

ボタンと車の扉が閉められ甚朔を置いて発車する曷

華は不安そうな表情で朔が見えなくなるまで後ろを見ていた曷

桔梗と桐矢の突撃から数日後甚登校するや鈴がハイテンションで駆けってきた曷

匍ねえ甚華ちゃん甚聞いて聞いて～曷今日から三年のAクラスに別の地域の黒曜学校から転校生が来るんだって盍

匍へえ 盍

匍華ちゃんテンション低い～盍

唇を突き出して不満顔な鈴曷

匍逆にどうして鈴はそんなにテンション高いの？ AクラスならCク

ラスの私達には関係ないじゃない盍

Aクラスの生徒はCクラスのことを落ちこぼれとしか認識していないので甚Aクラスには関わるな甚関わってもいいことはないぞ甚と

いつて甚よほどの用事がない限りAクラスの教室には近付かないのが
暗黙の了解となっている曷

AクラスもCクラスなど眼中にないので甚あちらから寄ってくるこ
ともない曷

匍だつてね甚転校してくるのは二条院直系の双子なんだつて曷華ちゃ
んと同じ双子だよ曷それに二条院の双子つていえば甚次期当主候補に
名が挙がっている二人つて話なんだけど甚華ちゃんは知ってた？ 次
期当主になるかもしれない人なんてすごいと思わない？ 盍

匍ふ 盍 盍

キヤツキヤと楽しげにする鈴と至極どうでもよさそうな華との温度
差が激しい曷

鈴がここまで騒ぐのも仕方がない曷

末端の術者にとって甚五家の当主とは天の上の存在曷

せんぼう あこが
羨望と憧れが一身に向けられて然るべき人達なのだ曷

よくよく周囲を観察してみると甚教室の中はやって来る転校生の話で盛り上がっているようだった曷

術者の家に生まれた者が必ず通うことになっている黒曜学校は甚五家の各地域に存在している曷

華が通うのは正確には黒曜第一学校曷そして甚今回二条院の双子は黒曜第二学校から転校してくる曷

匍思ってるより普通の人かもよ？ 盍

匍そりゃあ甚一ノ宮ご当主の奥さんである華ちゃんには騒ぐほどのことじゃないのかもだけどさ 盍

匍いや甚私だって朔以外の五家の当主と会ったことなんてないって 盍

匍そうなの？ 盍

匍そうそう曷ああ甚でもちよつと前に二条院の当主の孫って人達と会ったかも曷桔梗と桐矢とか言ってたかな 盍

名前を言つた瞬間甚華は驚いた顔をした鈴に肩をつか搦まれた曷
匍華ちゃん甚転校生ってその二人だよ！ 盍

今度は華も目を大きくする曷

匍えっ甚本当に？ 盍

鈴に彼氏ができたと聞いた時以来の衝撃だ曷

あの二人は双子だったのかという驚きと共に甚次期当主候補と呼ばれるほど実力のある術者とはとても見えなかったという思いが湧く曷
特に甚オドオドとしていた桔梗に当主が務まるようには思えない曷

一族の当主があんなになにかに怯おびえていては甚下の者が不安がるだ
ろうに曷

やはりそこは甚朔ぐらいに自信家で傲岸不遜な方が当主には向いて
いるのかもしれない曷

ざわざわとした喧騒けんそうは甚チャイムと共に入ってきた担任によって静
まった曷

つつがなくホタムルタムが終わると甚一時間目の授業が始まる曷

これまでなら甚授業開始と共におやすみタイムに入るほどやる気皆
無だった華だが甚最近はちゃんとノタトを取っている曷

いや甚それが普通なことなのでなんの自慢にもならないのだが甚授
業Ⅱ睡眠時間と認識していた華には驚くべき成長だ曷

『E』『B』『C』『D』『F』『G』『H』『I』『J』『K』『L』『M』『N』『O』『P』『Q』『R』『S』『T』『U』『V』『W』『X』『Y』『Z』『AA』『AB』『AC』『AD』『AE』『AF』『AG』『AH』『AI』『AJ』『AK』『AL』『AM』『AN』『AO』『AP』『AQ』『AR』『AS』『AT』『AU』『AV』『AW』『AX』『AY』『AZ』『BA』『BB』『BC』『BD』『BE』『BF』『BG』『BH』『BI』『BJ』『BK』『BL』『BM』『BN』『BO』『BP』『BQ』『BR』『BS』『BT』『BU』『BV』『BW』『BX』『BY』『BZ』『CA』『CB』『CC』『CD』『CE』『CF』『CG』『CH』『CI』『CJ』『CK』『CL』『CM』『CN』『CO』『CP』『CQ』『CR』『CS』『CT』『CU』『CV』『CW』『CX』『CY』『CZ』『DA』『DB』『DC』『DD』『DE』『DF』『DG』『DH』『DI』『DJ』『DK』『DL』『DM』『DN』『DO』『DP』『DQ』『DR』『DS』『DT』『DU』『DV』『DW』『DX』『DY』『DZ』『EA』『EB』『EC』『ED』『EE』『EF』『EG』『EH』『EI』『EJ』『EK』『EL』『EM』『EN』『EO』『EP』『EQ』『ER』『ES』『ET』『EU』『EV』『EW』『EX』『EY』『EZ』『FA』『FB』『FC』『FD』『FE』『FF』『FG』『FH』『FI』『FJ』『FK』『FL』『FM』『FN』『FO』『FP』『FQ』『FR』『FS』『FT』『FU』『FV』『FW』『FX』『FY』『FZ』『GA』『GB』『GC』『GD』『GE』『GF』『GG』『GH』『GI』『GJ』『GK』『GL』『GM』『GN』『GO』『GP』『GQ』『GR』『GS』『GT』『GU』『GV』『GW』『GX』『GY』『GZ』『HA』『HB』『HC』『HD』『HE』『HF』『HG』『HH』『HI』『HJ』『HK』『HL』『HM』『HN』『HO』『HP』『HQ』『HR』『HS』『HT』『HU』『HV』『HW』『HX』『HY』『HZ』『IA』『IB』『IC』『ID』『IE』『IF』『IG』『IH』『II』『IJ』『IK』『IL』『IM』『IN』『IO』『IP』『IQ』『IR』『IS』『IT』『IU』『IV』『IW』『IX』『IY』『IZ』『JA』『JB』『JC』『JD』『JE』『JF』『JG』『JH』『JI』『JJ』『JK』『JL』『JM』『JN』『JO』『JP』『JQ』『JR』『JS』『JT』『JU』『JV』『JW』『JX』『JY』『JZ』『KA』『KB』『KC』『KD』『KE』『KF』『KG』『KH』『KI』『KJ』『KK』『KL』『KM』『KN』『KO』『KP』『KQ』『KR』『KS』『KT』『KU』『KV』『KW』『KX』『KY』『KZ』『LA』『LB』『LC』『LD』『LE』『LF』『LG』『LH』『LI』『LJ』『LK』『LL』『LM』『LN』『LO』『LP』『LQ』『LR』『LS』『LT』『LU』『LV』『LW』『LX』『LY』『LZ』『MA』『MB』『MC』『MD』『ME』『MF』『MG』『MH』『MI』『MJ』『MK』『ML』『MM』『MN』『MO』『MP』『MQ』『MR』『MS』『MT』『MU』『MV』『MW』『MX』『MY』『MZ』『NA』『NB』『NC』『ND』『NE』『NF』『NG』『NH』『NI』『NJ』『NK』『NL』『NM』『NN』『NO』『NP』『NQ』『NR』『NS』『NT』『NU』『NV』『NW』『NX』『NY』『NZ』『OA』『OB』『OC』『OD』『OE』『OF』『OG』『OH』『OI』『OJ』『OK』『OL』『OM』『ON』『OO』『OP』『OQ』『OR』『OS』『OT』『OU』『OV』『OW』『OX』『OY』『OZ』『PA』『PB』『PC』『PD』『PE』『PF』『PG』『PH』『PI』『PJ』『PK』『PL』『PM』『PN』『PO』『PP』『PQ』『PR』『PS』『PT』『PU』『PV』『PW』『PX』『PY』『PZ』『QA』『QB』『QC』『QD』『QE』『QF』『QG』『QH』『QI』『QJ』『QK』『QL』『QM』『QN』『QO』『QP』『QQ』『QR』『QS』『QT』『QU』『QV』『QW』『QX』『QY』『QZ』『RA』『RB』『RC』『RD』『RE』『RF』『RG』『RH』『RI』『RJ』『RK』『RL』『RM』『RN』『RO』『RP』『RQ』『RR』『RS』『RT』『RU』『RV』『RW』『RX』『RY』『RZ』『SA』『SB』『SC』『SD』『SE』『SF』『SG』『SH』『SI』『SJ』『SK』『SL』『SM』『SN』『SO』『SP』『SQ』『SR』『SS』『ST』『SU』『SV』『SW』『SX』『SY』『SZ』『TA』『TB』『TC』『TD』『TE』『TF』『TG』『TH』『TI』『TJ』『TK』『TL』『TM』『TN』『TO』『TP』『TQ』『TR』『TS』『TT』『TU』『TV』『TW』『TX』『TY』『TZ』『UA』『UB』『UC』『UD』『UE』『UF』『UG』『UH』『UI』『UJ』『UK』『UL』『UM』『UN』『UO』『UP』『UQ』『UR』『US』『UT』『UU』『UV』『UW』『UX』『UY』『UZ』『VA』『VB』『VC』『VD』『VE』『VF』『VG』『VH』『VI』『VJ』『VK』『VL』『VM』『VN』『VO』『VP』『VQ』『VR』『VS』『VT』『VU』『VV』『VW』『VX』『VY』『VZ』『WA』『WB』『WC』『WD』『WE』『WF』『WG』『WH』『WI』『WJ』『WK』『WL』『WM』『WN』『WO』『WP』『WQ』『WR』『WS』『WT』『WU』『WV』『WW』『WX』『WY』『WZ』『XA』『XB』『XC』『XD』『XE』『XF』『XG』『XH』『XI』『XJ』『XK』『XL』『XM』『XN』『XO』『XP』『XQ』『XR』『XS』『XT』『XU』『XV』『XW』『XX』『XY』『XZ』『YA』『YB』『YC』『YD』『YE』『YF』『YG』『YH』『YI』『YJ』『YK』『YL』『YM』『YN』『YO』『YP』『YQ』『YR』『YS』『YT』『YU』『YV』『YW』『YX』『YY』『YZ』『ZA』『ZB』『ZC』『ZD』『ZE』『ZF』『ZG』『ZH』『ZI』『ZJ』『ZK』『ZL』『ZM』『ZN』『ZO』『ZP』『ZQ』『ZR』『ZS』『ZT』『ZU』『ZV』『ZW』『ZX』『ZY』『ZZ』

華が起きて真面目にペンを走らせているのを見た教師が甚甬お前甚やっつとやる気になってくれたのかっ盍と感激するほどに甚くクラスの

授業を行う各教科の教師の間でも激震が走ったのだった曷

いかにこれまで華が術者になりたくなかったかが窺^うえる曷

忙しくてまともに会えていない朔から甚今度の試験で平均点以下だったら即美桜に告げ口すると言われているので甚華も美桜の特別授業を受けないようにするのに必死なのだ曷

授業が終わり休み時間になると甚これまでサボっていた分のノ^タトを鈴から借りていそいそと書き写す曷

甬華ちゃんってば甚急に勉強頑張ってどうしたの？ 盍

甬今度の試験が終わるまでは勉強の鬼になるの曷なにがなんでも全教科平均点以上取ってみせる盍

甬えっ甚其里じやないかよ盍

育つて甚無理しやないかな

親友からのなんとも痛い返しに甚せつかく湧き上がっているやる気が削^そがれる曷

匍鈴～盃

匍だつて甚華ちゃんつて黒曜に入学してからの試験甚ずつと全教科赤点だし盃

匍くつ甚それを言わないでよ盃

中学生の頃までは甚なんとか両親に褒められたいと寝る間も惜しんで勉強をしていたおかげか甚成績はそれなりによかつた曷

しかし甚一瀬の家に見切りをつけてからは甚頑張ることが無意味に思えて勉強は適当になつた曷

そんな中で黒曜に入学して念願のCクラスに入ると甚米粒ほどには残っていた両親からの期待も儚^{はかな}く消え去り甚その呪縛^{じゆばく}から解放された

反動で遊びまくると甚隠さなくとも成績が面白いほど落ちていった曷
両親は最初こそ怒りをあらわにしていたが甚すぐに興味は葉月へと
移ったので甚これ幸いと授業もまともに受けず勉強もしなくなったの
だ曷

そんな華が赤点続きなのは当然と言えば当然のこと曷

地頭は悪くないのだが甚明らかな知識不足だった曷

匍ほんとに困るのよ！ このままじゃえらい目にあっちゃう盃

今ほど朔と結婚したことを後悔したことはない曷

匍鈴甚勉強教えて盃

匍ええ甚無理だよう曷私も成績よくないもん曷それよりも華ちゃんに
はAクラスにお姉さんがいるじゃない盃

匍できるものならそうしてゐるって盃

ボソツと呟いた華の言葉は鈴には届かなかったようで甚首をかしげ
ている曷

匍なんでもない曷葉月とは教室が違つし聞きに行けないでしょ？ 盍
匍確かに曷Cクラスの私達がAクラスの教室に行くのはハダドル高い
もんね 盍

匍そういうこと 盍

なんとか鈴を納得させられて甚華は胸をなで下ろす 曷

鈴には一瀬での扱いも甚家族関係が破綻はたんしていることも話していな
い 曷

そのため甚鈴は当然のように双子だから仲がいいと思っっている 曷

葉月は優等生を演じているので甚華への悪口に対しそれとなく窘め
ているから余計だろう 曷

華もそんな鈴の勘違いを訂正するつもりはない曷

そんなことをしても甚ただ鈴に気を遣わせてしまっただけだと分かっているから曷

匍じゃあ甚ご当主の弟さんに頼んでみたら？ 盍

なにも知らず朗らかに笑う鈴はとんでもないことを言い出した曷
いや甚そこまでとんでもないことでもないかもしれない曷

匍弟って甚望のこと？ 盍

匍わあ甚呼び捨てにしてるの？ やっぱり義理の弟だから？ 盍

匍あゝ甚まあね 盍

本家の人間を呼び捨てるのは甚鈴にとっては驚くべきことのように
だ曷

まあ甚華も朔との関わりがなかったら甚本家の人間の名前を呼ぶどころか印り合ひこすらなっていなかつた曷

朔に関しては名前で呼ぶように言われているが甚望には特に指定されていなかったので勝手に呼んでいるだけなのだが曷

なにせ甚夫とはいえ当主である朔が呼び捨てなのに甚弟に敬称をつけるのもなにかおかしい曷

望からも文句は言われていないので大丈夫なはずだ曷

匍にしても甚そうか曷望がいたか盃

あのツンデレ隠れブラコンのことだ甚朔を上手うまく使えば協力してくれる可能性は高い曷

匍例の勾玉まがたまを使う時が来たかな？ でもなあ盃

華の前ではツンしか見せない望に教えられることを考えるだけで甚げんなりしてくる曷

しかも甚室敷で勉強会なんて開いていたら甚美安の耳こ入り甚華の

成績がバレてしまうかもしれない曷

それはまずい曷

華の成績だけは美桜に絶対見せられない曷

見られた日には甚その場で美桜特別授業が確定してしまう曷

匍ヤバい甚詰んだかもしれない…… 盍

華が頭を抱えていると甚もうすぐ次の授業が始まる時間だというのに廊下が騒々しい曷

匍なにかな？ 盍

匍男子が馬鹿騒ぎしてるんじゃない？ 盍

自分には関係ないと無関心でいた華だったが甚次の瞬間そうもいかなかった曷

匍こ甚ここにいました！ 盍

教室内に響いた大きな声に甚ノタトを書き写していた華も驚いて顔を上げる曷

匍あつ盍

華はその人物を見て小さく声を出した曷

周囲が騒然とする中で教室に我が物顔で入ってきたのは甚先日会つた桔梗だ曷

桔梗の後ろから桐矢もついてくる曷

何故か半泣きの桔梗と違い甚今日もなにを考えているか分からない表情をしている曷

さらに驚くことに甚二人に続いて葉月までが慌てた様子で教室内に入ってきたものだから甚Cクラスの生徒が更にざわめいた曷

聞えつまよひで、ムフラスリ子バネこるり? 盍

匍え、甚なうて、ムクナスのニ、たうて、るの、盃

匍しかも一瀬さんじゃん曷ラツキ盃盃

匍あれ甚噂の転校生だよ盃

匍え、そ、う、な、ん、だ、曷、な、に、し、に、来、た、ん、だ、ろ、う、？、盃

などとCクラスの生徒がひそひそと話しているのをよそに甚華に向かつて一直線に桔梗はやって来た曷

匍どうしてAクラスじゃなくてCクラスなんかにいるんですかあ!? 盃
匍いや甚なんでって言われても甚私は黒曜に入った時からCクラスだ
けど盃

匍朔様の妻ともあろうう人がCクラスなんて甚恥ずかしくないんです
か! 盃

匍全然盃

ヒトより契約により台まつこは昏ぐ曷明りこりこ上をヨ臣とつてー

もど。ー甚終に。ー如き。カ終如カ甚終。カめ。ーる目打。ーし
う向上心など端はなからない曷

今勉強しているのも甚朔のためではなく自分のためである曷

匍そこは恥ずかしがってくださいっ 盍

匍そう言われてもねえ 盍

華も困ってしまう 曷

しかも甚そんな今にも泣きそうな顔で詰め寄られたら甚まるで華が
虐いじめているように見えるではないか 曷

匍華ちゃん曷転校生の子になにかしたの？ 盍

と甚さっそく鈴から疑いの眼差まなざしが向けられる 曷

匍鈴甚私はなにもしてないから甚誤解しないように 曷あなたも甚急に
やってくる夫しゅやよい 曷私がビロクラスこいように 関係ないでしよ

う 盃

匍そ甚それはそうですが…… 曷でも甚朔様のことを考えると…… 盃

匍一ノ宮の問題は一ノ宮のものだって甚朔に警告されてなかった？ 盃
匍うつ…… 盃

華のさほど厳しくない返しに動揺する桔梗が目に涙を溜め始めると甚鈴から非難の目が投げつけられる曷

匍華ちゃん甚虐めたら可哀想だよ 盃

匍断じて虐めてないから！ 彼女はいつもこんな感じよ 盃

いつもというほど桔梗を知っているわけではないが甚以前に会った時は終始自信がなさそうにしていた曷

これはもう性格だろう 曷

匍なんにせよ甚私が落ちこぼれだってあなたは知ってたんじゃない

の？ そんな私が気に食わなくてこの間も会いに来たんでしょ？ 盃
匍それはそうなんですが甚まさかCクラスにいるほどの落ちこぼれだ
なんて思っていなかったんです曷気合いを入れてAクラスの教室に向
かったらあなたの姿はなくて甚あなたはCクラスだって望さんからお
聞きした時の私の衝撃が分かりますか？ 盃

匍知らんがな盃

匍はう盃

華がばつさりと切り捨てると甚桔梗は肩を落としている曷

目薬でも差しているのかとツツコみたくなるほどウルウルと目を潤
ませる桔梗を見ながら甚なにかに似ているなと華はどうでもいいこと
を思った曷

すると甚それまで静観していた桐矢が桔梗の肩を叩いた曷

甬行こう 盍

言葉少なに告げると甚桐矢は教室の入り口を指差す曷

そこには授業を始めたいのに中に入れずに困った様子の教師がいた曷

いたなら注意しろよと思つたのは甚きつと華だけではないだろうつ曷
なにを空気になっているのか曷

そこは教師としてビシツと□ってほしいが甚二条院の当主候補とい
う二人を注意して機嫌を損ねたくないという教師の損得勘定が働いた
ような気がする曷

黒曜学校は私立で甚運営は五家によって行われているから甚二条院
本家の二人の相手は雇われ教師には荷が重かつたのかもしれない曷
恐らく止めに來ただろう葉月も甚どうしていいか分からずに困惑し

てゐるがナで甚よしいつこり二条院のつちう曷

ているために甚なんのためには来たのやら是

華が久しぶりに近くににいる葉月を見ていると甚葉月も華を見る曷

互いの視線が交差したが甚すぐに葉月の方から逸^そらされた曷

それは華の存在を否定しているかのように感じられて甚なんとも言えない気持ち^ちが渦巻く曷

先日^{さき}の力の暴走のことを詳しく聞きたかったが甚この様子では話してくれそうにはなかった曷

同じ双子なのに甚仲良さそうにしている桔梗と桐矢とはずいぶんな違いだ曷

だが甚そうなってしまった原因は華自身の行動にもある曷

葉月よりも自分の平穩を選んでしまったのだから曷

そんな自分が今さらなにを葉月に言えるのか曷

匍二条院さん甚二条院君甚教室に戻りましょう盍

匍はい甚すみません曷つい勢いで飛びだしてしまいました…… 盍

方々に迷惑をかけた自覚があるのか甚葉月に促されて申し訳なさそうにする桔梗と甚無表情のままの桐矢は帰っていった曷

そしてようやく授業が始まったのだが甚これで終わりそうにないと甚華は小さく溜息をついたのだった曷

三章

桔梗と桐矢が転校してきて甚華の学校生活には少しの変化があった
た曷

匍華ちゃん甚また来てるよ盃

匍え～盃

ややげんなりとした表情の華が教室の出入り口に視線を向けると甚
無言でじつとこちらを凝視してくる人物がいた曷

桔梗である曷

華がCクラスにしていると知ってからというもの甚休み時間のたびに
やって来ては甚華になにかを言ってくるわけでもなく甚ただひたすら
見てくるのだと曷

最初こそAクラスの上に二条院直系の桔梗は注目の的だったが甚数日もすればCクラスの生徒も慣れてきて甚今ではまた来たかとばかりに空気扱いとなっている曷

桔梗のすぐ隣では桐矢が興味なさそうにスマホを触っていた曷

一緒に来るなら連れて帰ってくればいいものを甚桐矢はどんな心情で桔梗の謎の行動に付き合っているのだろうか曷

華を観察するよりも甚Aクラスの生徒と交流した方が建設的だと思うのだが曷

それでも桔梗は華に固執している曷

それだけ朔を好きなのだろう曷

朔にはその様子は見られなかったので甚完全な桔梗の一方通行なのがなんとも悲しい曷

大きな目をウルウルさせて恨めしげに見てくる桔梗はなにかに似ているなと思ったが甚あれだ甚鈴の連れているリスの式神に似ているのだ曷

式神を使った実技の時に甚戦いたくないとつぶらな瞳で懇願するも甚願いが聞き入れられずに恨めしげな眼差しを鈴に向ける時の姿にそっくりだ曷

喉に刺さった小骨が取れたよううで華はスツキリする曷
そうこうしていると甚授業の始まりを告げるチャイムが鳴り甚桐矢が動く曷

匍桔梗甚行くよ盍

匍はい……盍

大人しく頷くうなず桔梗は甚名残惜しそうに華を一瞥してから自分のクラ

又に歸つていった曷

匍ほんとに甚なにしに来てんだか盃

言いたいことがあるなら言えばいいのに曷

いや甚言いたくても言えないのか曷

華に絡むなら二条院の当主に報告すると朔が警告をしたので甚下手に文句も言えないのだろう曷

それだけ当主のおじい様というのは恐ろしいのか曷

会ったことはないので華の想像でしかないが甚美桜のように厳しい人を思い浮かべてしまう曷

鈴の情報によると七十歳を越えた高齢の男性のようだ曷

朔の妻でありながら甚鈴よりも五家の情報に疎いのはやはり問題かもしれない曷

このままだと美桜の特別授業は確定かと甚華は血の気が引く思い

だ曷

匍くう 甚今は他のことに気を取られてる暇はないってのに曷あんなに
毎時間ごとに見られたら集中しようにもできない 盍

匍そうじゃなくても甚華ちゃんに平均点以上は無理だよ 曷諦めて遊
んじやおうよ 盍

ほんわかした笑顔でなんという悪魔の囁きささやをするのか 曷

匍鈴～曷私を誘惑するのはやめてよ 曷ほんとに点取らないとまずいん
だつて 盍

匍無理無理～曷華ちゃんだもん 曷九割九分九厘甚赤点取るに決まつて
るよ 盍

匍否定できないのがつらい…… 盍

頭を包える華ごが甚可能生が氏ーからヒーって辺蚩をやりるつすこ

豆を折る。甚が甚に能く折れたら、と、引るやめる。おに
はいかない曷

匍大丈夫曷私はやればできる子！ …… なはず盃

最後につけ加えられた言葉が甚華の自信のなさを表していた曷

そんな後がない華の勉強を邪魔するように甚昼休みに問題が発生す
る曷

華は甚食堂でうどんをすすりながら教科書を読むという行儀の悪さ
を披露していた曷

うどんのつゆが教科書に飛ぶのに気をつけている向かいでは甚鈴が
不機嫌そうにしている曷

匍もう甚華ちゃんたら甚食事中ぐらい勉強はやめたらいいのに盃

匍だって甚時間が惜しいんだもん曷試験はもう目前に迫ってるし盃

匍そうだけどお盃

鈴は華とおしゃべりができずに不満そうだ曷

匍その代わり甚試験が終わったらどこか遊びに行こう盃

匍わっ甚本当！ 華ちゃんとお出かけするの久しぶりだから嬉しい曷
最近付き合い悪いんだもん盃

匍ごめんね曷朔から今は自重するように言われてるのよ盃

匍ご当主様の命令なら仕方ないね盃

朔の名を出せば甚当主の命令は絶対と幼い頃より叩きこまれている
たた

術者の家出身の鈴は納得した曷

匍その頃には解決してるといいんだけどねえ……盃

未だ朔からは呪具を取り返したとか甚いい報告は聞けていない曷
いま
じゅぐ

まだまだ忙しくしているので甚もうしばらくかかりそうだ曷

まったく面倒な事件を起こしてくれたなと甚自由に寄り道もできない華はストレスが溜^たまってきて甚彼岸の髑^{どくろ}體なる奴らへの恨みが湧いてくる曷

匍ごちそうさまでした盃

うどんを食べきって手を合わせた華は甚食器を片付けようと席を立つ曷

匍あつ甚待つてよ甚華ちゃん盃

匍鈴はゆっくり食べてていいよ曷私は先に教室に帰って勉強してるから盃

匍むつ曷華ちゃんとおしゃべりしたいのに盃

むくれる鈴に申し訳なくなりながら華は苦笑する曷

匍いつそ鈴も一緒に勉強する？盃

匍ええ～盃

ものすごく嫌そうな顔をする鈴に甚華もツツコむ曷

匍いやいや甚鈴の進路の希望は術者協会なんでしょう？ 協会では学

校での成績も考慮されるって話じゃない盍

これは甚卒業生の半数以上が術者協会に登録することから甚一年生の時より教師に口うるさく言われることだ曷

匍それはそれ甚これはこれなんだよ盍

鈴は逃げるようにそっと視線をそらした曷

どうやら分かっていても勉強は嫌なようだ曷

匍それに私は後方支援希望だから大丈夫！ 勉強できなくてもなんとかなるよ盍

どこから来るのか甚鈴は自信満々で言い切った曷

すると……曷

術者の世界はそんな生易しいものじゃありません 盃

鈴を窘める^{たしな}ような言葉を発したのは甚いつもは一定距離おいたところから見ていただけの桔梗だった 曷いつの間にか側に來ていたのに気付かなかった 曷

彼女の横には当たり前のように桐矢がいて甚なにを考えているか分からない 黒い瞳でこちらを甚というか鈴を見ている 曷

術協会の術者は後方支援の者を含め甚皆が命懸けでこの国を守っています 曷それを愚弄^{ぐろう}するような考えは承服いたしかねます 盃

普段の自信のなさはどこへやら甚その表情から桔梗が怒っているように感じられた 曷

鈴の術者を軽く見た発言が甚桔梗の逆鱗^{げきりん}に触れてしまったのか 曷

術あなたも術者の家に生まれた者でしょう？ それなのに甚後方支援

だからと軽んじる言葉を吐くなんて甚術者を取りまとめる五家の者として甚私は許せません盍

桔梗に□られた鈴は身を小さくさせて謝る曷

匍そんなつもりじゃ……曷私が軽率でした曷申し訳ございません盍

しゅんとしてしまった鈴の謝罪に甚桔梗はすぐに反応した曷

匍分かっていただければいいんです曷こちらこそ突然口を挟んで失礼しました盍

鈴に向かって深く頭を下げると甚鈴も慌てて椅子から立ち上がり桔梗と同じ行動をとった曷

匍あわわ甚私こそ甚ごめんなさい！盍

お互いに頭を下げ合う二人に甚なにをしているのかと華は他人事ひとごとだったが甚頭を上げた桔梗が華を見据えたことで状況が変わった曷

匍華さん曷やっぱりあなたを認められそうにありません曷（クラスの人間が朔様の奥さんだなんて納得できない盃

匍いや甚別に認められなくてもいいんだけど盃

柱石の結界のために朔が華を必要とした曷それを華が分かっていればそれでいい曷

桔梗になんと言われようと甚一ノ宮の屋敷の人間は華を認めているのだ曷

まあ甚望という例外はあるが甚彼はただのツンデレなので問題はな
い曷

匍朔様がどうしてあなたを選んだのか私は知りたい盃

匍どうしようっていうの？盃

「いつもオドオドして」こ美子のよう「甚（しん）ぶり虫（むし）を惑（まど）さする没（き）然（ぜん）として」

いた。その瞬間、ふたりの間に火花が散った。甚が、引く手を止めて、突然と
した桔梗の態度に甚華も警戒心を見せる曷

今日の桔梗はいつもとは違うようだ曷

匍あなたに式神での対決を望みます！ 盃

ビシツと人差し指を突きつけて甚生徒が集まる食堂の真ん中で宣言
した曷

周囲の生徒はなりゆきを見守ろうと雑談をやめてこちらを窺^{うかが}ってい
たので甚静かな食堂に桔梗の声はよく通った曷

直後に訪れるざわめき曷

匍いや甚式神対決って甚どっちが勝つか目に見えてるじゃん 盃

匍だよなあ曷一瀬の落ちこぼれだぜ？ 盃

匍式神は虫だったよね？ 盃

匍葉月さんなら分かるけど甚勝負が見えすぎて逆に可哀想かも 盃

などとそこら中で言いたい放題だ曷

誰もが華を落ちこぼれと信じている曷

まあ甚そうなるように華が力を隠していたのだから仕方ないが甚朔には簡単に見破られてしまった曷

漆黒を持つ実力は伊達^{だて}ではないということだろう曷

逆を言えば甚華の実力に気付く力量を持った者は甚この学校には教師を加えてもいないということだ曷

それには甚二条院の当主候補という桔梗と桐矢も含まれている曷

匍やだ盍

匍拒否権はありません曷絶対に戦っていただきます曷桐矢と盍

匍……………盍

お前じゃないんか 盍 曷 というツツコミを心の中でしたのは華だけ

ではなかったはずだ曷

匍自分で言い出しておいて双子の片割れにさせるの？ 盍

匍だって甚私は虫が苦手なんです曷考えただけで鳥肌が立ちます盍

顔を険しくさせながら腕を擦る桔梗は基本当に虫が苦手らしい曷

だが甚あずはを可愛がっている華はムツとした表情をする曷

匍あずはは蝶ちようかもしれないけど甚すつごく綺麗きれいな子なんだから！

ちゃんと見てよ甚この虹色にじいろに輝く羽を盍

指に移動させたあずはを桔梗に近付けると甚悲鳴を上げられた曷

匍きゃあ！ こっちに近付けないでください！ 盍

匍なんて失礼な盍

我が子を貶けなされたようで憤慨する華の前に桐矢が立った曷

匍よろしくお願いします盍

と言って桐矢が深くお辞儀をして手を差し出してきたので甚華は反射的にその手を取ってしまう曷

匍はあ甚こちらこそ？ 盍

その瞬間甚桔梗は目を輝かせた曷

匍今甚桐矢に答えましたね！ なら対戦を受けたってことですよね！ 盍

匍えっ甚いや甚そういつつもりじゃないから盍

匍駄目です曷もう逃がしはしませんよ盍

桐矢は表情筋がほとんど動かないくせに甚やけに礼儀正しいので甚華も思わず反応してしまった曷

そのせいで桔梗はやる気をみなぎらせている曷

コロコロと変わる表情の豊かさが甚どうして双子の桐矢にはないのかはなまだ疑問である曷

本当に双子なのかと疑ってしまつほど性格の違つ双子である曷

まあ甚華も他人のことは言えないのだが曷

華と葉月曷顔立ちは似ているが甚自他共に認めるほど性格はかなり違つているのだから曷

匍今すぐ校庭に向かいましたよう盍

匍冗談じゃない曷私はやらないわよ盍

匍いいえ甚絶対に戦ってもらいますから曷あなたが嫌がついても校長に頼みます曷ほんのちよつと脅したら許可してくれるはずです盍
匍可愛い顔してえげつないわよ盍

匍手段なんて選んでられないんですㇿ！盍

半泣きで反論してくる桔梗にお手上げ状態の華曷

助けを求めて周囲を見回すも甚二条院を相手に助けに入ってくれる勇者がいるはずもなく途方に暮れていると甚視界に望の姿を発見した曷

匍あらあ曷そこにいるのは望君じゃないの～盃

嫌な者に目をつけられたと言わんばかりのしかめっ面でいる望曷

華は迷惑そうな眼差しまなざしをもともせず甚望に走り寄り肩に手を置いた曷

匍か弱いお義姉様ねえが大変な状況なんだから甚当然助けてくれるわよね？盃

匍知るか曷勝手にしろ曷俺は関係ない盃

肩に置かれた華の手を素っ気なく振り払うと甚背を向けて食堂を出ていこうとする曷

離れていく望に焦るでもなく甚逆になんとも凶悪な笑みを浮かべながら甚華はポケットから白い瑪瑙めのうの勾玉まがたまを取り出した曷

匍え～甚残念だなあ曷手伝ってくれたら甚お礼に朔とおそろいの勾玉をあげようかと思ったんだけど……曷この勾玉甚兄弟仲を深めてくれる白瑪瑙が使われてるんだってえ曷ほんとに残念～盍

なんともわざとらしい華の言葉曷

しかし甚遠ざかっていた望は猛烈な勢いで戻ってきた曷

華はニヤリと笑う曷

匍本当か？盍

匍え～曷なにが？盍

望の言いたいことを分かっているすつとぼける華に甚望は鬼気迫る表情で詰め寄る曷

匍そっぴが己貴とぶそろーいごつてニートビョー！盍

育ちが良しとあるは、いかにしてか、

荒らげているが甚その声は囁く^{ささや}ようになんとも小さい曷

周囲にブラコンと知られたくないのだろう曷そんなところも含めて

愉快だ曷

匍本当よ曷朔のペンダントと一緒につけてるの甚見なかった？ 盍

匍あれか！ 盍

覚えがあるようで甚望ははつとしたような顔をする曷

匍そうそう甚その勾玉とおそろいのやつ曷兄弟仲を深めてくれる白瑪

瑙甚二人で持てば効果倍増間違いなし 盍

華は強調するように望に囁いた曷

匍兄弟の仲を深める…… 盍

やはりそこに強く食いついたブラコンは甚華の持つ白い勾玉から目

が離さないのである曷

が離れたいという希望

右に左に移動させてもついてくる望の視線曷

ぴたりと勾玉を持つ手を止め甚望の目の高さに掲げる曷

匍欲しい？ 盍

匍なにが望みだ 盍

もはや華に対してブラコンを隠すつもりがない望に甚笑いをこらえるので必死だ 曷

匍大事なお義姉様を助けるために甚代わりに戦ってくれるでしょう？ 盍

た 曷

望は桐矢をちらりと見てから再び華に視線を戻すと甚口角を上げた 曷

匍ハハどろう 盍

望は桐矢の前に立ち甚指を突きつけた曷

匍この俺が相手になってやる！ 盃

高らかに宣言した望を甚華ははやし立てる曷

匍よつ甚さすが姉想いの優しい弟！ 盃

これに慌てだしたのは言い出しっぺの桔梗である曷

匍ちよつと甚待つてください！ それでは話が違います 盃

匍なにを言ってる曷そっちが代理を立てるなら甚こちらだって代理を

立てても文句は言えないはずだ 盃

匍うつ甚それは…… 盃

望に反論されて桔梗は言い返せないでいる曷

匍そもそも一ノ宮の嫁に売られた喧嘩けんかだ曷当主の弟である俺が買って

やる 盃

匄え甚えつと甚どうしよう甚柁矢あ盍

自分の想定外の方角へ進んでいってしまい甚桔梗は泣きそうな顔で
桐矢の腕にすがりつく曷

桐矢は労る^{いたわ}ように桔梗の頭に触れる曷

匄桔梗が言い出したことだから仕方ない盍

匄そんなあ甚桐矢までえ盍

匄それにもう止めるのは無理かも盍

そう言つて桐矢が周囲に視線を向けると甚外野がいやに盛り上がつ
ていた曷

匄すぐ曷一ノ宮と二条院の直系同士の対戦だつてよ！盍

匄今からやるのかな？ 次の授業どうしよう盍

「……」

甬そんなのサボるに決まってるじゃん！　こんなの逃したら一生見られないかもしれないもんぞ

甬やべえ甚興奮してきた！　ぞ

甬お前が興奮してどうすんだよ甚馬鹿ぞでも気持ちは分かるぞ早く飯食っちまおうぜぞ

甬おう！　いい場所が取られちまうぞ

それまで静かだったのが嘘のように甚周囲が盛んに動き出したぞ

ある者は昼ご飯をかき込み甚ある者はこの状況をここにはいない生徒に知らせるべくスマホを操作し甚ある者はいい場所を確保すべく校庭に走ったぞ

華達の予想を遥かに超えて大事になりつつあったぞ

今さらなしにしようとは甚桔梗じゃなくても言い出せない雰囲気

た長

匍もうやるしかなさそう盃

匍あうう甚華さんが戦わなきや意味ないのに～盃

嘆く桔梗とは反対に甚注目が自分ではなく望と桐矢の対決に動いて
くれて助かったと華は胸をなで下ろした曷

匍おい甚お前の代わりに戦ってやるんだから報酬を忘れるなよ盃
匍分かってますがな曷勝った暁には……ふへへ盃

ニヤツと悪代官のような顔で華は意味深に笑った曷

その笑みを気味悪がるところか満足そうにして甚望は桐矢へと向き
直った曷

匍面倒なことはとつとと終わらせるに限る曷校庭に出る盃

こくじと頷くと甚柝矢に望の後に縋き甚さらにその後ろをかくくじと肩を落とした桔梗と甚矛先を別に向けられてご機嫌な華がついて行く曷

そして場所は校庭に曷

もともと授業で式神を対決させる実技があり甚校庭にはそのためのコダトがあつた曷

白い枠で印がされただけのコダトを囲むように生徒達が並び甚人数が多すぎて見られない者は甚コダトを眺められる校舎の二階以上の窓に集まっていた曷

授業はどうするんだと文句を言う者はいない曷

なにせ期待に胸躍らせる観衆の中には甚教師どころか校長の姿まであるのだから曷

なにやら学校をあげての一大イベントと化してしまい甚もう誰にも止められそうになかった曷

しかも一番いい場所を新聞部のカメラマンと記者が占領してしまったので甚明日の校内新聞は今日の勝負の内容が一面を飾ることだ

頭を抱える桔梗は甚自分で言い出しておきながら甚ここまで大事になるとは思っていなかったようだ曷

これだけの騒ぎになれば確実に朔の耳にも情報が入るのは避けられない曷

刃力に警告されて、いる。相棒として、は、肩力痛い思いをしているにす
だ、曷

自業自得ではあるが、甚胃薬ぐらいは差し入れてあげてもいいかも
しれない、曷

重あるじ様はどっちが勝つと思う？、紂

喧騒けんそうの中ではあずはの話、声もまぎれてしまい、甚華にしか聞こえて
いない、曷

甫、そうね、甚朔が相手だったら間違いない、朔と言っていると、こ、ただ、甚望
だ、し、な、あ、盃

以前に華と行った対決で、甚あずはに傷一つ与えることなく簡単に負
けてしまった望である、曷

華の中で望の評価は決して高くない、曷

ノハミ、ハ、ヲ、ラ、ク、ノ、ノ、パ、は、キ、ヨ、ニ、聞、く、ノ、ミ、ミ、又、ミ、人、ミ、ミ、よ、う、ミ、よ、う

したもムクニンのトツには葉戸と匿くので甚少点以下となるとたま
さらだ曷

対して甚鈴の情報によると次期当主候補に名が挙がっている桐矢
だ曷

どれほどの実力を備えているか分からないが甚内包している力だけ
で判断すると甚望と互角のようにも思える曷

当主候補というわりに力はそんなに強くないのが気になった曷
それとも華のように隠している力でもあるのだろうか曷

匍桐矢って方が謎すぎて分かんないな盍

コダト上で向かい合うように対峙する二人だが甚兄とおそろいの勾まが
玉のために気合いに満ち溢れた望と違い甚桐矢はやる気があるのかな
いのか分からない曷

ぼとつと空を流れる雲を見つめていた曷

「匍う ㇿん 甚ほん とに どういう 人間 か さっぱり 分からん 曷不思議 ちゃん か？ 盍

分かりやすいほどに考えていることが表情に出る桔梗とは正反対だ曷

桐矢という人間はどういう性格なのか見当もつかないので甚どんな戦い方をするのもかも想像できない曷

華が悩んだところで甚戦うのは望なのだから甚関係ないと言ったら関係ないのだが甚少し気になった曷

そうこうしているうちに、甚両者の準備が整った様子だ。曷

審判を務めるのは甚試合と聞いて誰よりも興奮した脳筋の体育教師だ曷

服の上からも分かる盛り上がった筋肉がチャームポイントらしい長
どうでもいい情報だが甚あれでいて三色の紅色を持った甚術者協会
から派遣されている経験豊富な術者である曷

脳筋ゆえに甚試合でも公平なジャッジをしてくれるはずだ曷

匍それではよいか？ 両者式神を呼びだせ盍

匍紅蓮ぐれん甚来い盍

望が呼べば甚望の式神である鷹たかが現れ甚空中を旋回した曷

匍雲雀ひばり盍

桐矢が名前らしきものを呟つぶやくと甚美しい姿態の黒い豹ひょうが現れ甘える
ように桐矢の手にすり寄った曷

豹を撫なでると甚かすかに桐矢の口角が緩むのが分かる曷

匍へえ甚桐矢の式神は豹なのか盍

感じる靈力は確かに強い曷

が甚最高の術者を知っている華はどうしても朔と比べてしまう曷
やはり彼が当主候補とはとても思えず甚華は首をかしげるのだっ
た曷

それは双子の片割れである桔梗も同じ曷

Aクラスの中では確かに強い曷そこはやはり五家の人間なのだろう
と思うが甚朔ですら苦労していた柱石を護^{まも}れるのかと疑問が残る曷

まあ甚二条院の後継者問題は華には関係のないことなのだが曷

甫始め！ 盍

他のことを考えてば々としている間に開始の合図がされて甚華は
我に返る曷

開始されるや早速望が仕掛けた曷

甬紅蓮！ 盍

空を旋回していた紅蓮がものすごい速さで急降下して豹に襲いかかる曷

しかし甚それを見越していたかのように甚豹がジャンプしてかわすと甚しなやかな体軀^{たいく}をひねり鋭い爪で紅蓮を傷付けようとするが甚紅蓮の口から力の塊が放出されてその爪を押し返した曷

攻撃は相殺されて甚紅蓮は自分にとって有利な領域である空に逃れる曷

そして甚空から地上に向けて力の塊を幾度も発射する曷

それを軽い足取りで避けていく豹は甚紅蓮が低空を飛んだ隙を見逃さず牙^{きば}を剥^むく曷

それをくるりと回転してかわし甚紅蓮は逆に爪を豹の身に食い込ませることに成功した曷

匍ぎゃん！ 盍

豹は痛そうにしながら受け身を取れずに地面へと落ちるが甚すぐに
体勢を立て直す 曷

追撃をするつもりだった紅蓮はそれを見てすぐに上空へと方向を変
えた 曷

戦いの応酬を見ていた観客は大盛り上がり 曷

匍うおおおお！ 盍

匍やっぱすげ 盍

匍さすが五家の人間だぜ 曷俺達とは全然格が違う 盍

匍ほんと甚なにあの式神の動き 曷かつこいい～ 盍

周囲からは尊敬の眼差まなざしが向けられている 曷

教師達も感心した様子で甚拍手している者すらいる 曷

そんな中でよりよい写真を撮ろうと甚新聞部のカメラマンがパパラッチのごとくシャッターボタンを押していた曷

匍いい写真を撮るんだぞ！ 盍

匍任せろおお 盍

誰よりも気合いが入っているかもしれない曷

華は邪魔をしないように隅に寄ることにした曷

すると甚同じように試合から距離を取って華に近付いてくる桔梗の姿があつた曷

匍片割れの試合見てなくていいの？ 盍

なにやらふくれっ面の桔梗は小さく声を発する曷

匍……卑怯ひきようです 盍

匍なにが？ 盍

匍他人を巻き込んで逃げたことです！　私はあなたの力が知りたかったのに盃

思うようにことが運ばず不満なのか甚悔しそうに唇を引き結ぶ曷

そんな桔梗に華は呆れた表情を浮かべる曷

匍いや甚勝手に私を巻き込んだのはあなたでしょう曷どの口が言うか盃

鋭い華のツツコミに桔梗の瞳がウルウルし始める曷

匍ですけど甚普通は認めさせようと行動しませんか？　あなたには朔様のために頑張ろうという気概が見えないんです曷だから無理やりにも引つ張り出したらやる気になってくれると思ったのに甚なんだか私にも分らない状況になっちゃって曷なんで望さんと戦うことになってるんですか！盃

桔梗の言いたいことは分かったが甚最後のは八つ当たりというものだ曷

匍そもそも甚なんで認めさせる必要があるの盍

匍えっ甚だつてそうじゃないと……盍

匍そうじゃないと困るのはあなたでしょう？ 私が落ちこぼれたと甚

いつまでも朔を諦めきれないから曷でもそんなのは私がどうこうじゃなくて甚あなた自身の問題じゃないの？ 盍

言葉を失う桔梗は迷子の子供のように視線をさまよわせる曷

匍好きなら朔に告白しちゃえばいいじゃない曷そうして朔の言葉で気持ち悪い聞いた方があなたのためになると思うけどな？ 盍

こんな風に華を戦わせようとするみたいに甚斜め上の方向に動くよりずっといいと思うのだ曷

というか甚華がこれ以上絡まletakない曷

毎度毎度甚対決だなんて言われても困るのである曷

匍こ！ こここここ盍

鶏にわとりかというツツコミはしないでおく曷

可哀想なほどに顔を真っ赤にして激しく動揺する桔梗は甚両手で顔を覆う曷

匍私に三十億の小切手を渡す行動力があるなら甚朔に向けた方が建設的じゃない？ 盍

匍無理です甚無理です！ 盍

ぶんぶんと首がもげそうなほど甚桔梗は頭を横に振る曷

匍でも甚あなたは本当に私が朔と別れたら満足するの？ 葉月が次の

奥さんになったら納得できる？ 私はそうは思わないけど曷なんだかんだ言つて甚別の欠点を探すんじゃないの？ 自分なら朔のためにこつするのにつて盍

匍それは……盍

匍まあ甚朔の奥さんやつてゐる私にこんなこと言われたくないだろうけどさ盍

そう言つて華は肩をすくめる曷

匍でも甚私を攻撃したつてあなたの気持ちは晴れないんじゃないの？盍

思ひのうちを向ける方向を間違つてやしないかと暗に告げる曷

匍………盍

桔梗は顔をうつむかせ甚黙り込んでしまった曷

その直後に訪れる大きな歓声曷

匍すごいすごい！　一ノ宮が勝ったぞ！　盍

匍一ノ宮君すごい！　盍

匍いやいや甚二条院もすごかっただろ　盍

どうやらこっちで話し込んでいる間に勝敗が決したらしい曷

しかも望が勝ったというのだから驚きだ曷

これは褒めてやらねばならない曷きつと甚いらないと拒否されるだ
ろうが曷

華は静かになった桔梗を置いて甚望の所へ向かった曷

なんだか知らないうちに壮絶な戦いが行われたのか甚コトの地面
は抉^{えぐ}れていたりひび割れたりしている曷

匍うゝん甚見とけばよかったかも　盍

五家同士の戦いなどそうそう見られるものではないのだ曷クラスの

違う華ならばなおのこと曷

戦いが終わって観衆が解散し始める中甚地面にしゃがみ込んでいる望がいる曷

相当力を使っただのか甚ややぐったりとしていた曷

匍大丈夫？ 盍

匍人を戦わせてお前はどこに行ってたんだっ 盍

望にいつもの勢いがない曷なんとも珍しいことだ曷

匍ごめんごめん曷カメラマンがせっかく撮ってくれてるのに甚私が入ったら邪魔かと思つて 盍

匍そんなもんほっとけばいい曷どこからともなくやって来るハイエナのようなやつらだからな 盍

新聞部への評価が厳しい曷これは過去になにかあったのかもしれない曷

匍それにしてもよく勝てたね曷相手は二条院の次期当主候補って話なのに盃

匍二条院だから俺でもギリギリ勝てたんだ盃

匍ん？盃

五家のことはさっぱり分からない華が首をかしげると甚望は呆れた顔をする曷

匍お前は一ノ宮の嫁だろうが！　なんでこの説明で分からない盃
匍仕方ないじゃない甚今勉強中なの曷ってことで甚なんで？盃

望は呆れを通り越した表情で溜息^{ためいき}を吐き甚簡潔に説明を始めた曷

匍二条院が得意とするのは呪具じゆぐの製作だ。曷力の強さはもちろん必要だが、甚当主として最も必要とされる能力じゃない盃。

匍つまり甚あの双子は力じゃなくて呪具の製作能力が高くて、当主候補になっっているってことなの？ 盃。

匍多分な曷現に兄貴は気付いたお前の隠している力に甚あいつらは気付いていない。曷他の五家の当主候補だったらまた違った反応をするはずだ盃。

どことなく望が悔しそうに見えるのは甚望は華の実力を測ることができなかったからだろう盃。

未だいまに負けたことを気にしているのだろうかと思っっている華に甚望の手が差し出された曷。

それを反射的に握り返す華。曷勝利の握手だろうか盃。

匍ん盃

匍違う！盃

べしっと払いのけられてムツとする華に甚再び望は手を差し出した曷

匍例のやつ盃

匍例の？盃

はて甚なんだったろうかと華の頭に疑問符が浮かぶ曷

その反応に青筋を浮かべた望は声を荒らげた曷

匍勾玉だ！盃
まがたま

匍ああ！　そうだった甚そうだった盃

すっかり忘れていた華は甚成功報酬である勾玉を望の手に載せた曷
それを大事そうに両手で持つ望の表情はとても幸せそうだ曷

匍そんなにお兄ちゃんが好きなくせに甚どうして憎まれ口叩くたたの？盃

匍そ甚そんなんじゃない！ 盍

匍なにを今さら隠そうとしてるんだか曷そんな顔してたらバレバレで
しょうが曷朔に素直に接してあげたら喜ぶだろうに 盍

匍……俺なんかにかかれたって兄貴は面倒がるだけだ 盍

匍なにを根拠に？ 盍

匍だって甚俺は兄貴のお荷物だから…… 盍

望からぽつりと零こぼれた言葉は甚自分を責めているように聞こえた曷
匍一ノ宮の直系のくせに甚劣った俺なんかが弟で兄貴は恥ずかしいに
決まっている曷ライバルにさえなれない欠陥品なんだ 盍

暗く落ち込んだ表情を浮かべる望は顔をうつむかせる 曷

その表情に甚昔の自分を重ね合わせてしまい甚嫌な記憶が華を襲

う 曷

家の落ちこぼれ曷

姉に劣った妹曷

一族の恥ずかしいお荷物曷

それらは一度は誰かに言われた覚えのある言葉だ曷

華は甚背後から襲い来るなにかを振り払うように深呼吸して自分を
落ちて着かせると甚望の脳天目がけてチョップした曷

見事にクリティカルヒットした攻撃により甚望は頭を押さえて痛み
に苦しむ曷

匍つつ甚お前甚なにすんだ!？ 盍

突然の攻撃に激怒する望の胸倉を搦^{つか}むと甚今度は頭突きをおみまい
した曷

しかし甚これは華もダメ^タジを受けてしまい甚仲良く頭を押さえて

痛みに悶^もえる曷

匍ぐう～盍

匍なにがしたいんだ！盍

匍お子ちゃまが馬鹿なこと言い出したから甚^{しつ}賤^{せん}けてあげてん^んのよ盍

匍誰がお子ちゃまだ！盍

匍その考え方がお子ちゃまだって言ってるの！盍

華は痛みで涙目になりながら望を睨^{にら}みつける曷

匍なにを勘違いしてるか分からないけど甚^{しつ}朔^{しつ}はそんな狭小な男じやないわよ盍

そう怒鳴るように告げれば甚望は返す言葉をなくして黙った曷

匍朔が言ったの？ あなたをお荷物だって甚劣^{しつ}ってるって！盍

匍兄貴はそんなこと言わねえよ！盍

匍そうよ甚その通りよ！ ちゃんと分かってんじやないのよ盍

望は華の言わんとしていることが分からずに困惑した表情を浮かべる曷

匍朔は自信家で傲岸不遜ごうがんふそんで俺様だけど甚誰かを傷付けるようなことを言う男じゃないわ曷朔より劣ってる？ ライバルにもならない？ 当然でしょうが曷朔が自信満々なのは甚それに見合うだけの努力をしてきたからよ曷でも甚それ以上に責任感が強い曷その手には国の未来がかかっているんだからね盍

結界師として柱石を護まもる一ノ宮の当主曷

誰にも知られぬところで国を支えている曷

その両手にはいったいどれだけの重い責任がのしかかっているのだろつか曷

華には考えも及ばない曷

甫朔が気にしているのは一ノ宮当主としての責任と義務よ曷どっちが劣っているとか勝っているとか甚誰かと比較してない曷頭にあるのは護ることだけ曷あなたとは術者としての覚悟からして違つのよ盍

望は悔しそうに唇を嚙^かむ曷

甫朔だったら甚あなたみたいにうじうじする暇があったら術の精度を磨く努力をしてるでしょうね曷だって甚朔は柱石を護る一ノ宮の人間だから曷そして甚朔が護る者の中には甚弟であるあなたもいるはずよ盍

甫……くっ盍

甫朔が弟を恥ずかしいなんて思うわけがないじゃない曷あんなに情が

深い人甚なかないないわよ 盃

一見そうは見えない 曷

けれど甚見知らぬ誰かのために命を懸けられる人が甚薄情なはずないではないか 曷

くしゃりと髪を掴む望の顔は甚手で隠れて見えない 曷

しばらくの間甚沈黙がその場を支配する 曷

そして甚望が顔を上げた 曷

匍覚悟…… 曷そうか甚俺は兄貴と比べるだけで術者としての覚悟が足らなかったのか？ 盃

自嘲気味に笑う望は甚ゆっくりと立ち上がり校舎の方へ消えていった 曷

それを静かに見送った華は甚溜息を吐きながら立つと甚制服につい

た汚れを手で払う曷

匍やれやれ甚お子ちやまの世話は大変だわ盃

すると甚どこからともなくひらひらとあずはが飛んできて華の指にとまる曷

重大変だったね甚あるじ様紬

匍ほんとにね盃

重でも甚あるじ様が言えたことじゃないよね紬

匍あずは甚そこはツツコまないでよ曷私も自分の発言思い返して甚どの口が言ったんだって思ったんだから盃

落ちこぼれ甚姉の出^で廻らし甚残りカス曷

それをなにより気にしていたのは甚他でもない華自身だ曷

術者の覚悟なんぞ微塵^{みじん}もない華が術者の覚悟を語るのかと甚自分で

秘ずかしくなってくる曷

匍他の誰にも聞かれてないようでもよかった盃

周囲にはすでに誰もおらず甚華の黒歴史の一ページとなってしまう
た先ほどの話は甚望とあずは以外には知られずにすんだようでも甚心の

底から安堵あんどしたのだった曷

その日の夜甚いつもは帰りの遅い朔が珍しく早く帰ってきた曷

匍もしかして例のテロリストを捕まえたの？盃

匍いや甚まだだ盃

匍そうなんだ盃

匍残念そうだな曷俺がいないから寂しかったのか？盃

匍全然盃

華ががっかりした顔をするのは甚彼岸の髑髏どくろが捕まるか呪具じゆぐが見つ

かるかしない限り甚自由に遊びにも出かけられないからだ曷

しかし甚即座に否定したのはマズかった曷

その瞬間甚朔が引きつった笑みを浮かべる曷

匍ほう甚外で立派に働く旦那様を^{だんな}勞^{ねぎらい}うつつもりはないのか？ 盍

じりじりと距離を縮めてくる朔に甚華は段々と壁に追い詰められて
いく曷

匍ちよつと待った甚落ち着こう盍

匍俺は常に落ち着いている盍

とうとう壁と朔に挟まれてしまった華は逃げ場を失う曷

焦る華曷

匍お勤め帰りの旦那様をキスの一つでもして迎えるのが新妻の役目だ
ろう？ 盍

匍 そんな役目聞いたの初めてなんですけど！ 盎

匍 なら甚今日から一ノ宮家の家訓だ 盎

匍 知らないから甚そんな家訓！ 盎

匍 いいから甚とつとと旦那様のご帰宅を喜んでキスしろ 盎

壁ドン状態からどうやって逃げるか考えていると甚匍兄貴！ 盎と望
が大きな足音を立てながらやって来て甚朔の横に仁王立ちした 曷

匍 俺は甚俺は…… 盎

匍 望甚どうした？ 盎

匍 俺は兄貴が好きだ 殳!! 盎

突然の告白に朔も華も目を点にして固まる 曷

匍 だから甚俺は立派な術者になって兄貴の右腕になる！ 俺も兄貴と

同じ一ノ宮の人間だからっ！ 盎

そう言い捨てると甚恥ずかしそうに顔を赤くしながら逃げるように
去って行った曷

匍なんだ甚あいつ？ 盍

匍あゝ甚多分甚隠れブラコンから卒業して甚ただのブラコンになった
んだと思う盍

匍意味が分からん盍

匍でしょうね盍

いったい望にどんな心境の変化があつたのか分からないが甚隠れる
ことをやめたブラコンは晴れやかな顔をしていたので甚きつと問題は
ないと思う曷

話がそれたのを見逃さず甚華は壁ドン状態から逃れる曷

朔は不満そうな顔をしたが話題は別のものへ曷

匍それより甚二条院の双子と揉めたって？ 盍

匍あつ甚やっぱり朔にも情報届いた？ 盍

匍ああ甚どうして望が戦う流れになったんだか分からないが甚だいたいの状況は聞いた曷まったく甚桔梗にはあれだけ警告をしたのに無視しやがって曷仕方ないから二条院の当主に苦情を入れておくか 盍

そう言いつつも甚あまりしたくはなさそうな様子で甚朔の表情は晴れない 曷

匍その必要ないわよ曷今日コテンパンにしておいたから 盍

あれだけ言えば甚今後は桔梗も必要以上に絡んできたりはしないだろ 曷

匍おいおい甚頼むから逆にこっちが謝罪しなければならぬ状況にはするなよ？ 盍

甫まだ手は出してないから大丈夫曷安心して盍

華はぐつと親指を立てる曷

甫まだってなんだ甚ま甚だ甚って！ 安心できるか！盍

顔を引きつらせながら甚朔は激しく吠える曷

甫そもそも朔が悪いんでしょうが曷気付いてないわけないよね？ あ

の子の気持ち盍

甫まあ甚分かってているが甚向こうがなんの行動も起こさないのに甚こ

ちらから動けないだろ曷そのくせ別の方向に行動力が発揮されたよう

で甚俺も困ってるんだ盍

甫罪な男よねえ盍

甫まあ甚俺は最上級の男だからな曷華も存分に俺に惚^ほれてくれていいぞ盍

ふっと得意げに笑う朔の足をグリグリ踏みながら甚じとつとした眼^{まな}
差しを向ける曷^ぎ

甫とつと仕事してこい 盍

翌日甚各教室の黒板に大々的に張られた校内新聞曷

重一ノ宮と二条院の御曹司対決！ 紂

重勝利の女神は一ノ宮に味方した！ 紂

などという言葉が躍った曷

華のクラスの黒板にも新聞が張られており甚登校したばかりの生徒
が群がっている曷

覇華ちゃんも見た？ 盍

ほわほわとした笑みを浮かべながら甚鈴が来たばかりの華に寄ってくる曷

匍うん曷さつき新聞部が甚ご当主にお渡しくださいって持ってきた盃
ばばちゃんと望の写真が一面に載っている曷

学校内の部活ごときだというのに甚随分と本格的な仕上がりになっ
ていて甚華は感心する曷

朔に見せたら喜ぶだろう曷

その前に美桜に見せるべきかもしれない曷

たとえば子供だろうとあまり褒めるということをしなそうな美桜も甚
ここに書かれている息子の勇姿を読めばお褒めの言葉の一つぐらいは
出てくるはずだ曷

匍華ちゃん甚華ちゃん盃

新聞をじっくりと見てみると甚鈴が華の肩を叩くたた曷

匍なに？ 盍

匍また来てるよ？ 盍

匍うん？ 盍

教室の出入り口には甚これまで通りじつと華の様子を窺ううかが桔梗の姿があつた曷

しかし甚少し様子が違つ曷

確かにじつと見られているが甚以前のこころもとような恨めしげな眼差しと違い甚捨てられた子犬のような心許ない目をしていた曷

昨日の華の言葉が桔梗に刺さつたのかもしれない曷

本当のところはどうなのか甚華には分からないけれど曷

桔梗はじつと見ていたかと思うと甚少しして華の教室から離れて

いった曷

いつもはチャイムが鳴るまでテコでも動かなかつたのにだ曷

ようやく諦めるあきら気になったかと安堵した華だったが甚その日の昼休
み甚食堂で鈴と昼食を取っていると甚静かに華の隣に桔梗が座つたの
で甚華と鈴は目を丸くして箸はしを持つ手が止まつた曷

桔梗の向かいには桐矢が座る曷

華は桔梗を訝いぶかしげな目つきで見た曷

匍……なにか？ 盍

匍なにかとは？ 盍

匍いや甚なんで隣座るの？ 盍

匍別にどこに座ろうと私の勝手です 盍

言葉だけだとツンとした言い方にも聞こえるが甚桔梗の様子はどこかオドオドしていた曷

まるで華の様子を窺うような視線をチラチラと横から感じる曷

無視できなくもないが甚なにか言いたそうな様子に華が先に折れた曷

匍言いたいことがあるなら早く言って盎

びくつと体を跳びあがらせた桔梗は甚才口才口と視線を彷徨さまよわせる
と甚意を決したように口を開いた曷

匍ご甚ごめんなさい……盎

予想外の謝罪に華も驚く曷

匍急にどうしたの？盎

匍あなたを無理やり戦わせようとしたことです曷あなたの言う通り甚
私は明美に對する女生が全員のこ入りません！盎

とうとう本音をぶつちやけたなと思ったが甚華は桔梗に対して嫌な
気持ちは浮かばず甚逆に感心した曷

匍朔様はずっと私の憧れであこが甚術者としても男性としてもとても素敵な
方です曷朔様が当主となれば結婚は避けられないと思ってました曷だ
からおじい様に頼んだんです曷朔様と結婚できるように取り計らって
くれないかって盃

匍えっ甚そうなの？盃

まさかそこまで行動に移していたとは思わなかった曷

匍けど甚朔様に話が行く前におじい様に止められました曷私では駄目
だって曷朔様とは力の強さの釣り合いが取れないからと言われてしま
い……曷理由は当主の妻となつたあなたならご存じのことかと思いま
す盃

甫ん？ あゝ盍

柱石の結界を強化するために甚はんにりよ伴侶となる者には朔と同等の力の強さが求められる曷

華が見た感じ甚桔梗では朔との力の差が大きすぎる曷

それでは柱石の結界を強化する朔の邪魔になってしまう曷

好いただけではどうにもならないのだ甚五家の当主の結婚は曷

甫朔様が結婚したと聞いて甚それはとても力の強い女性なのだろうと思いましたが曷どんな相手なのか気になって気になって甚調査させたんです盍

何気に怖いことを言っているのに桔梗は気付いているのだろうか曷知らないうちに身边を調べられるって甚普通は気分のいい話ではないのだが曷

桔梗は甚華がなんとも言えない表情を浮かべているのにも気付かず
に続ける曷

甫そしたら甚朔様を選んだのは優秀だと有名な葉月さんじゃなくて甚
落ちこぼれと悪い意味で有名な片割れと言っじゃないですかあ盍

今にも零れこぼそうなほど目に涙を溜ためる桔梗の頭を甚桐矢がよしよし
と撫なでている曷

甫泣くな盍

甫まだ泣いてません～盍

本当に仲のいい双子だ曷

その間には深い信頼感が見える曷

自分達にもそれだけの繋つながりがあったら今は変わっていたのだろう
か曷

などと甚同じ双子の二人を見ていると甚今さらどうしようもないことを考えてしまう曷

甫落ちこぼれと言われているあなたがよくて甚どうして当主候補の私が駄目だと言われるのか甚わけが分からなくて甚きつとこれは華さんが朔様の弱みを握ったに違いないと思って盍

甫弱みを握られたのはどっちかというと私なんだけどなあ盍

甫そうなんですか？盍

甫まあ甚似たような感じ盍

金に目がくらんだとも言つ曷

甫……だから急に離婚してと言われても一度は受けたんですね曷あなたがあまりにも簡単に離婚届を書こうとするから甚私余計に甚どうしてこんな人が朔様の相手なのかと納得がいなくて盍

甫だから甚うざ絡みしてきたわけ？盍

匍うざ絡み!? 盍

桔梗は激しくショックを受けているが甚あれをうざ絡みと言わずしてなにをうざ絡みと言うのだろうか曷

本人に自覚がなかったのがびつくりだ曷

匍うつつ甚そう言われても仕方ありませんけど甚どうしても理由が知りたかったんです曷朔様がどうしてもあなたを選んだのか曷どうしても私じゃいけなかったのか盍

匍まあ甚理由があるとしたら甚それは朔が当主だったからでしょうね曷当主である朔に私の力が必要だった曷ただそれだけのことよ盍
匍落ちこぼれのくせにいい曷本妻の余裕ですかあ! 盍

今度こそ涙を溢れ^{あふ}させてテ^タブルに顔を伏せる桔梗に甚華はやれや
ふ^フー^フう顔を^あする^ふ曷

わといふ顔をみるを

時計を見ると甚もうチャイムが鳴る時間だ曷

食堂にも生徒はほとんどおらず甚残った生徒も食堂から出ようとしていた曷

のんびりしているのは華達だけだ曷

甬鈴甚先に教室行つてて盍

甬華ちゃんは？盍

甬ほつとけないでしょう？盍

えぐえぐと子供のように泣く桔梗をいちべつ一瞥してから甚鈴に向かつて苦笑すると甚鈴も困ったような笑みを浮かべた曷

甬そうだね曷じゃあ甚先生には上手うまく言っておくね盍

甬うん曷ありがとう盍

出ていく鈴に手を振って甚華はがらんとした食堂の中で呟つぶやいた曷

匍展開盃

華が張ったのは目隠しの結界だ曷

これで周囲からは華達の様子が見えないし甚力も漏れない曷

突然結界が張られ甚頬を涙で濡らした桔梗と桐矢はきよとした顔をする曷

匍何故結界を？盃

匍あんまり他人に見られなくてね盃

疑問符を浮かべる桔梗に笑いかけると甚華は隠していた式神の名を呼んだ曷

匍葵甚雅盃

すると甚すうつと葵と雅が姿を現した曷

人型の式神の出現に目を大きく見開く桔梗だが甚桐矢も分かりやすく驚いた顔をしており甚そんな表青よとても珍しい曷

、驚いた顔をしてる。甚だしい表情。くち玉を握りしめて
匍えっ甚華さん甚彼らは？ 盃

匍私の式神達曷葵と雅よ盃

雅はにっこりと微笑んで優雅に礼をした曷

葵はツンとした表情をするだけで挨拶あいさつはしない曷

匍けど甚彼らは人型ですよ!? 盃

匍そうね盃

匍人型が二体もいるんですか？ 盃

匍そうよ甚だから私が選ばれたの曷朔に釣り合う力を持っていたから
ね盃

桔梗は信じられない様子で雅と葵を交互に見やり甚少しすると納得
したように落ち着きを取り戻した曷

匍そうですか 曷そもそも刃認識からして韋っていったんですね曷ど

うして華さんはこれを周囲には隠しているんですか？ 人型の式神を得ていると知ったら甚落ちこぼれなんて誰も言えなくなるのに盃匍でしょうね曷でも甚それと引き換えに私は静かな生活を手放すことになる曷あいにくと甚まだその覚悟はできてないのよね盃

朔は以前に言った曷

いつまでも隠しておけるものではないと曷

いつか実力が知られる日が来ることは甚華も薄々感じている曷
その時甚葉月は甚一瀬の両親はどんな反応をするのだろうか曷

きつと面倒なことになるのは予想できた曷

だからこそ甚ギリギリまでは足掻^{あが}いてみせたい曷

匍まあ甚それは今は置い^いて甚朔が私を選んだ理由に納得でき

た：盃

桔梗は揺れる瞳ひとみでもう一度葵と雅に視線を向けてから甚悲しげに笑った曷

匍そうですね曷私ではとても敵いかなそうにないです曷私には朔様を認めさせるだけの強い力がありませんから盃

すると甚桔梗は深々と華に頭を下げた曷

匍これまで何度となくご迷惑をおかけしました曷もうあなたを試すよ
うなことはしません盃

匍そうしてくれると助かるわ盃

そのために危険を冒してまで学校内で葵と雅を顕現させたのだから曷

匍あと一つお願いしてもいいですか？盃
匍なに？盃

匍普通のお友達としてなら甚うざ絡みしてもいいですか？ 盍

不安そうに上目遣いで華の表情を窺^{うかが}う桔梗に甚華はにこりと笑みを浮かべて手を差し出した曷

匍うざ絡みは困るけど…… 曷まあそういうことなら盍

ぱっと表情を明るくした桔梗は甚嬉^{うれ}しそうに華の手を握った曷

そして甚華は葵と雅に姿を隠してもらい甚結界を解く曷

とつくに授業は始まっているため甚いつまでも食堂にしていると教師が見回りに来てしまうので甚それぞれの教室に行くことにした曷

ご機嫌な様子で先に食堂を出た桔梗の後に続くとき甚桐矢に肩を叩^{たた}かれ甚足を止める曷

匍なに？ 盍

匍ふつつかな娘ですがよろしくお願いします盍

と甚新婦の父親のように深々と頭を下げられた曷

反射的にツツコンでしまうのは許してもらいたい曷

匍いや甚嫁にやるんじゃないんだから盃

匍俺甚なんか違った？盃

匍いろいろとね盃

己の発言の違和感に気付いていない桐矢は甚首をかしげながら桔梗の後を追っていった曷

匍やっぱり不思議ちゃんだわ盃

桐矢という人間への疑問だけが大きくなった曷

もちろんだ子の柝夕も一絹た巻

試験に向けて勉強をしなければならぬ華は甚早々に友達の縁を切れないかと考え始めている曷

匍お願いだから邪魔しないで曷頭から覚えたばかりの記憶が飛んでいく…… 盍

匍勉強なんて適当にして甚おしゃべりしましよう盍

ニコニコと嬉しそうにする桔梗は甚やけに華にべったりだ曷

その状況にジェラシタを感じている者が一人いた曷

自他共に認める華の親友甚鈴である曷

匍華ちゃんは私とおしゃべりするので甚二条院さんは自分の教室に帰って甚Aクラスの人と仲良くしたらいいじゃないですか！ 盍

当初は二条院の直系が転校してくると甚テンション高くはしゃいでいた鈴なのに甚桔梗が華に懐くようになるや甚対抗心を燃やすように

なつた曷

匍私は華さんと仲良くしたいんです盃

匍華ちゃんと仲良くするなら甚唯一の親友である私を通してください盃

と甚鼻息を荒くする鈴曷

匍親友!? なんて羨ましい曷私も親友になります! いいですよね甚

華さん? 盃

匍駄目です甚駄目です! 華ちゃんの親友は私だけだもん! そうだよね甚華ちゃん!? 盃

匍うゝん曷まあ甚そうね盃

桔梗とは最近仲良くなつたばかりなので親友とまでは呼べない曷
そう言つと甚鈴は喜び甚桔梗はショックを受けるといふ事態に曷

匍 やったあ～ 盃

匍 そんなっ！ 盃

匍 頼むから静かにして…… 盃

うるさすぎて教科書の内容がまったく入ってこない 曷

美桜の特別授業が背後に迫ってきているのを感じて身震いした 曷

なんとしてもそれだけは避けなくてはならない 曷

華はじゅっと桔梗と桐矢を見る 曷

匍 ねえ甚桔梗と桐矢はAクラスよね？ 盃

友達となってから甚二人のことは名前で呼ぶようになった 曷

匍 そうですが甚それがなにか？ 盃

匍 Aクラスでの成績はどれくらい？ 盃

匍 そうですね 甚 実技では葉月さんがトップで 甚 次に望さん 曷 私と桐矢はその次です 曷 座学だけは桐矢が葉月さんを抑えてトップになりました

たが盃

匍えつ甚そんなに成績いいの？盃

匍桐矢は頭がいいんです曷自慢の弟ですから盃

自分のことのようにドヤ顔をする桔梗が姉で甚桐矢が弟だと知ったのは友人となつてからだ曷

聞いた時には絶対に反対だろうと思つたことは黙つておく曷

桐矢の方が落ち着いていて兄のように見えるのに甚まさか弟とは曷

匍ちなみに桔梗は？盃

問えば甚桔梗はさつと顔を逸^そらした曷

それだけでどんな成績か十分に伝わつたのだが甚何故か急に鈴が優しい笑顔で桔梗の肩を叩く曷

同じ成績が悪いでも甚AクラスとCクラスでは天と地ほどの差があ

るのだが甚華はそこを指摘はしなかった曷

そんなこんなで甚賑^{にぎ}やかになった学校生活曷

テロリストはまだ捕まっていないが甚なんとも平和な日が続いてい
た曷

そんなある日甚一ノ宮の屋敷を懐かしい人物が訪れた曷
甫奥様甚お客様がいらっしゃっていますますが甚どうされますか？ 盍

自分の部屋で勉強に勤^{いそ}しんでいた華に甚十和からそんな報告が入
る曷

匍客って誰ですか？ 盍

この一ノ宮に華を訪ねてくる人物は初めてだった曷

なにせ甚両親は朔によって一切の面会ができないようにされていたし甚三光楼の分家である鈴が一ノ宮の屋敷に来るのはハタドルが高い曷

他に思いつかなかった華は首をかしげる曷

匍紗江様とおっしゃる方です盍

匍えっ！ 紗江さん!? 盍

華は慌てて紗江を客間に通すように十和にお願いして甚身だしなみを整えて急いで客間を目指す曷

顔を合わせるのは一瀬の家を出て以来なので甚ドキドキしながら客

間に入ると甚変わらぬ様子の紗江がいた曷

匍華様！ 盍

紗江は感極まったように涙ぐみ甚華に向かって正座したまま頭を下げる曷

匍紗江さん甚久しぶり 盍

華が紗江に駆け寄ると甚紗江も頭を上げ華の顔を見た曷

匍なにやら何年も会っていないなかつたような気がいたします 盍

匍うん基本当に曷ごめんね甚紗江さんにちゃんとお礼とお別れも言えずに家を出て来ちゃつて 盍

匍いいえ甚そんなことは気にしなくてよろしいのですよ曷華様はこちらで幸せにしておられますか？ 一瀬にいた時のような思いはしておられませんか？ 盍

匍大丈夫よ曷朔も朔のお母様も甚屋敷の人もよくしてくれてるから 盍

甫それはようございました盃

紗江はまるで母のような温かな笑みを浮かべて喜んでくれる曷

本当に甚紗江は華にとって実の母以上に母のような存在だった曷

甫それで甚どうしたの？ 紗江さんが急に來たって聞いてびっくりし
ちやった盃

人払いはされているので甚ここにいるのは華と紗江だけ曷

本当は後ろに葵と雅がいるのだが甚術者としての能力が高くない紗

江が甚朔みたいに二人の居場所を感じとることはない曷

紗江は華の頭に止まっているあずはしか認識していないだろう曷

ちなみに嵐は縁側でお昼寝中だ曷

誰にでも見える状態だが甚普通の人と違い神の恐ろしさを知るこの
屋敷の人達の中に甚神に手を出そうとする愚か者はいるはずがないの

で甚嵐も警戒心なくのびのびしている曷

何故来たのかと問う華の言葉に表情を曇らせた紗江は甚畳に額を擦^{こす}りつけるように頭を下げた曷

匍華様甚どうか葉月様をお救いください！ 盃

一瞬呆氣^{あつけ}にとられた華は甚次の瞬間には表情を厳しくする曷

匍紗江さん甚それどういこと？ 盃

匍一瀬に仕える私ごときが口を挟むべきことではないと分かっております曷しかし甚旦^{だんな}那樣と奥様のなさりようはあまりにも葉月様のご意

志を蔑^{ないがし}ろにされていて……曷葉月様もお元気がなく甚とても見ていられませんか 盃

匍なにがあつたの？ 盃

声を大にして問い詰めたいのを我慢して甚華は冷静さを保つてもう

一度問いかける曷

わざわざ紗江が訪ねてくるほどのことだ曷

きつと前に葉月が力を暴走させたことと無関係ではないと感じる曷
匍旦那様が甚葉月様に結婚せよと曷相手を決めておしまいになったの
です盍

匍はっ？盍

匍葉月様より二十以上も年上の分家の方です曷その方と結婚させるこ
とで甚一族内での一瀬の発言力を高めようとお思いのようです盍

匍……あのくそ親父っ盍

華は憎々しげに吐き捨てた曷

匍まさか甚葉月はそれを了承したの？盍

匍そのまさかでございます曷いえ甚葉月様には最初から拒否権なんて
なかったのです曷あの旦那様達が嫌だと言って諦めてくださる相手で

ないことは甚華様がよくご存じかと思います盃

匍ええ甚よく分かつてるわ曷だからと言って甚そんな大事なことを葉月の意志を無視するなんて盃

いや甚前々からその兆候はあつた曷

朔の花嫁を選ぶ時だつて甚なんとしても朔を射止めるとプレッシャをにかけていたではないか曷

あの人達にとって娘は道具曷

結婚は一瀬の発言力を強めるための手段曷

そこに愛情なんて含まれていない曷

匍あいつら甚どこまで葉月を利用したら気が済むのよ盃

もう父とも母とも呼びたくないほど怒りが湧く曷

匍でも甚葉月も悪いわ曷嫌なら本気で抵抗したらいいのに曷またいい

子ちゃんていようとして甚理解ある娘を演じたんでしよう曷葉月の自業自得な面もあるわね盃

言いたいことがあるなら溜め込まずに口にすればいい曷

なのに甚葉月はいつもなにも言わない曷

粛々と両親のあやつり人形となっている曷

匍華様甚それは違います曷華様は葉月様のことを勘違いなさっています盃

匍どこが？盃

匍これは葉月様から口止めされていたことなのですが甚今となつては時効でしょう曷このままでは華様を守ろうとした葉月様が不幸になつてしまわれる盃

匍……守るってなに？盃

今甚華を守ると言ったのか曷

それはいったいどういうことを意味するのか曷

華の表情が強張^{こわば}る曷

匍葉月様は華様をお守りするためにご両親の言いなりになっておいで
なのです盍

匍全然意味が分からない！盍

声を荒らげる華とは反対に甚とても静かな眼差^{まなざ}しを向けてくる紗江
の目に甚華も落ち着きを取り戻す曷

匍華様は落ちこぼれとして旦那様達から冷たくされておられました
が甚より一層酷^{ひど}くなられたのは式神を作り出した時以降でしうか盍

匍……そうね盍

華自身は切めて乃式神が喜^{うれ}しくて土方がなかつた乃こ甚両親はあず

はをゴミのように見ていた曷

あの時の両親の目を華は一生忘れないだろう曷

匍華様が作り出したのは最も弱いとされている虫でした曷それに失望した旦那様は甚一瀬の足手まといになりかねない華様を養子に出すお話を進めておられたのです盍

匍えっ！盍

そんな話は初めて聞く曷

だが甚あの両親ならやりかねないと否定できないのがなんとも悲しい曷

匍それをお止めになったのが葉月様です曷自分が華様の分も頑張るか甚華様を養子に出さないでくれと盍

がんつと頭を殴られたような気持ちだった曷

解……そんなの甚知らな……… 盍

匍それから華様もご存じの通り甚旦那様達は葉月様に家庭教師をつけ甚到底抱えることができないほどの勉強量を課しました曷葉月様は自分でおっしゃったように甚文句一つ言うことなく課題をこなしていきました盍

匍……紗江さんはずっと昔からそれを知ってたの？ 盍

匍いいえ甚私も知ったのは近年のことです曷葉月様についていた使用人が辞める時甚私に教えてくれました曷このままでは葉月様があまりに不憫ふびんだと言つて盍

華の頭の中は混乱した曷

ずっと甚どこか自分は被害者で甚他の家族は加害者だというような気持ちがあつた曷

ナンド甚そうではなかったのかもしんなハ曷

少なくとも葉月は甚華のために己を犠牲にしていた曷

甫紗江さん…… 盍

華は今にも泣きそうな情けない顔をして甚すがるように紗江を見た曷

紗江は静かに近付いてくると甚華の手を握る曷

甫華様曷どうか葉月様をお救いください曷私は昔のように仲のよいお二人の姿をもう一度見とうございます盍

甫そんなこと言っただって甚葉月に私の言葉は届かないわ盍

これまでだって届いたためしがない曷

華は落ちこぼれだから分らないんだと甚伸ばした手を払われてき

た曷

そんな葉月になにを言えるのだ曷

また振り払われてしまっただけではないのか曷

躊躇^{ためら}う華を紗江は□咤^{しつた}する曷

匍怖れてはなりませんよ甚華様曷どんなに拒否されても甚葉月様に声を届けられるのは強い繋^{つな}がりを持った華様だけなのです盍

匍私に葉月との繋がりなんてない盍

とつくの昔に切れてしまった曷

桔梗と桐矢の間にあるような信頼は自分達にはもう存在しない曷

匍いいえ甚まだ繋がつております曷華様がそれに気付いていないだけです曷葉月様は華様を待っているはずです盍

いつもの強気な華はそこにおらず甚迷子のように行くべき道がどこか分からなくなってしまったようだった曷

すると……曷

あるじ
匍主 盃

匍主様 盃

葵と雅がその場に顕現した曷

紗江は声も出ないほど驚いている曷

匍主 甚行ってやれよ 盃

匍でも甚葉月は私の言葉を聞かないのに甚どうやって 盃

匍主が力を示せばいいだろう曷もう主は守られる存在じゃなく守る力があるんだって甚あの女に教えてやれよ 盃

匍葵の言う通りですよ曷私と葵は仲がよかった頃のお二人を知りませんが甚まだ取り返しがつくのなら尽力すべきです曷葉月様を放ってはおけないと顔に書いてありますよ曷やれるだけのことをやってみてはどうですか？ 盃

匍 夫れ甚ごナビこそうふふ主の望むごとく平穩はよくふつちやうりかえし

れない曷主はどっちが大事だ？ あの子が平穏な日常か盃

匍そんなの……盃

そんなもの考えるまでもなく決まっている曷

その瞬間甚華の目に強い光が宿った曷

匍それでこそ俺らの主だよ盃

匍私達の力が必要な時はいつでもお呼びください曷常に私達は主様の味方です盃

それだけを告げると甚葵と雅は姿を消した曷

匍あの甚華様曷先ほどの方々は式神ですか？盃

匍うん甚まあ盃

匍華様を主と呼んでおりましたが盃

困惑する沙工曷そへは当然ご曷

国京で、る終、は、二、ホー、ミ、タ、ナ、ハ、見

一瀬において甚華は落ちこぼれたったのだから曷

けれど甚もうそれも終える時が来たのかもしれない曷

守るべきものを間違えたくはないから曷

匍紗江さん甚葉月に手紙を書きます曷両親に分らないように届けて

くれますか？ 盍

匍旦^{だんな}那樣達に気付かれずにですか？ 盍

紗江の困った顔を見るに甚かなり難しそうだ曷

そもそも甚葉月は分刻みでスケジュヰルを管理されているので甚屋敷の中ではなかなか一人にならない曷

一人になるとしたら寝る時ぐらいだろうか曷

それならいっそ学校の方が接触できるが甚華が呼びに行くのは周囲の視線を素めてしまう曷

（お終る集の……）
ならば同じクラスの桔梗に頼もうか曷

望でもいいかもしれない曷

どうすべきか悩んでいると……曷

匍その手紙甚我が届ける盃

聞き覚えのない甚子供のような声に華は勢いよく振り返る曷

そこには葉月の式神である柊ひいらぎの姿があつた曷

匍あなた甚どうしてここに……盃

匍その者について甚ここに来たのだ盃

柊は紗江を指さして答える曷

紗江は知らなかったようで驚いた顔をしていた曷

匍いつの間に曷全然気付きませんでした盃

匍姿を隠した式神は甚そうとう感覚が鋭くないと分からないから盃

（……）

朔レベルの能力を持っていたら気付いたのだろうが甚華は気付かなかった曷

力は強くて術者としての感覚は朔には及ばないということなのだろう曷

甫それよりも甚あなたが手紙を届けるって？ 盍

甫そうだ曷我なら誰にも気付かれずに葉月に会える盍

甫そりゃあそうだけど…… 盍

果たして信じていいのか判断に迷う曷

葉月以外の者に手紙が渡ってしまったら元も子もない曷

桔梗に呼び出してもらう方が確実だろうか曷

すると甚華の葛藤^{かつとう}を察したのか甚柊は華の前にちよこんと正座す

る曷

甬我も葉月を助けたい。昼そのために、お前が動くなら手を貸す。昼式神である我は、葉月の命令に逆らえないから、甚お前の力が必要なのだ。曷頼む。盍。

そう言つて土下座する。柊は信用に足ると即座に判断する。曷。

その真摯^{しんし}な態度には、覚えがある。曷。

葵や雅が華のために動く時と同じ目をしていたから。曷。

甬分かつた。曷必ず誰にも気付かれず渡してね。盍。

甬承知した。盍。

そうして華は、甚柊に手紙を託したのだ。つた。曷。

翌日甚きには三村の屋敷にいたる

フェンスの先を見下ろせば校庭が見渡せる曷

校庭で体育の授業をする生徒達を眺めながら待っていると甚扉を開けて葉月が出てきた曷

その顔は少々厳しげだ曷

華はゆつくりと体を向ける曷

匍葉月…… 盍

匍華…… 盍

二人の視線が重なり甚自分と似た顔立ちの相手を見つめる曷

先に目をそらしたのは葉月だった曷

匍なんのつもり？ 柊を使って私に手紙を送りつけてくるなんて甚なに考えてるの？ 盍

匍 昨日甚少工さしむが私の所に来る盍

有……昨日甚終……人利の戸に……

甫紗江さんが？ 盍

紗江は華の世話をしていることが多く甚葉月とは接点が少なかった
ようだが甚ちゃんと紗江のことを知っているみたいだ曷

甫ねえ甚結婚するって本当？ 盍

息をのんだ葉月は甚次の瞬間には顔に怒りをにじませた曷

甫紗江さんから聞いたの？ それとも柊？ 盍

甫そんなことどうでもいいわ曷本当にそんなよく知らない相手と結婚
するつもり？ 盍

甫華には関係ないでしょう！ もう一瀬の家とは関係ないんだから盍

甫関係あるわよ！ 盍

華は葉月の腕を掴み甚強い目で葉月を捉えた曷

甫私達は双子だもの曷片割れの心配をしてなにが悪いの？ 盍

匍片割れ……？　　っ甚今さらなに!?　　これまでずっと無関心でいたく
せに！　　一ノ宮に行つて甚一瀬のことは捨てたんじゃないの？ 盃
匍そうさせたのは一瀬の家でしょう？　　ううん甚元凶はあの両親つて
断定した方がいいのかもしれないけどね 盃

表立つて両親を非難したことはなかったので甚葉月はびっくりして
いた 曷

匍お父さんとお母さんのことをそんな風に言うものじゃないわ 盃

匍私達を道具としか思っていないやつらよ！　　葉月のこともそう 曷家
のため甚一瀬のため甚道具のように使い潰つぶそうとしてる 盃

匍そんなことない！ 盃

匍あるわよ！ 盃

大きな声で否定する葉月の声に被かぶせるように甚さらに大声で否定し

てやる易

「匍私が一瀬の家を出る時に言ったこと覚えてる？　いつも葉月の行動

に自分の意思は伴っていないって曷あれを謝罪させて曷ごめんなさい盎

華は甚これまで葉月一人に背負わせてしまったことを後悔しながら深く頭を下げた曷

そんな華の行動に葉月は動揺を見せる曷

匍なによ甚突然そんなこと…… 盍

匍紗江さんから聞いた曷葉月が甚養子に出されようとしてた私を守るために両親と交渉したって盗

葉月は言葉を失い甚目を見張った曷

匍匐親の言いなりになる葉月のことをずっと馬鹿だなんて思つてた曷わがまま
我儘も言わず反抗するでもなく甚人形のように従う葉月は甚このまま

ハ、ニ、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

しや本兰の葉月しやなくなつてしまつて思つた曷でも何度忠告しても聞き入れない葉月を私は見放した曷それに対して謝りたいの盍

匍……………盍

匍葉月のその行動のきつかけは私だったのに甚そんなことも知らずにのうのうとしてた曷本当にごめん曷でも甚もういいのよ盍

匍なにが……………盍

匍私はもう葉月に守ってもらわなくても大丈夫曷私のことは自分でなんとかできるから曷だから葉月はもう解放されていい曷私からも甚両親からも甚一瀬からも盍

華が一步近付くと甚葉月が一步下がる曷

匍そんなことできるわけないじゃない曷そんなのお父さん達が許さないもの……………盍

匍じゃあ甚葉月はこのまま二十歳も上の人と結婚してもいいの!? 盍

……………

けるのよ昼やってみないと盃

匍華はなにも知らないから呑気のんきなことを言えるのよ曷お父さん達が

諦あきらめるはずがない曷お父さん達は

一瀬のことしか考えてないの曷私

の言葉なんて聞いてくれない盃

匍だったら全部捨ててやれ！盃

葉月は大きく目を見開く曷

匍お父さんもお母さんも甚一瀬も甚みんなみんな煩わしいものは捨ててやればいいわ曷私はそうしたもの曷葉月のことも捨てたつもりだったけど甚やつぱりやめた曷葉月も一緒に一瀬を捨てよう盃

華は不敵な笑みを浮かべてみせた曷

そんな華の言葉に激しく揺さぶられた様子の葉月は甚必死で反論する曷

シンとそこを向く華に甚葉月に視線を戻して手を伸にす唇

匍あとは甚葉月次第よ曷葉月はどうしたい？ 盍

どうかこの手を取ってくれと願いながら差し出された手は甚葉月には分らないほど小さく震えていた曷

華も怖いのだ曷

なりふり構わず差し出した手を振り払われるのが曷

匍葉月盍

匍あ……私は…… 盍

葉月の葛藤^{かつとう}が見える曷

急に家を捨てるなんて言われて葉月も困惑しているのだろう曷

けれどもあまり時間もない曷

あの両親達は顔合わせを行ったらすぐにでも葉月を嫁がせる気でいるに違いない曷

匍葉月甚お願いよ盍

一瀬ではなく自分の幸せを選んでくれと甚華は願う曷

その時甚華と葉月の目の前を小さな妖魔ようまが通り過ぎた曷

ぎよつとしたのは華だけではなく甚葉月も驚いた様子で妖魔に視線を向ける曷

すると甚校庭から複数人の悲鳴が聞こえてきて甚慌ててフェンス越しに見下ろし愕然がくぜんとした曷

匍なに甚これ……盍

数え切れない妖魔がどこからともなく現れ甚校庭にいた生徒を襲っていた曷

校庭に響く悲鳴はあちこちから上がり甚生徒達は逃げ惑っている曷
それだけではない曷

華と葉月の周囲にも多くの妖魔が集まってきたのである曷

匍展開！ 盍

華が叫び結界を発動させれば甚葉月も慌てて柎を呼び出す曷

匍柎！ 盍

顕現した柎は甚扇のようなものを一閃いつせんさせて妖魔を倒していく曷

匍滅！ 盍

華も負けじと妖魔を倒そうとするが甚華の術では倒されなかった曷

匍はあ!? なんで！ 盍

匍華は下がってて！ この妖魔すごく強い 盍

葉月に言われてよく観察すると甚確かにこの妖魔達はやけに強い曷

普段の抑えた華の力では倒せないのも納得だった曷

匍そういうことなら曷展開！ 盍

あまりの数の多さに甚華は制限している場合ではないと甚力を抑えるのをやめて全力で倒しにかかる曷

匍滅！ 盍

ババババンと甚複数の妖魔が一気に消滅した曷

それを見た葉月が呆氣あつけにとられる曷

匍えっ甚今の華がやったの？ そんな力あるはずなのに…… 盍

匍説明はあと曷それよりこの学校中にいる妖魔をなんとかしないと曷朔に連絡するから甚ちよつと代わりに周囲を警戒してて盍

匍わ甚分かった盍

さすがAクラストップの優等生曷

無駄口は叩たたかず今最善となる行動を迷わず取った曷

華は小さく笑い甚スマホを取り出し朔に電話をしようとしたが電波がない曷

匍電話が繋がらない！^{つな} 盍

匍えっ甚どうして？ 盍

校庭を見下ろしていた葉月が勢いよく振り返る 曷

匍葉月のスマホは？ 盍

匍ちよつと待って曷……私のも圏外になってる 盍

ポケットから取り出して確認した葉月のスマホも使える状態ではな
かった 曷

こういう状況になる場合には覚えがある 曷

華はじと外に向けて目を細めると甚学校の内と外との境に歪み
を感じた 曷

屋上をぐるりと回り確認していく華を甚葉月はいぶかしげに見る 曷
匍華甚なにしてるの？ 盍

匍この学校の敷地内に結界が張られてる曷電波が届かないのはそのせいみたい盃

匍えっ！盃

葉月は華の視線の先を同じように目を細めて見たが甚見えなかった
ようで首をかしげている曷

匍そんなのどこにあるの？盃

匍ほら甚学校の塀と校庭との境目盃

匍全然見えない盃

匍いつの間に張られたのか全然気付かなかった曷あずは甚あの結界を
越えられそう？盃

華の頭から指に移動したあずはは甚一拍の沈黙の後答えた曷
重たぶん大丈夫紂

匍なら甚朔を呼んできて盍

重はい曷あるじ様紂

あずははひらひらと飛んでいき甚華が見た歪みの前で一瞬止まってからその歪みを越えた曷

妖魔の行動にも注視していると甚妖魔はどうやら結界を越えられない様子だ曷

それだけでなく甚校庭にいた生徒達が外へ逃げようとしているが甚同じように学校の敷地内より外に進めないようだ曷

つまり甚ここは大きな妖魔の鳥籠とりかごの中になってしまっているということ曷

これだけの強さがある妖魔が越えられないとなると甚学校内にいる多くの人間が出られない曷

甫葉月甚とりあえず教室に戻って生徒を避難させよう曷Aクラスは妖魔退治の経験があるからそんな心配はいらないかもしれないけど甚数が多いすぎる曷きつと校舎の中にも妖魔が入り込んでるはずよ盍

甫そうね曷でもどこに避難するの？ 外にも出られそうにないのに盍
甫あの程度の結界なら壊せる盍

あずはが外に出られたのだから甚自分になら可能だと華は判断した曷

甫教職員とAクラスで力を合わせれば甚身を守る一時的な結界が張れるでしょう？ 盍

甫たぶんできると思っけど甚その後はどうするの？ 結界を壊せるって言うけど甚壊したら妖魔まで外に出て周囲の一般人を巻き込んだじゃうわ盍

甫そのために甚あずはに朔を呼びに行かせたの曷朔が来ればなんとか

なる盍

匍けどつ盍

匍考えてる暇はないわよ曷早くしないと死人が出る！盍

葉月のクラスには甚他に望と桔梗と桐矢がいるので甚一年や二年のAクラスと比べて力がある曷なので甚余力があれば校門まで出て甚そこで結界を張るようにと葉月に伝える曷

そうすれば校庭にいる生徒も避難できると考えたからだ曷

華の気迫に押された葉月は甚不承不承ながらも自身の教室に向けて走った曷

華は校舎に戻ると妖魔を倒しながら歩みを進め甚廊下の分かれ道で葵と雅を呼び出す曷

匍葵甚私は放送室に行くから甚葵はCクラスに行って教室に残ってい

る生徒達を校門まで誘導して曷もし途中で逃げ遅れた生徒を見つけたら一緒に連れて行ってね盃

顕現した葵と雅は心配そうにしていた曷

甬主^{あるじ}は？盃

甬私は大丈夫よ曷雅は校庭の生徒をお願い盃

甬かしこまりました盃

甬行つて曷教室には鈴がいるだろうから絶対に守ってね盃

葵と雅は一礼すると素早く消えていった曷

華もここでじっとしているわけにはいかない曷

甬あゝ甚もう甚まったく曷なんでこんな時にこんな面倒な問題が起きるのよっと！盃

ちようど角を曲がった瞬間に現れた妖魔を瞬殺して甚華は放送室を

目指した曷

放送室では甚数名の教師が必死にマイクに向けて状況を説明しているところだった曷

匍先生甚ちよつとどいて！ 盍

匍あつ甚こら！ なんなんだお前は！ 盍

匍あゝ甚テストテスト曷校舎内に残った生徒はすぐにAクラスか職員室に向かってください曷教職員とAクラスおよび甚結界が得意な生徒はそこで結界を張って一時的な避難場所にするように曷残りの無力な生徒はその結界の中で大人しくしてること曷一ノ宮当主には使いを出したから甚術者協会がすぐに動くわ！ 盍

一気に言い切ると甚大きく深呼吸して甚放送室内にいた教師達に向き直る曷

匍今の話は本当か？　一ノ宮当主と連絡が取れたのか？ 盍

匍その様子だと先生達の電話も繋がらなかったの？ 盍

匍ああ甚そうだ曷それよりなにを勝手なことをしているんだ！ 盍

ここであたふたしているしかできなかった人間に甚文句を言われる
筋合いはない曷

匍そんなどうでもいいこと問題にしてる暇があったら甚先生達も校舎
内で逃げ遅れた生徒を集めて結界を張るのに協力してよ！　死人を出
したいの！? 盍

華の迫力にたじろぐ教師達を強制的に放送室から叩き出し甚華はも
う一度同じ内容のことを放送してから甚校内に侵入した妖魔ようまを次々に
屠ほふっていく曷

しかし甚いかんせん数が多い曷

匍嵐を連れてくるんだった～ 盍

あの犬神ならば甚校舍内を素早く移動しながら妖魔を殲滅^{せんめつ}してくれ
るだろうに曷

今頃屋敷でのんびりお昼寝をしていると思うと悔しくてならない曷
あずはに朔を呼びに行かせて一時間ほどだろうか曷

ひたすら走り回り妖魔を倒していると甚後ろから声がかかる曷

重あるじ様紂

ひらひらと飛んでくるあずはを指に迎える曷

匍朔は？ 盍

重校門前に待機してる曷あるじ様が来るのを待つてる紂

匍分かった曷ありがとう甚あずは 盍

あずははひらひらと飛んで甚華の髪に止まった曷

匍朔が来たなら急ぎますか 盍

華は方向を変え甚校門に向けて走り出した曷

校門前では葉月のクラスの生徒が結界を張り甚校庭にいた生徒達を守りながら耐えていた曷

その側には葵と雅の姿があり甚近付く妖魔達を倒している曷

二人に声をかけることなく甚華は生徒をかき分け校門前の結界の境目に立つ曷

結界の向こう側には朔と甚幾人もの術者の姿があつた曷

匍華甚大丈夫か？ 盍

匍妖魔を倒しすぎてもうへろへろ曷別荘の妖魔が可愛く思えてくるわ 盍

そう言つて肩をすくめる華は甚まだまだ余裕があるように見える曷

匍それだけ元気なら大丈夫だな曷そちらから結界を壊せるか？ あいにくとこの結界を壊せるほどの術者を連れてこられなかった曷俺は結界が壊れた瞬間に校内を覆う新たな結界を張って甚妖魔が敷地の外に出ないよう閉じ込める盍

匍了解曷ちよつと甚そこ空けてくれる盍

華は結界の近くにいた生徒に退く^どように指示するが甚なかなか言うことを聞いてくれない曷

匍なんだよ甚万年Cクラスが偉そうに盍

匍双子の出洫^{でが}らしの方は黙ってるよ曷お前になにができるんだよ盍

一刻を争うこの時にぎゃあぎゃああとうるさい馬鹿共を黙らせるべく甚華は大きな声を上げた曷

匍うつさいわよ！ ガタガタぬかさずにとつとと場所を空けなさい！ でないと結界の外に放り出して妖魔の餌にするわよ!! 盍

普段なら言い返しもしない華が怒鳴ったので甚生徒達はびっくりした曷

それに追いつき打ちをかけるように朔が口を開く曷

甫聞こえなかったのか？ 今すぐそこからどけ曷助けて欲しくないのか？ 盍

甫ひっ！ はいいいい！ 盍

華よりも朔に怯^{おび}えて場所を空けた気がしてならないが甚今は細かいことは置いておく曷

華は空いた空間を利用して結界から距離を取ると甚勢いよく結界に向かつて走った曷

そして甚助走の勢いを殺さないまま結界に跳び蹴^げりをかます曷

その瞬間甚パリンと硝子ガラスが割れたような音と共に甚朔の匍結！ 盍という声が響く曷

それまでの結界が壊れ甚朔の作り出した新たな結界が張られたのだ曷

匍これで外に出られる曷術者ではない生徒はすぐに敷地から出る盍

朔のその言葉を合図に甚生徒が雪崩れるように敷地の外へ逃げ出した曷

匍やった曷やっとなられたぞ！ 盍

匍助かったああ盍

泣く者もいる中甚華は朔の隣に行く曷

匍ねえ甚これって彼岸の髑髏どくろが関係してたりしないよね？ 盍

甫察しがいいな盃

甫やっぱり……盃

華の嫌な予感というのは存外当たるのだ曷

甫もしかして私か望が狙われた？盃

甫それか甚そこの二人かだな盃

二人と聞いて朔の視線を追えば甚そこには桔梗と桐矢が立っていた曷

朔に向かい丁寧にお辞儀する二人に甚朔は問う曷

甫二条院はこの状況をどう見る？盃

甫二条院の呪具じゆぐが使われた可能性があります盃

毅然きぜんとした態度で答える桔梗に対し甚朔は不敵な笑みを浮かべた曷

甫俺も同意見だ曷妖魔を集める呪具と結界の呪具が使われていると見

ている盃

匍そんなのがあるの？盃

匍ああ曷結界の呪具は甚華にやった例の別荘にも使われている曷それを強力にしたようなやつだ曷これは特に危険な物ではないし甚あらかじめ奴らが持っていたんだろう盃

匍なるほど盃

別荘と似た状況だと思った華の勘は正しかった曷

匍妖魔を集める呪具は危険ランクSS指定のヤバい代物だな曷まさかここで使われるとは思わなかったが甚華がいたのが不幸中の幸いか曷彼岸の髑髏達も華の実力までは計画に含んでいなかったようだ盃

なにがおかしいのかニヤニヤと薄気味悪く笑う朔は甚華の頭をぐしゃぐしゃと乱暴に撫なでた曷

匍ちよつと！盃

匍華甚俺は中に入って呪具を探す必要が出てきた曷お前が代わりに学校に結界を張れ盃

匍え 𠬞 甚面倒い～盃
めんど

さっきまで散々妖魔を相手にしていたというのになんという人使いの荒さか曷

匍仕方ないだろ曷学校の敷地全体を覆うような結界を張れるのは甚今ここにいる奴の中で俺かお前しかない盃

匍え～盃

嫌そうに顔を歪めるが甚朔は早くしろと言わんばかりの表情だ曷
ゆが
動かずにいると周囲から……曷

匍あの落ちこぼれに学校を覆う結界なんて張れるわけないじゃん盃
匍だよな 𠬞 曷だって三色の教師全員集めても無理だったのに甚一人で

できると思えねえよ盃

匍葉月さんの出洩らし……盃

匍残りカス……盃

ヒソヒソと聞こえてくるのは華への中傷曷

朔の前だから声は抑えているが甚ばつちり聞こえている曷

匍華……盃

少し離れたところで甚葉月が心配そうに華を見ていた曷

葉月を一瀬から解放する曷

そのためにできることはすると決意したのは他ならぬ華自身だ曷

匍はいはい甚分かりましたと曷その代わり早くしてよね盃

匍善処はする盃

今度は優しく華の頭を撫でると甚朔は桔梗と桐矢に向かって言っ

た曷

匍学生を巻き込みたくないが甚二条院の知識が欲しい曷危険だがお前達もついてきてくれ盍

匍もとよりそのつもりです盍

桔梗が答えれば甚隣の桐矢もこくりと頷くうなず曷

匍よし曷華甚結界を張ってくれ盍

匍了解盍

華はまるで写真の画角を決めるかのように指で学校の大きさを測ると甚手を前に出して唱えた曷

匍展開盍

華の力は形となり甚朔の結界の上から覆い被かぶさるように結界が完成する曷

ずると甚司田がぎっつかりと曷

でる。甚月国がこれめいた。

匍噓っ甚まじで張りやがった盃

匍えっ甚本当にあの子がしてるの？盃

匍だってそんな甚まさか……盃

口々に驚く声が聞こえる間に甚朔の結界が消える曷

どうやら華の結界もきちんと張られているようで甚妖魔ようまが出てくる

様子はない曷

それを確認した朔が動く曷

匍行くぞ盃

桔梗と桐矢の双子を連れて結界の中に入る曷

中は未だ妖魔いまがうろろしておりとても危険だ曷まだ中に残された

者もいるので早く助けなければならぬ曷

罰葵甚佳曷ここはもう……から甚吉更と同天を守って盃

匍分かつた蝨

匍かしまりました盃

それまでこの人型の式神は誰のものだと思議そうにしていた者達が甚華の言葉を聞いてぎよつとする曷

そんな反応を新鮮に思いつつ甚華はなにごとくもなかったように振る舞った曷

内心では甚これは学校が再開されたら大きな騒ぎになるなと思いな
がら曷

けれど甚力を示したなら甚葉月が華を守る必要なんてない曷
ゆつくりと近付いて来た葉月に甚華は最大限の笑みを向けた曷
匍ねえ甚葉月曷私強いでしょう？　きっと葉月より強いよ曷だから

ね甚もう守ってくれなくていいから曷今度は私に葉月を守らせてよ盃

匍華……っ盃

葉月は静かに涙を流し甚華の肩に顔を伏せる曷

葉月が泣いたところなんて初めて見た曷

ここまで追い詰めたのは他ならぬ両親だ曷

両親にこれほどの怒りを感じるのは初めてかもしれないなと甚華は

葉月の背をトントンと叩きながら甚ここにはいない親達への殺意にも

似た感情を抑えるのに必死だった曷

匍お礼参りは覚悟しときなさいよ盃

学校を襲った事件には甚やはり協会から盗まれた呪具が使われていたように甚学校の敷地内より発見された呪具は速やかに協会本部へと戻された曷

しかし奪われた呪具は他にもまだ残っている曷

そもそもだが甚桔梗と桐矢が黒曜学校に転校してきたのも甚今回の呪具盗難事件が理由だったらしい曷

協会本部への侵入を可能にしたテロリストの協力者の術者というのが甚二条院に属する人間だったのだ曷

桔梗と桐矢は二条院を代表して甚本部のある第一学校に転校し甚呪具の搜索にあたっていた曷

これは五家の信用にも関わることなので甚公にはされていない曷
なのに甚何故華が知っているかというと甚またもや朔から無理難題が課せられたからである曷

匍え～甚またあ？ 盃

匍そうだ曷事件解決にお前も協力してくれ 盃

匍今度はなにくれるの？ 盃

匍別荘をやったところだろう曷この金の亡者め 盃

匍だつて報酬がないとやる気が起きない～ 盃

嵐を枕にゴロゴロとしている華に呆れ顔あきの朔は甚やれやれと溜息ためいきを吐いた曷

匍なにが欲しいんだ？ 盃

匍ん～とね～曷今度こそちゃんとした海の見える別荘に甚それに合わせた家具と家電と車と船と…… 盃

匍多いぞ！ 一つだ甚一つ 盃

匍え～甚じゃあねえ 盃

華は考え込みしばらく沈黙した後甚ゆっくりと起き上がった曷
匍ねえ甚ものじゃなくてもいい？ 盍

冗談を含まない真剣な顔をした華の様子に甚朔も表情を改める曷
匍言ってみろ盍

華の出した要求に甚朔は匍面白い盍と言って口角を上げた曷

妖魔の騒動により休校していた学校が再開された曷

またあのような騒動があつては敵わ^{かな}ないと甚普段は屋敷で留守番を
している嵐も連れて行くことにした曷

事件を聞いた嵐が甚テロリスト事件が解決するまで一緒に行動する

と申し出てくれたので甚これ幸いと受け入れたのだ曷

しかし甚学校に来て早々失敗したことを悟る曷

華は普段力を抑えているので甚ある程度の術者からも力の弱い落ちこぼれにしか見えない曷

しかし甚嵐は式神とはいえ神である曷

嵐から溢れ^{あふ}出る神聖で強い力は甚抑えていようと漏れ出てしま
う曷

一目でただの式神でないことが甚経験の少ない生徒にももろにバレてしまったのである曷

甬すごい甚あの式神って普通じゃないよね？ 盍

甬力の性質が違ってもんね 盍

匍あの噂って本当だったんだ曷葉月さんの妹が甚実は凄腕すいづでの術者だったって盍

匍じゃあ甚なんでCクラスなんかにいるのかな？盍

そんな声もあれば甚

匍お前甚一瀬の妹が結界張るの見てたんだって？盍

匍そうだよ曷ほんとすげえの曷あんな強力な結界甚一人の力で作り出すなんて甚並の術者じゃできねえよ盍

匍俺も見なかったなあ曷一ノ宮のご当主に選ばれたのも奇跡が起きたわけじゃないってことか盍

匍そりゃあれだけの実力がありゃあ甚呼びがかかっても不思議じゃないって曷ご当主も信頼してるように見えだし曷お互いの背を任せられる相手って感じで格好よかったぜ盍

ふんて昔も聞こえてきて甚華は頭を包えこくふつと曷

匍想像以上だ盍

人前であんなに遠慮なく力を使ったのだから騒ぎになるのは予想していたが甚華の想像以上にその話題で持ちきりとなっていた曷

自分のクラスに行くとき話を聞きたい甚でも近寄り^{ただ}がたい只ならぬ空気を発している嵐があるので近くに寄れないとき甚葛藤^{かつとう}しているクラスメイト達がいた曷

そんな中で甚いつも通りニコニコとした笑みを浮かべて駆け寄ってくる鈴の姿に華は癒^{いや}される曷

匍華ちゃん甚おはよう盍

匍鈴～曷あなたはやっぱり癒し系女子だわ盍

ぎゅっつと包きつすば甚冷はよく分かるなハッハッつと顔をしながら

も嬉し^{うれ}そうに抱き返してきた曷

匍それにしても華ちゃんすごいねえ曷一躍時の人になっちゃって甚学校中甚華ちゃんの話ばかりしてるよ盍

自分のことのように自慢げに話す鈴は甚足下の嵐にもようやく気付く曷

匍あつ甚この子ってこの前の犬神様だよね～曷華ちゃんの式神さん盍
一度たたり神となった嵐に襲われた経験のある鈴は甚怖がるかと思いきや躊躇^{ためら}いもなく嵐の頭を撫^なでた曷

匍わあ甚もふもふ～曷私もこんな式神欲しいなあ盍

そんなことを鈴が言うものだから甚鈴の肩に乗っているリスの式神がやきもちを焼いて甚鈴の髪を引っ張っていた曷

なんと微笑ましい光景だろうか曷

あんなことがあっても甚態度を変えないでいてくれる鈴と友達でよかったと心から思う曷

一方で曷

匍ねえ甚犬神ってことは神様？ 盍

匍神様なんて式神にしたの？ 盍

匍すげけど甚なんか怖いな 盍

匍ってかなんでCクラスなんだよ曷余裕でAクラスじゃないの？ 盍

華に向けられる奇異と疑いの視線 曷

散々落ちこぼれと思って下に見ていた相手が実は強い力を持っていた曷

好意的な意見だけではないのは理解していたが甚こうもあからさまだと華も落ち込む 曷

これまででよCクラスの生徒とも仲良くやってきたが甚Cクラスの生

甫今甚しい？ 記があるの、昼邪魔の騒動があつた時のこと、甚華の力の
こととか、盃

甫分かつた盃

いつもお昼と一緒に食べている鈴に視線を向ければ甚にこりと笑い
ながら手を振ってくれるので甚華も振り返す曷

いってらっしゃいということだろう曷

察しのいい鈴に感謝して葉月と場所を移動する曷

訪れたのは前も話をした屋上曷

ここが一番人が来なくて話をしやすいのだ曷

甫まずなにが聞きたいの？ 盃

甫華の力よ！ だって華は力も弱くて甚式神は蝶ちやうでしよう？ そんな
力があるはずなのに盃

甫霍いこゝを尋ねずはまりを降伏して……盃

有石に木をよめては甚力を解方していし。五

華の髪に飾りのように大人しく止まっていたあずはは甚ひらひらと
華と葉月の間を飛び甚力を解放する曷

その瞬間甚あずはの羽は色鮮やかなものへと変化した曷

あずはから感じる大きな力曷

それは人型の式神に匹敵するほどに強い力だ曷

葉月も正確に感じ取れたよう^{きょうがく}で驚愕した表情になる曷

華は順を追って説明した曷

甫確かに私は術者としては落ちこぼれで甚力も葉月には遠く及ばなく
て甚出^で洸^がらしたとか残りカスだとか言われてた曷それは事実だから否
定しない盍

甫でも甚こんなに強い力があるじゃない盍

甫十五歳の誕生日甚それが私の転機になったの曷それまで大した力が

なかったのに甚それが偽りだったかのように急に大きな力に目覺めて
ね曷まあ甚信じられないかもだけど盃

実際に甚今でも華自身甚信じられない思いだ曷

なにが切っかけだったのか甚原因はなんなのかも判明していない曷
分かっているのは甚その日を境に葉月すら凌駕する力を得たとい
うこと曷

匍どうして隠してたの？盃

匍面倒だったから盃

華は即答する曷

匍これほど大きな力を持つてるとあの親達が知ったらどうなる？ 当
然甚一瀬のために都合のいい道具を手に入れたと大喜びするでしょう
ね曷そして最後は使い潰つぶされる盃

毒に皮肉めいた笑みを浮かべた長

葉月もその光景が想像できたのか甚華の言葉を否定しない曷
それこそがもう答えだ曷

葉月はちゃんと分かっている曷

あの親に子への愛情なんて皆無なのだと言

匍そんなの私はごめんよ！
 散々人に冷たくしておいて甚力を得たつ
 ていうだけで態度を豹^{ひょうへん}変させる曷そんな親が信用できなかつたから
 隠したの曷今でもその判断は間違つてなかつたと確信してるわ盍

華は反論を許さない強い眼差しで葉月を見据えた。曷

葉月はその眼差しを受け止めることができなかったのか甚そつと視線を外す曷

「匍なら甚どうして今になって力を周囲に見せたの？　これがお父さん

[illegible]

達にノしたら甚きこと家に居てこいて言ってくるにすたのにぞ

匍関係ないわね曷そんなの誰がどう言おうと甚私には関係ないわ曷今さら手のひらを返されたって甚あの人達がしてきたことが消えてなくなるわけじゃない曷冷たくあしらわれた記憶は甚簡単に消えてはくれないのよぞ

匍そう甚よね……ぞ

葉月の表情は暗く落ち込んでいく曷

匍葉月はどうするの？ぞ

匍えっ？ぞ

葉月は驚いたようにはっと顔を上げた曷

匍言ったじゃない曷このまま結婚するのは嫌なんでしよう？　ならで
きることは一つしかないんじゃないの？　あの両親は一瀬の家にいる
限り葉月を支配しようとするりよ曷それよきつと馬鹿親父が決めた男

の下に嫁いでも変わらないと思う曷むしろ余計にひどくなるかもしれない
ない 盃

甫…………… 盃

甫ずっと甚両親が死ぬまで言いなりになるつもり？ 盃

葉月の目は迷っているようだった曷

甫協会本部にテロリストが侵入したって話甚葉月は知ってる？ 盃

突然話題ががらりと変わり甚戸惑いながらも葉月はうなずく曷

甫ええ甚聞いてるわ曷まだ見つかってないらしいわね 盃

甫その搜索の手伝いをする代わりに甚朔と取引したの 盃

甫そんな甚華はまだ学生なのに甚危ないわよ！ 盃

甫朔の無茶ぶりは今に始まったことじゃないから大丈夫曷それより甚
朔に報酬として願ったのはね甚葉月がもし一瀬に見切りをつけたな

ら甚朔に葉月の後見人になってもらって甚一ノ宮の屋敷で葉月の面倒を見てくれってこと盍

葉月は目を大きくした曷

匍なにを言ってるの！ ご当主様にそんな大それたこと頼むなんて！ 盍

葉月の反応に華はくすりと笑う曷

匍葉月ならそう言うと思った曷でも甚朔は葉月を受け入れると言ってくれたわよ盍

まあ甚その時甚朔は凶悪犯のようなあくどい笑みを浮かべていたのだが甚葉月は知らない方がいいだろう曷

匍だから甚後は本当に葉月の決断次第なの盍

甚は葉月に一寸きき戸を叩くこと曷

葉月は葉月に辺作を甚くを掛けた

匍葉月の人生は葉月のものよ曷私の人生が他の誰でもない私のものであるのと一緒に盍

匍華……盍

葉月は唇を嚙^かみ甚^{うつむ}俯いた曷

匍なにかあつたらここに電話して盍

そう言つて華の電話番号を書いておいたメモを葉月に無理やり渡した曷

匍おかしな話よね曷私達双子の姉妹なのにお互いの電話番号すら知らなかったのよ曷昔はあんなに仲がよかったのにね盍

寂しそうに笑う華を見て甚葉月も同じ顔をした曷

匍ほんとね……盍

葉月は大笑そうこメモを屋ノ帝りるこまこふ以上はよいこ言つた

葉月は「雪子」の「子」を掛し「終めると甚うおれ」――はなにも言わで居
上から去って行つた曷

後はもう華に言えることはない曷

葉月がどんな決断をするのか曷

それがいいものだとしても悪いものだとしても甚受け入れる覚悟を
しなければならぬ曷

でも甚意外なほど華の心は満足していた曷

匍葉月とこんなに話したのは何年ぶりかな盃

空を流れる雲を見ながら甚華はしばらく感傷に浸つた曷

五章

匍い甚や甚で甚す盍

葉月との話を終えるや甚校内放送で華を職員室へと呼び出したのは甚三年のAクラス甚つまり葉月のクラスの担任だった曷

Aクラスの担任に呼び出されるようなことは今までなかったのだが甚葉月のことでなにか話でもあるのだろうかと思ってやって来てみると甚話は華についてだった曷

なんと甚華をAクラスに編入させたいと言っつのだ曷

それに対する答えが冒頭の言葉である曷

なにが悲しくて今さらAクラスの一員とならなければならぬの

か曷

なんのために万年Cクラスの成績を保っていると思っ
ているのだろ
うか甚この担任は曷

けれど甚これだけ華が不機嫌そうに拒否の姿勢を崩さないのに甚簡
単には諦めてくれない曷

匍しかしだな甚お前ほどの力を持った術者をCクラスなんか置いて
おけないだろう盍

Cクラスなんか曷

それだけでこの教師がCクラスを下に見ていることが窺える曷
同じ生徒だろうに甚教師の中にもCクラスの生徒への差別の心は染
みついている曷

だからCクラスになった生徒が劣等感に苛まれるのだ曷
教師からの扱ハの差があからさますぎるのである曷

匍なんと言われようと嫌なものは嫌です！ 盍

匍一瀬もCクラスなんか嫌だろう？ 盍

匍そう思ってるのは先生の方なんじゃないですか？ 私はCクラスで

も別段問題はありません 盍

匍しかしだな 盍

匍くどい！ これまで散々私が校内で落ちこぼれたんだと陰口叩^{たた}かれ甚嘲^{ちやう}笑^{しょう}されていたのを見ても知らんぷりしてたくせに甚今さら手のひら返して擦り寄ってきたって遅いのよ！ 盍

そう甚Cクラスになるのが悪いと言わんばかりに甚華がAクラスやBクラスから虐^{いじ}めとまではいかないが馬鹿にされていたのに甚底^{かば}つてくれた教師はただの一人もいなかった 曷

このAクラスの担任とて生徒と一緒にになって嘲笑していたのを華は忘れていない曷

甫私甚嫌なことはしつこく覚えてる性格ですからね曷先生のこともちゃんと覚えてますよ曷このことをポロツと朔に言っちゃうかもしれませんねえ曷朔つてば私を愛しちゃってますからどんな報復をするか楽しみですね盍

一生忘れねゝぞと脅すように睨^{にら}みつければ甚Aクラスの担任は顔色を悪くしてようやく黙った曷

甫話はそれだけですか？　なら失礼します盍

Aクラスの担任もそれ以上華を引き留めることはしなかったので甚足早に職員室から出る曷

こんなことを言い出す教師がいるのではないかと予想していたが甚思っていた以上に不愉快だった曷

匍ここに鈍器があつたら投げつけたいいい盃

地団駄を踏む華を甚嵐がつぶらな瞳で^{ひとみ}見あげてくる曷

匍嵐～甚私のささくれだった心をそのもふもふで癒^いして～盃

そう言うや甚許可が出る前に嵐に抱きつく曷

なんと心地よいもふもふ加減だろうか曷

触っているだけで心の中で荒れ狂う波が穏やかになるかのようだ曷
しばらくそうしていると落ち着いてきたので嵐から離れる曷

重もうよいのか？ 紂

匍うん甚ありがとう盃

お礼ついでに嵐の頭を撫^なでる曷

神様に対して無礼かもしれないが甚嵐が怒らないのをいいことにや

）こゝ改題ご曷

いかなる方でも

匍まったく甚力があるってだけでここまで騒がれるなんてね 盃

重ただの力ではない 曷たたり神となった私を救うほどの力だ 曷騒ぐのも仕方ないと思うぞ 紂

匍あれはまだ完全に嵐が墮^おちきってなかったからできた 甚かなり強引な力業よ？ 盃

重その力業をできる者は少なからう 曷華はもっと自慢していい 紂

匍自慢ねえ 盃

そんなことをすればもれなく騒がれて面倒ごとを引き起こし 甚平穩な老後から遠ざかってしまうので 甚馬鹿みたいに自慢して回るわけにはいかなかった 曷

けれど 甚力が知られた以上 甚老後を考えるより 甚今を考える必要がありそう だ 曷

甫まあ甚今後は自重する必要がなくなったのはスツキリしたかもね 盃
あるじ
重私とて主が馬鹿にされているのはいい気分ではないからな 曷葵と雅
もそれはもう喜んでゐる 曷あれだけの力を示してなお甚そなたを馬鹿
にできる者は少ない 紂

甫確かに曷自称天才で俺様な朔ぐらいかもねえ 盃

華はクスクスと笑った 曷

重だが甚今度の試験の結果次第ではまた馬鹿にされるかもしれない
ぞ？ 紂

甫嫌なことと思ひ出させないでよ 盃

せつかく忘れていたというのに 曷

重力は強いが頭は悪いなんて言われないうようにしてくれ 紂

甫それ甚今までの悪口より何故か気分が悪くなるんだけど 曷その言わ

れ方だけはされたくないわね盃

美桜の特別授業を回避するためだけではない理由ができてしまっ
た曷

匍しばらく勉強漬けた盃

華はげんなりしてきた曷

匍くそっ！盃

八つ当たりするように書類を机に叩きつける朔曷

それを華はフォロ^ううすることでもできず甚見ているしかない曷

匍見つかりそうにないの？盃

匍ああ甚良^{こんせき}跡がま^つつたく^{つか}國めなハ盃

中々捜査は進まない様子だ曷

まだ見つかっていない他の呪具じゆぐの行方も気になるところ曷

術者を総動員して捜しているが甚消息は不明のままだ曷

学校での騒動は華がいたことで最悪の事態を避けられたが甚次もう
まく解決できるとは限らない曷

このままでは一般人の犠牲者が出てしまうと甚朔が焦っているのは
華の目から見ても分かる曷

そもそも甚何故学校が狙われたのか曷

やはりそれは五家に深く繋つながりがある甚華や望甚そして桔梗と桐矢
がいたからという結論に至った曷

では甚今後どうすればいいのか曷

それが一番の難問だったが甚なんとそれをあずまが解決してしま

う曷

重あるじ様～紂

匍どうしたの甚あずは盍

華が一ノ宮の屋敷にいる間甚あずはは時々外に遊びに出ているよう
だった曷

遊ぶと言っても甚ひらひらと好きなようにあっちこっちを飛び回っ
ているだけだ曷

華も甚あずはの強さなら危険なことはないだろうと好きにさせてい
る曷

外出の禁止された華はなかなか式神達を外に連れて行けないので甚
あずはだけでも気分転換ができるならいい曷

あずはは力を抑えれば甚ちよつと綺麗きれいな羽を持った普通の蝶ちようにしか
見えないのだから曷

重あのね甚あるじ様が前に言つてた甚彼岸のどろりだっけ？ 紂

匍彼岸の髑髏どくろね 盍

思わず噴き出してしまいそうになりながら訂正した曷

重そう甚彼岸の髑髏曷見つけたよ 紂

匍なんだと！ 盍

大きな声を上げたのは甚華ではなく朔だ 曷

掴みかかりそうな勢いであずはに突進していくものだから甚華は素

早くあずはを守るように確保する 曷

匍あずはに手荒なまねしたら許さないわよ！ 盍

匍それより彼岸の髑髏だ 曷見つけたって甚いつ甚どこで!? 盍

とりあえず華は興奮している朔を止めるべく甚最近通販で買った巨大なピコピコハンマで朔のすねを思いっきり叩く曷

匍～っ！ 盎

痛みに悶^{もだ}える朔を冷たく一瞥^{いちべつ}し甚あずはに優しく問いかける曷

匍彼岸の髑髏を見つけたって甚どうやって？ 盎

重あのね甚空を飛んでたらね甚彼岸花と髑髏の印を持った人達がどこかの屋上で話してるのを見つけたの 紂

匍それどこか分かる？ 盎

重分かんない 紂

匍そっかあ 盎

聞いていた朔ががつくりと肩を落とした 曷

重でもしよまでもしよ曷その人達を匍まえよーとあるゝ羨がトこ出っしよ

言ってもね、甚でもね、甚その人達を打ち殺さないとあるし、村が夕方に止らねた
いって言ってたからね、甚お手伝いしようと思つて甚とりあえず洗脳し
ておいたよ、紬

可愛らしい声で甚かなりの爆弾発言だ、曷

朔は顔を引きつらせている、曷

匍おいおい曷洗脳つてどういうことだ？ 盍

重その人達に甚あるじ様を襲うようにつて催眠術みたいなのをかけた
の、曷どこにいるか分からないなら甚向こうからやって来てくれたら捕
まえるのも簡単でしょう？ 紬

匍そ甚そうね、盍

終始得意げな、あずはは甚自分がどれだけのことをしているのか、自覚
はないようだ、曷

無邪気に華の役に立つことだけを考えている、曷

重だからね甚近いうちにあるじ様を襲いにやって来ると思うよ紂

華を襲うように催眠術をかけるなど甚普通なら□るところなのだろうが甚彼らを実際に見たあずはが華になら対処可能と判断してのことなのだろう曷

そうでなければ甚あずははわざわざ華を危険な目に遭わせたりなどしない曷

重あるじ様甚あずは偉い？紂

匍うんうん甚すごいよ甚あずは曷よくやったね盃

重えっへん曷あるじ様の式神だもん紂

得意げなあずはは甚ひらひらと部屋の中を飛び回った曷

匍お前の式神はどうなってるんだ甚規格外すぎるだろ盃

頭を抱える朔に甚華も答えに迷った曷

術者協会が血眼になって探しているやつらを洗脳して帰ってくるな
ど甚さずがの華もびつくりだ曷

そして甚あずはによつて近々彼岸の骸體が襲つてくると知つた華と朔は甚二人でデトすることにした曷

警備の嚴重な一ノ宮の屋敷で引き籠もつていては甚襲いたくても襲えないだらうと曷

襲つてもらうためには甚自ら動く必要があつた曷

あえて隙を見せるように二人だけで行動する曷

とは言っても甚見えないところに協会の術者が隠れている曷

それは華を守るためでもあるが甚守られている華にもどこに隠れて
いるか分からないほど完璧なかんぺき隠密具合だつた曷おんみつ

ノハノ重ヨ二ノデノ気ツムノ一斤ニ力ミヨツニバ重ムハムハ冬ニ見

しかし連日二人で人気の少ない所を重さ配ったたまたまた多を現
さない曷

最初こそ甚いつやって来るのかとドキドキしていたのに甚だんだん
と緊張感が薄れていく曷

匍ほんとに来るのか？ 盍

さすがの朔もあまりに動きがないので疑い始めている曷

匍あずはの力を信じてないの？ とはいえ基本当に全然襲ってくる気
配もないわね盍

人の姿がほとんどない公園で甚ベンチに座りながら華は溜息を吐
く曷

匍まあ甚俺はデットを楽しめて役得だがな盍

急二色気をもノ台り二月二甚産は巨催を又ううーするうま要二戸を

急に色気を予し始めた朔は、甚車に距離を取ることとする。も甚腹に手を回され引き寄せられてしまう。曷

匍ちよつと朔曷ここ甚外！ 盍

匍別に誰もいないから問題ないだろう？ 盍

唇を朔の親指がすつと撫なでると甚背筋がぞくりとした曷

匍なあ甚華？ もう俺の気持ちは伝えたはずだが甚いいかげん受け入れる気にはなったか？ 盍

匍こんな時になに言ってるのよ 盍

慌てふためく華の顔が赤く染まっていく曷

匍こんなにも誰かを欲しいと思ったのはお前が初めてだ曷お前も嫌ではないだろう 盍

匍いやいやいや 盍

朔の色気ダダ漏れの視線を直視できず顔を背ければ甚すぐに朔の手

に顎あごを掴まれ戻される曷

逃げられない曷

不敵に微笑むその顔を憎らしく感じるのに甚そこから目が離せなくなる曷

甫ごまかすな曷華の気持ちを知りたい曷俺は嫌か？ 盍

甫そ甚そんなことはないけど…… 盍

しどろもどろに答える華を甚朔は逃がしてはくれない曷

甫華曷口にしなくてもいい曷嫌なら避ける 盍

そう言うのと甚朔はゆっくりと顔を近付けてくる曷

避ける曷避けない曷

華の頭の中はパニック状態だ曷

早く決断しなくては唇が触れてしまう曷

けれど甚嫌かと聞かれたら甚華は……曷

あとわずかで唇が触れるほど近付いても避ける様子のない華に甚朔はふっと小さく微笑み甚最後の距離を縮めようと動く曷その時曷

匍それ以上は許しませ^{えん}!! 盍

突然の大声にびくつと体を震わせた華は甚我に返り目の前の朔を突き飛ばした曷

匍うわっ! 盍

危うくベンチから落ちそうになった朔だが甚す^こんでのところで堪えていた曷

匍くそつ甚あと少しだったのに盍

悔しそうにする朔の言葉に顔を赤くする華は甚突然割り込んできた声の主に顔を向けた曷

甬柎榎梶矢も梶と云つてここにいるの？ 盍

大きな声で止めに入つたのは桔梗であつた曷

桔梗は大きな目をウルウルさせて華に抱きつく曷

甬計画の一員として陰ながら見守つていたんです！ 盍

甬み甚見てたの？ 盍

今の一連のやり取りを見られていたと知つた華は甚一氣に顔に熱が
集まつた曷

そうだ甚見えないところに術者達が潜んでいるのだつた曷

きつと他の術者にも見られていたと分かつて甚華は穴を掘つて埋ま
りたい気持ちになる曷

甬狼から救えてよかつたですつ 盍

華から離れようとしなない桔梗だが甚桔梗が好きなのは朔ではなかつ

このり曷

どうも心配する相手が違っている気がしてならない曷

匍こおら！　なに邪魔してやがる盃

匍嫌がる華さんを襲うなんて不誠実です甚不潔です！盃

匍夫婦でキスしてなにが悪い！　　というか甚お前が怒るなら俺にじゃなくて華にじゃないのか？盃

朔の言う通りだ曷桔梗は朔が好きなのだから甚普通ならば怒るのは朔とキスしようとしている華にだろう曷

匍じゃあ甚私と結婚してください！盃
匍断る！盃

朔に告白なんてできないと恥ずかしがっていた桔梗は甚恥じらいをどこかへ放りだしたように告白した曷

食い気味で朔こ断られてしまったが曷

匍ひどい！ そんなはつきりと曷華さあん盃

嘆く桔梗は再び華に抱きついた曷

匍華にくつつくな曷華は俺のだ盃

そう怒鳴る朔により引き剥^はがされた桔梗は甚朔に食ってかかる曷

匍違います！ 華さんは皆のものです盃

匍いや甚私は私のものなんですけど盃

朔と言い合いをしている桔梗からは甚もはや朔への恋情が感じられない曷

これはどういうことだろうかと首をかしげていると甚桐矢がそっと教えてくれる曷

匍桔梗は前の学校でも二条院の次期当主候補ってことで周囲から遠巻きにされていて甚友達ができなかったんだ曷だから華が友達になつて

……うれ……

すごく嬉しいみたい。晁朔さんにはまだ好意が残ってるみたいだけど、甚それより華の方が大事になったんだろ？ ね、盍

珍しく長文を話す桐矢は甚とても優しい顔で桔梗へと視線を向け

甫だから甚これからも桔梗をよろしく願います盍

何度目か分からない深々とした丁寧なお辞儀に甚華は苦笑する曷
匍まあ甚ほほどにね盍

結局甚桔梗と桐矢も加えた四人で過ごすこととなり甚デ、トを喜んでいた朔の機嫌は急降下した曷

寺々五丁五をする月ニ丈ニ寸ニ毫吉更丈柴ノミ

警戒心を露わにする華は甚周囲に境界が張られていることに気付く曷

これは妖魔騒動の際に学校にも張られていた結界と同種のものよ
うで甚スマホを確認すると電波が遮断されていた曷

そして甚周囲を囲む者達をよくよく見てみれば甚朔の言っていた彼
岸花と髑髏どくろが描かれたボタンを身につけている曷

匍あなた達が彼岸のどろり？ 盃

匍華さん甚彼岸の髑髏です 盃

匍おっと甚そうだった 盃

すかさず桔梗が訂正してくれたが甚あずはが何度教えてもどろりど
ろりと間違うので甚華にもついうつってしまった曷

匍方向が一瞬華ごふ曷一ノ言当主の奥で甚浅マヒ一者に来てきうつ

匍は前がー流達かな長ー　　「三三三」の男が甚手々として一糸にうてもい
ぞ盍

匍あなたが彼岸の髑髏で一番偉い人？盍

匍しかり！　私がここのボスだ曷一ノ宮の奥方を迎えるのに甚下っ端
だけで行かせるのも失礼だからな盍

匍それはお氣遣いどうも曷けど甚捕まるのはあなた達の方よ盍

華の髪に止まっていたあずはが甚ひらひらと彼岸の髑髏達の上を飛
んでいく曷

蝶ちやうと思つて氣にしていないうだが甚それは悪手だ曷

あずはの羽が動くたびに甚細かい鱗粉りんぷんが彼らの上に降り注ぐと甚恐
らくあずはがあらかじめ洗脳していたという者達が甚華から向きを変
え同士討ちを始めた曷

匍なんだ甚どうした甚お前達!? 盍

突然のことに激しく動揺するテロリストのボスは甚周囲を見回しながらあたふたしている曷

そして甚またもやあずはが舞い飛べば甚ボスの周囲にいた者達のがうつろになり甚ゆらりと動き出してボスの両腕を掴み拘束した曷

匍やめろ！　なにをしている！　捕まえるのはあっちの女達だ！ 盍

拘束から逃れようと暴れるボスの後ろには甚聖母のような笑みを浮かべた雅が立っており甚巨大なピコピコハンマを振り上げ甚ボスの脳天に振り下ろした曷

匍がっ！ 盍

とてもピコピコハンマで殴ったとは思えない衝撃音を響かせる
と甚ボスは白目を剥いてその場に倒れた曷

匍うわあ甚痛そう盍

能自業自得です盃

なんともあっさりボスを倒すと甚桔梗がボスの体を探り始める曷
するとなにやらたくさんの道具が出てきた曷

匍もしかしてそれが呪具じゆぐ？盃

匍そうですね曷どうやら甚全部このボスが持っていたようですね曷以前
学校で見つかったものを含めると数が一致します盃

匍へえ甚じゃあ甚これで事件解決？盃

匍はい曷これまでがなんだったのかと思うほどあっさりと解決してし
まいました盃

事件が解決したというのに甚桔梗はなんとも複雑そうな表情をして
いる曷

匍こんなことなら最初から華さんに協力を要請していたらよかったで

ト
盃

す……盃

匍私の労働力は高いわよ曷ちゃんと解決したわけだし甚よしとしま
しょう盃

喜ぶどころか落ち込む桔梗の肩を叩たたいて慰める曷

匍じゃあ甚結界壊すわよ盃

匍はい盃

華が蹴けり飛ばそうとするのを雅が止める曷

匍主様あるじ甚ここは私にやらせてください盃

ニコニコと微笑む雅は甚その手に持ったピコピコハンママを振りか
ぶり甚やる気に満ちている曷

通販で買った玩具おもちゃに力を込めて雅用の武器にしたのだが甚どうやら
かなり気に入ったらしい曷

武器の威力を試したいのだろう曷

匍じゃあ甚お願い 盃

匍はい 盃

声を弾ませて返事をする甚雅は結界に向かってピコピコハンマを叩きつけた 曷

硝子^{ガラス}が割れるような音と共に結界が壊れる 曷

ボスの仲間はずっとに葵と嵐に戦闘不能にさせられ甚誰も立っていない 曷

代わりに甚草むらの陰から幾人もの術者らしき人達が走ってきた 曷
匍ご無事ですか？ 盃

匍遅れて申し訳ございません！ 突然彼岸の髑髏の仲間が襲ってきて甚周辺で混戦状態となっております 曷一ノ宮のご当主も対応中です 盃

匍え甚そうだったの盃

どうりで誰も助けに来ないはずだ曷

朔なら結界を張られていたら気付いたはずなのに曷

こちらを助けに来られないほどの状況なのだろうか曷

匍桔梗甚私は朔の所に行ってくるね盃

匍私は呪具の回収を優先させます盃

匍分かった曷まだ他に彼岸の髑髏の仲間がいるみたいだから気をつけてね盃

匍はい曷華さんもお気をつけて盃

桔梗に頷くと甚華は急いで朔の下へ向かった曷

匍葵達は周辺で戦ってる術者を援護してあげて盃

匍分かった盃

華の指示で甚式神達が周囲に散っていく曷

華は真っ直ぐ朔の所へ戻ったのだが……曷

匍貴様甚この俺にその程度の力量で挑んでくるとはいい度胸だな盃

匍ひいいい！ ごめんなさいごめんなさいごめんなさい盃

匍許してください！盃

匍お前らのせいで俺がどれだけ苦労してると思ってたんだ曷命乞いな
らあの世でしてこい盃

匍ぎやあああ！盃

どうやら助けに入る必要はなかったようで甚敵は朔によりボツコボ
コにされ命乞いをしている最中さなかだった曷

すでに戦意喪失している相手をさらに痛めつけている朔に甚華は頬

を赤く染めながら

を弓きこらせる唇

よほど彼岸の髑髏うづぶんに対して鬱憤たが溜まっていたらしく甚相手を本当にあの世に送ってしまいかねない勢いだ曷

後ろから桐矢が羽交い締めにして朔を止めようと尽力していた曷

匍朔ってば甚なにやってるのよ盍

匍華か曷そっちは終わったのか？ 盍

匍遊んでる暇があるなら助けに来てくれてもよくない？ まあ甚その

前にあずはと雅でボスを瞬殺しちゃったんだけど盍

匍そうだろうと思って助けにいなかった曷しかし甚そっちにボスが

いたのか曷だったら行っておけばよかったな曷そいつはどうした？ 盍

匍とつくに護衛をしてた術者に引き渡したわよ盍

匍ちっ甚遅かったか盍

舌打ちをする朔は甚間に合っていたらどうするつもりだったのか曷

雅により一瞬で意識を刈り取られたのは甚ボスにとって幸いだっ
たかもしれない曷

こうして甚呆気あつけなく事件は収束を迎えたのだった曷

桐矢も桔梗を追っていき甚後は式神達が戻ってくるのを待つだけだ
と気を抜いた時曷

少し離れた所で禍々まがまがしい力が爆発するのを感じた曷
はっとした華は甚力の方向へ目を向け焦りをにじませた曷

匍朔甚あれ盍

匍行くぞ！盍

禍々しい力へ向かって駆けだした朔の後を甚華も慌てて追う曷

公園の奥甚小さな広場になった場所で甚紫色のドロドロとした力の
塊に人が呑み込まれていた曷

匍きやああ！ 盍

匍助けて甚助けて！ 盍

そう叫びながら華達の方へ逃げてこようとした彼岸の髑髏どくろの一員と
思われる者が甚禍々しい力に搦からめ捕られ吸い込まれていくのを目の当
たりにし甚華は顔を強張こわばらせた曷

匍なにあれ 盍

匍くそつ！ よりによって一番厄介な呪具を発動させやがった 盍
匍えっ！ でも桔梗は全部ボスが持ってたって言ってたわよ？ 盍

すると甚タイミングよく桔梗から電話がかかってきた 曷

匍もしもし甚桔梗？ 盍

重華さん甚すみません！ よくよく数を数え直したら甚一つ足りない
んです 曷よりによって一番危険なやつが 紂

「……」

甫今まさに発動されちゃったわ 盃

重最悪です 曷私達もすぐに戻ります！ 紂

電話を切ると甚公園内に散っていた式神達が周囲の異変に気付き甚集まってきた 曷

甫主！ 盃

甫主様甚あれはなんですか？ 盃

甫私に言われても分かんない 曷朔 盃

説明を求めるように朔を窺^{うかが}えば甚厳しい表情をしている 曷

甫あれは周囲にいる力のある者を取り込んで甚妖魔^{ようま}を呼び寄せる呪具^{じゆぐ}
だ 曷取り込んだ人数が多いほど強い妖魔を呼び寄せる 盃

甫はあ!? なにそのいらぬ機能は！ 盃

甫俺に言うな 曷作ったのは昔の二条院の術者だ 曷ほら甚妖魔が集まってきた 盃

うようよと集まってきた妖魔からは甚華が出会った中でもトップクラスで強い力が感じられる曷

匍結！ 盍

朔が禍々しい力を放つ呪具と甚集まってきた妖魔と一緒に困うように結界を張る曷

匍少なくともこれで甚呪具の力を外に出さずに済むから甚これ以上妖魔が集まってくることはないだろう盍

匍けど甚あの呪具はどうするの？ おわっ！ 盍

呑^{のん}氣^きに話^{のん}をしていたら集まってきた妖魔が襲^よってきて甚華は間一髪攻撃を避ける曷

その妖魔はすぐに葵によって真っ二つに切られたが甚なんというところか甚その二つがそれぞれの独立した妖魔になったのだ曷

匍 どういうこと!? 盃

匍 呪具の影響だ 曷 呪具の禍々しい力が妖魔に力を与えている 曷 呪具をなんとかしない限り 甚 じり貧だぞ 盃

匍 んな甚無茶苦茶な 盃

昔の二条院はなんのつもりでこんな呪具を作り出したのか 曷

本人がここにいたら三発は殴らないと気が済まない 曷

匍 朔甚どうしたらいいの? 盃

匍 分からん! 盃

堂々と言つてのける朔に 甚 華はこけそうになる 曷

匍 はあ!? 盃

匍 仕方ないだろ 曷 あれは危険だから発動させたことがない代物なんだ 曷 対処の仕方なんて作った本人にしか分からん 盃

匍それでも一ノ宮の当主か？！ 盍

襲い来る妖魔に対応しながら朔に文句を叫ぶ華の顔には甚焦りがに
じんでいる 曷

匍どうしたらいいのよ 盍

このままでは朔も自分も力尽きるのを待つだけだ 曷

あるいは二条院である桔梗達ならなにか知っているのかもしれない
が甚果たして間に合うのか 曷

すると甚目の前の妖魔を蹴^けり飛ばした嵐が近付いてくる 曷

重華にならできるのではないか？ 紂

匍えっ？ 盍

重私を救った時と同じ要領だ 曷呪具から取り込まれた者達を引き剥^はが
し甚呪具自体を結界で封じ込めれば発動は抑えられるはずだ 紂

嵐も確信があるわけではないようだが甚このままなにもしないわけにはいかない曷

甫分かった甚やってみる盍

重援護は任せろ紂

華はゆつくりと禍々しい力を発する呪具に近付くと甚己に強力な結界を張りながらその力の塊に触れる曷

それは華を取り込もうとするようにまとわりついてくるが甚結界を張っているおかげで取り込まれることはなかった曷

華は嵐に言われたように取り込まれた人を呪具から引き剥がすように力を流す曷

呪具はまるで苦しむかのようにのたうち回り甚華をさらに搦め捕らうとする曷

すると甚わずかに華の結界がたわんだ曷

ぎよつとする華は甚あまり時間をかけていられないことを悟ると甚急いでより強い力を流す曷

呪具と人との境目を探るように甚慎重に力を動かすと甚取り込まれた人と禍々しい力との境に力を送り込んだ曷

一人甚また一人と甚呪具から解放される曷

ピクリとも動かない彼らが生きているのか確認している余裕はない曷

冷や汗が華の顔を伝う曷

嵐を救った時とは違い甚質より量の勢いで甚押し返されないように力を流す曷

どんどん解放される人達を横目で見ながら甚呪具が必死で抵抗しているのを感じる曷

最後の抵抗というように一際激しく暴れ出した呪具に向け甚華は渾身の一撃を流し込んだ曷

華の周りにあった結界が壊れるのと甚取り込まれた最後の一人が解放されるのはほぼ同時だった曷

急激に力をなくした呪具は禍々しい力を小さくさせ甚最後に手のひらに収まるほどの銀の棒が残された曷

それはなおも華を取り込もうとしてきたので甚慌てて幾重にも張った結界に閉じ込める曷

辺りに漂っていた禍々しさは消え失せ甚葵が大剣を一閃させると妖魔は復元することなく消え去った曷

甬よし甚もう倒せるぞ盍

それから式神達の独壇場だ曷

次々に倒されていく妖魔達を眺めながら甚華は大きく息を吐いた曷
匍あ～甚疲れた…… 盍

最後の一つの呪具を甚戻ってきた桔梗に渡す曷

華さんが封じてしまったんですか？ と甚ひどく驚いた顔をしてい
たが甚そんなことを気にしている余力はなかった曷

歩く力もなく甚朔に抱きあげられて車に乗せられると甚ぐつたりと
朔にもたれながら走る車の外に流れる景色を眺めた曷

匍朔甚眠い…… 盍

匍寝てる曷あとのことは俺がするから盃

匍うん……盃

そのまま眠りについた華が次に目覚めた時甚世界は二日が経って
いた曷

華が起きると甚心配そうに華を囲んでいた葵と雅がほっと表情を緩
めた曷

匍よかったです甚主様盃^{あるじ}

匍全然目が覚めないから不安で仕方なかったんだぞ盃

匍ごめんね盃

よしよしと頭を撫^なでてやれば甚葵は恥^はずかしそうにしながらもされ
るがままでいた曷

匍主様甚起きて早々申し訳ありませんが甚主様に何度か電話がありま
した盃

匍電話？ 盍

ずっと差し出されたスマホを確認すると甚登録されていない電話番号からだった曷

双子の勘だろうか曷すぐに葉月だと感じた華は甚その番号にける曷

体力が回復した数日後甚華は実家である一瀬家に来ていた曷

紗江が嬉し^{うれ}そうに出迎えてくれる曷

匍おかえりなさいませ甚華様盍

匍あの人達は？ 盍

匍ご案内します盍

華は懐かしいようできて甚まったく感傷に浸れない実家の母屋を歩き甚両親がいる部屋に通された曷

両親には今日来ることを伝えていなかったため甚突然現れた華にひどくびつくりしていた曷

匍なにをしに来た曷この親不孝者が！ 盍

匍今さら謝罪しに来たって遅いわよ曷どうせ一ノ宮の家を追い出されてきたんでしょうけど甚この家にもあなたの居場所はないわ曷帰ってきたいと言っても許しませんからね 盍

開口一番甚華の帰りを喜ぶどころか罵声ばせいを浴びせてくる両親を甚華は鼻で笑った曷

匍この家に帰ってきたいなんて思うわけないでしょう曷その自信はど

これから来るのよ曷馬っ鹿じゃないの 盃

心底馬鹿にした華の笑みに甚父親は顔を真っ赤にして怒鳴る 曷

匍親に向かつてなんて口をきくんだ！ 盃

匍親らしいこともしてないのに私の親を名乗らないでよ！ 盃

匍なっ！ 盃

思えばこれが初めて反撃した瞬間かもしれない 曷

ただただ言われる言葉を静かに聞いていた華は甚彼らにとつたら大
人しい娘だっただろう 曷

本当に笑える話だ 曷

匍ここに来たのは帰ってくるためじゃなく甚最後の挨拶あいさつをするため
で 盃

匍最後だと？ 盃

いぶかしげな顔をする両親を冷たく見下ろしていると甚部屋に葉月

が入ってきた曷

匍あら甚葉月甚どうしたの？ 盍

匍まったく甚葉月からも言つてやつてくれ曷この親を親とも思わない愚かで無能な娘に甚身のほどをわきまえろと盍

匍身のほどをわきまえるのはお父さん達です盍

匍なんだと？ 盍

匍華は今や一ノ宮の当主の奥方です曷仕えるべき主人に頭を下げるのはどちらか甚そんなものは分家に生まれた者なら幼い子供でも知っていますよ盍

葉月の初めての反抗と言つてもいいかもしれない曷

目を大きくして信じられないという表情を浮かべる両親の顔がおかしくて甚笑いを堪えるのが辛い曷

匍どうしたの甚葉月曷あなたまでおかしなことを言つて盍

匍お父さん甚お母さん曷今日は私から言いたいことがあります盍

匍なんだ？盍

改まった話し方に甚両親も聞く態勢になると甚葉月は笑顔で言い放った曷

匍私はお父さんの決めた方と結婚はしません盍

最初なにを言われたのか分からなかったのか甚少しの沈黙の後甚父親は顔を真っ赤にした曷

匍なにを馬鹿な！もう祝言の日取りまで決まっているんだぞ盍

やはりか曷顔合わせしたらすぐにでも結婚させるだろうと思つていたが基本当に実行するつもりだったようだ曷

すでに下がきつたと思つていた彼らへの好感度がさらに下がつて

いく曷

匍それはお父さん達が勝手に決めたことです曷私は自分で決めた相手と結婚したいです盍

匍我儘わがままを言うんじゃない！ これは家のために必要な結婚だと言ったはずだ曷お前はお父さん達の言う通り従っていればいいんだ！ 盍

感じるのは失望と諦め曷あきらめ

最後の希望も潰つぶえたように甚葉月の表情が落ち込んでいく曷

口を挟みたい気持ちになったが甚今は華が出るべきではないと我慢する曷

葉月は暗い表情の中にも強い光を目に宿して甚決してそらすことなく両親を正面から見据えた曷

匍私はこれまでずっとお父さん達の言う通り従ってきました曷それが

家のため甚お父さんお母さんのため甚華のため曷そう思ってきたから盃

匍その通りだ曷ちゃんと分かっているじゃないか盃

表情を明るくする父親を葉月は睨^{にら}みつけた曷

匍けど甚そんなのもうたくさんよ！盃

葉月の大きな声が部屋に響く曷

きつと部屋の外まで聞こえているだろうなと思いながら甚華は葉月の言葉に耳を傾ける曷

匍私がこれまで自分を押し殺して頑張ってきたのは甚華のためよ！

華を養子に出すなんてお父さん達が言うから甚華の分も頑張らな

きゃって自分を騙^{だま}してお父さん達の言いなりになってた曷でもその結

果がこれよ！ 華は家を出て甚私はほとんど知らないおじさんと結婚

させられようとしてる盃

葉月の勢いに両親は言葉もなく目をぱちくりさせていた曷

匍お父さんもお母さんも甚一瀬の家のことばかり曷私達をちゃんと子供として見てくれたことはあった？　ないでしょう？　二人にとっ

て子供は使い勝手のいい道具でしかなかった曷いつも私に一瀬のために頑張れって言うけど甚そもそもお父さん達が頑張れば済む話じゃない曷自分達の力が弱いからって甚その劣等感を私達に押しつけないでよ盍

父親はなにか言いたいようだが甚思うように言葉が出てこないよう
で口をぱくぱくとさせていた曷

葉月の初めての反抗だ曷

彼らには甘んじて受ける責任がある曷

匍私はこの家を出るわ曷もう荷造りもしてきた盍

部屋の外には大きなキャリタケタスが三つほどあった曷

それを見て葉月の本気を感じたのか甚父親が慌て始める曷

匍そんな勝手は許さんぞ！ 盍

匍許してもらう必要なんでない曷私はまだ学生だけでもう成人しているし甚私を大事にしてくれないお父さん達の所にはいたくないから 盍
葉月は両手にキャリタケタスを持つと甚残りの一つを見て華に助けを求める曷

匍華甚残りの一個持つてくれる？ 盍

匍うん甚いいよ 盍

葉月の荷物を手にすると甚二人は双子だと思わせる顔立ちでにっこりと両親に微笑んだ曷

匍バイバイ甚くそじじい 盍

匍バイバイ甚くそばあ盃

そう言い捨てて部屋の戸を閉めると甚クスクスと笑いながら両親が追ってくる前に急いで家を飛び出した曷

匍お幸せに甚華様甚葉月様盃

紗江が柔らかな笑顔で手を振ってくれるのを背に甚華と葉月は一ノ宮の車に乗って一瀬の家を後にした曷

一ノ宮の屋敷では甚朔が二人を待っていた曷

匍一瀬葉月です！ 今日からよろしくお願いします盃

匍一ノ宮朔だ曷歓迎する曷自分の家と思って好きに過ごせ盃

匍はい！ ありがとうございます盃

晴れ晴れとした葉月の笑顔に甚華は嬉しくな^{うれ}った曷

まるで昔に戻ったような錯覚に陥る曷

もう葉月の顔に暗く落ち込んだ雰囲気はない曷

二人の手は幼い頃のようにしっかりと握られていた曷

本書は書き下ろしです曷

この作品はフィクションであり甚實在の人物_Ⓔ地名_Ⓔ団体等とは一切関係ありません曷

クレハ

大阪府在住。2016年、『復讐を誓った白猫は魔王の膝の上で萌獣をむさぼる』でアリアンロース新人賞を受賞してデビュー。同作はシリーズ化し、コミカライズもされている。その他のシリーズに『鬼の花嫁』『裏切られた黒猫は幸せな魔法少女ライフを信じていたい』。著作に『魔神と許嫁の赤い花印〜運命の証を持つ少女〜』などがある。

カバーイラスト/ボタックス
カバーデザイン/水岡昌彦
(heart door design)



く
412
クレハ

● 結界師の一輪華 2

角川文庫

幼い頃より育てられてきた少女・華は、強い術者の力を助けて生きてきた。だが本家当主で強力な結界師である二瀬院家に迫られ、華は契約者として日本を覆る柱石の結界強化に協力する。なぜか指から血が入られ、結界は解消できずにいるが、華は刑のおかげで本来の自分を取り戻し始めていた。そんな中、術者協会から危険な呪具ばかりが送られてしまう。刑との離婚を迫る二瀬院家の双子も現れ……？大ヒット、和風ファンタジー！

けつかい し いちりん か
結界師の一輪華 2

クレハ

角川文庫

令和4年9月21日 発行

ver.001

©Kureha 2022

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました

角川文庫『結界師の一輪華 2』

令和4年9月25日 初版発行

発行者 青柳昌行

発行 株式会社 K A D O K A W A

●お問い合わせ

<https://www.kadokawa.co.jp/>

(「お問い合わせ」へお進みください)

※内容によっては、お答えできない場合があります。

※サポートは日本国内のみとさせていただきます。

※Japanese text only

本電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。また、本電子書籍の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。

本電子書籍購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず本電子書籍を第三者に譲渡することはできません。

本電子書籍の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。



BOOK★WALKER